

消 防 年 報

令和6年（2024年）版

宇部・山陽小野田消防組合

令和7年刊行

は し が き

この消防年報は、宇部・山陽小野田消防組合の消防現勢及び令和6年（1月から12月まで）中における消防業務に関する諸般の事項を収録し、今後の消防行政の参考に資するとともに、消防事情を広く一般に紹介するために編集したものです。

なお、編集資料について、組織・予算・予防・施設に関するものは令和7年4月1日（一部令和7年3月31日）、火災・救急・救助等に関するものは令和6年12月末日をもって編集しました。

この年報が消防関係者はもとより、広くあらゆる方面で御活用いただいて、本消防組合に対する御理解を深めていただければ幸いです。

令和7年8月

宇部・山陽小野田消防組合

目 次

管 内 概 況

1	管内の概要	3
2	構成市の位置図	3
3	第二次宇部・山陽小野田消防組合基本計画及び実行計画	4
4	消防の沿革	5
	（1）宇部・山陽小野田消防組合の沿革	5
	（2）宇部市消防の沿革	7
	（3）小野田市消防の沿革	10
	（4）山陽町消防の沿革	12
	（5）山陽小野田市消防の沿革	13
5	歴代消防長	14
6	過去の主な災害等	16
	（1）宇部・山陽小野田消防組合発足以降の主な火災記録	16
	（2）宇部市の主な火災記録	16
	（3）旧小野田市の主な火災記録	17
	（4）旧山陽町の主な火災記録	17
	（5）山陽小野田市の主な火災記録	18
	（6）宇部・山陽小野田地区における自然災害	18
7	応援協定等締結状況	19

総 務

1	宇部・山陽小野田消防組合組織図及び主な分掌事務	23
2	消防局・消防署職員配置表	25
3	消防吏員階級別年齢	28
4	消防吏員階級別勤続年数	28
5	職員研修状況	29
6	特殊技能・技術資格者	30

情 報 財 政

1	消防予算	33
2	消防庁舎	35

予 防

1	防火対象物	39
	（1）棟数及び立入検査	39
	（2）防火対象物の定期点検・防災管理対象物状況	40
2	建築確認同意処理件数	41
3	防火管理者選任状況	42
4	危険物施設設置状況	43
5	危険物許認可状況	44

6	危険物施設の現況及び立入検査状況	45
7	宇部・小野田地区特別防災区域	46
	(1) 宇部市	46
	(2) 山陽小野田市	47
8	火薬類取締法関係処理状況	49
9	消防協力団体の現況	50

警 防

1	消防配置図	55
2	消防車両	56
3	消防水利	59
	(1) 消火栓	59
	(2) 防火水槽	59
	(3) その他	59
4	化学消火剤備蓄状況	59
5	火災	60
	(1) 月別火災発生状況	60
	(2) 火災種別ごとの件数	61
	(3) 火災種別ごとの死者及び負傷者	61
	(4) 火災種別ごとの損害額	62
	(5) 焼損面積	62
	(6) 曜日別火災発生状況	63
	(7) 時間帯別火災発生状況	64
	(8) 過去5年間の火災発生状況	65
	(9) 過去5年間の火災種別件数	66
	(10) 過去5年間の火災原因別件数	67
	(11) 過去5年間の焼損程度別件数（爆発損害を除く）	68
6	救急	69
	(1) 過去5年間の救急状況	69
	(2) 事故種別ごとの出場・搬送状況	70
	(3) 事故種別・傷病程度別搬送人員	71
	(4) 救急車医師同乗システム（ドクターカー）出場件数及び活動件数	72
	(5) 事故種別・月別出場件数・搬送人員	73
	(6) 事故種別・曜日別出場状況及び搬送人員	74
	(7) 事故種別・時間帯別出場件数及び搬送人員	75
	(8) 事故種別・年齢区分別搬送人員	76
7	救助	77
8	火災以外の出動	78
9	救急講習	79

通 信 指 令

1	消防通信施設	83
	(1) 消防指令センター	83

(2) 電話回線	83
(3) システム構成図	84
(4) 自家用発電機	85
(5) 無線局	86
2 119回線着信件数	87

消 防 団

1 消防団組織図	91
(1) 宇部市消防団	91
(2) 山陽小野田市消防団	92
2 消防団配置図	93
(1) 宇部市消防団	93
(2) 山陽小野田市消防団	94
3 消防団員階級別年齢	95
4 消防団員階級別勤続年数	96
5 消防団員年報酬及び費用弁償	97
6 消防団災害出動状況	98
7 消防団車両及び機械器具	99
(1) 配備管理状況	99
(2) 消防ポンプ自動車	101
(3) 小型動力ポンプ付積載車	102
(4) 小型動力ポンプ	103
(5) その他の車両	104
8 消防団機庫	105
9 消防団協力事業所	108

管内概況

UBE 宇部市

未来を彫刻するまち

宇部市

誰かが創る宇部じゃなく、みんなで創る宇部に。

創造力で新しいものをつくりだす「彫刻」のように、
宇部に生きるすべての人が持つ、ひらめきと声は、
未来を形づくる限りないエネルギー。

そのチカラをひとつにして、ともに次の 100 年へ。

誰かが創る宇部じゃなく、みんなで創る宇部に。

未来を彫刻するまち、宇部です。



山陽小野田市

活力と笑顔あふれるまち
スマイルシティ山陽小野田

将来都市像の実現に向けて、歴史・産業・教育・文化・自然・スポーツといった地域資源など、本市の特性を最大限に活かしながら、市民一人ひとりが希望をもっていきいきと暮らしていくことができ、ひとが輝き、活力に満ち、市民の笑顔が広がる輝く魅力あるまちとなることを目指して施策を展開しています。

一目でわかる消防統計

令和 7 年 4 月 1 日現在

※令和 6 年 12 月末日現在



管轄面積

420.14km²



構成市

宇 部 市
山 陽 小 野 田 市



人口と世帯数

人 口 213,908 人
世帯数 108,759 世帯



職員数

定員 350 人
実員 316 人



常備消防費予算

4,352,962 千円



署所

消防署 4 署
出張所 4 所



防火対象物

8,934 施設



危険物施設

1,435 施設



防火クラブ

幼年消防クラブ 18
少年消防クラブ 8
女性防火クラブ 1



消防車

ポンプ車 21 台
その他車両 34 台



救急車

高規格救急自動車 12 台



消防水利

消火栓 3,633 基
防火水槽 373 基



火災件数※

火災件数 57 件
死 者 1 人
負傷者 6 人



救急件数※

出動件数 11,165 件
搬送人員 8,885 人



救助件数※

出動件数 84 件
救助人員 63 人

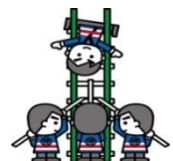


1 1 9 回線着信件数※
17,928 件



宇部市消防団

分団数 15 分団
団員数 549 人
消防防災サポーター 7 人



山陽小野田市消防団

分団数 13 分団
団員数 352 人

1 管内の概要

宇部・山陽小野田消防組合は、宇部市及び山陽小野田市をもって組織され、本州西端にある山口県の南西部に位置し、西は下関市、北は美祢市、東は山口市、南は瀬戸内海に面しています。

交通環境を見ると、鉄道は JR 山陽新幹線をはじめ、山陽本線、宇部線、小野田線及び美祢線が東西南北に走り、高速道路は山陽自動車道が管内の中央部を横断し、海浜部には重要港湾である宇部港、小野田港があり、市街地に近い位置に山口宇部空港もあるなど、陸海空それぞれの交通環境が整っています。

気候は、年間を通じて温暖で雨が比較的小さい典型的な瀬戸内海式気候で、丘陵地や干拓地には豊かな自然があふれ、様々な動植物が生息しています。

また、南は瀬戸内海に面していることから、山と海の幸に恵まれ、市街地には厚東川、有帆川、厚狭川が流れ、貴重な水辺環境を有しています。

両市は、いずれも明治期以降、石炭産業の振興により、近代的な工業都市として発展し、現在でも瀬戸内有数の臨海工業地帯を形成しています。

2 構成市の位置図



令和7年4月1日現在

	人口（人）	世帯数（世帯）	面積（km ² ）	市の木	市の花
宇 部 市	155,492	79,727	287.05	クスノキ	サルビア ツツジ
山陽小野田市	58,416	29,032	133.09	クロガネモチ	ツツジ
計	213,908	108,759	420.14	—	—

3 第二次宇部・山陽小野田消防組合基本計画及び実行計画

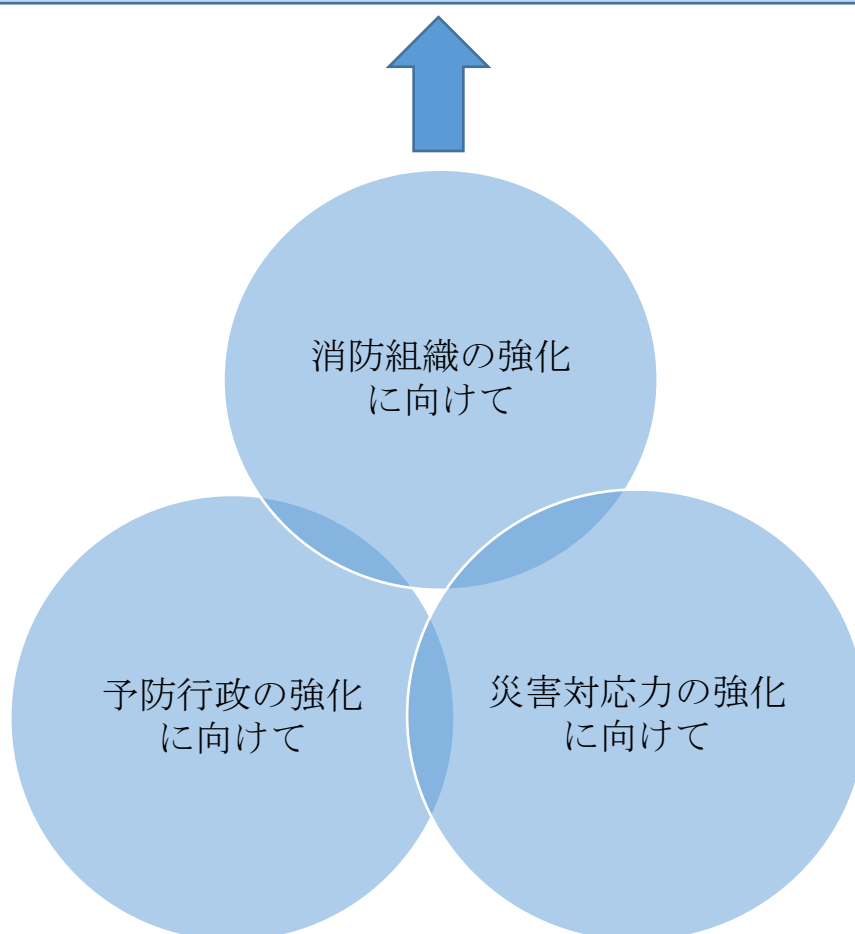
宇部・山陽小野田消防組合は、平成 27 年度（2015 年度）から令和 5 年度（2023 年度）までの 9 年間の施策を体系的に定めた「第一次宇部・山陽小野田消防組合基本計画」を策定し業務を推進してきました。

この「第一次宇部・山陽小野田消防組合基本計画」が令和 5 年度で終了したことから、各種災害への対応や社会情勢及び多様化する住民ニーズに的確に応えるための指針として、「第二次宇部・山陽小野田消防組合基本計画」を策定しました。

基本計画は、基本構想と実行計画で構成され、基本構想は令和 6 年度（2024 年度）から令和 14 年度（2032 年度）までの 9 年間の消防組合の施策を体系的に定めたもので、基本構想で示した基本方針、大綱に基づく施策を実施するために、具体的な事務事業を明示したものが、実行計画となります。これらに基づき、消防組合の目指すべき姿を具現化するとともに、各種施策に積極的かつ献身的に取り組んでいきます。

[基本方針]

住民が安心して暮らせる安全な未来に向けて



4 消防の沿革

(1) 宇部・山陽小野田消防組合の沿革

(西暦) 年 月 日	沿 革
2008 年 平成 20 年 5 月	山口県は、消防組織法の一部を改正する法律（平成 18 年法律第 64 号）及び市町村の消防の広域化に関する基本指針（平成 18 年 7 月 12 日消防庁告示第 33 号）を受け「山口県消防広域化推進計画」を策定
2009 年 平成 21 年 11 月 20 日	宇部市と山陽小野田市は、市街地や石油コンビナートが一体化しさらに都市形態も類似しているため、効果的かつ効率的な消防体制の構築が図られると考え、「宇部市・山陽小野田市消防広域化検討委員会」を設置し、消防の広域化について検討を開始
2009 年 平成 21 年 11 月 20 日	第 1 回宇部市・山陽小野田市消防広域化検討委員会開催
2010 年 平成 22 年 2 月 13 日	第 2 回宇部市・山陽小野田市消防広域化検討委員会開催
2010 年 平成 22 年 5 月 20 日	第 3 回宇部市・山陽小野田市消防広域化検討委員会開催
2010 年 平成 22 年 8 月 11 日	第 4 回宇部市・山陽小野田市消防広域化検討委員会開催
2010 年 平成 22 年 10 月 15 日	第 5 回宇部市・山陽小野田市消防広域化検討委員会開催
2010 年 平成 22 年 11 月 15 日	第 6 回宇部市・山陽小野田市消防広域化検討委員会開催
2011 年 平成 23 年 1 月 4 日	宇部市と山陽小野田市は、両市の消防広域化に係る広域消防運営計画の作成及びこれに附帯する事務を共同して行うため、「宇部市・山陽小野田市消防広域化協議会」を設置
2011 年 平成 23 年 2 月 16 日	第 1 回宇部市・山陽小野田市消防広域化協議会開催
2011 年 平成 23 年 3 月 29 日	第 2 回宇部市・山陽小野田市消防広域化協議会開催
2011 年 平成 23 年 5 月 31 日	第 3 回宇部市・山陽小野田市消防広域化協議会開催
2011 年 平成 23 年 6 月 29 日	第 4 回宇部市・山陽小野田市消防広域化協議会開催
2011 年 平成 23 年 7 月 20 日	第 5 回宇部市・山陽小野田市消防広域化協議会開催
2011 年 平成 23 年 8 月 1 日	第 6 回宇部市・山陽小野田市消防広域化協議会開催
2011 年 平成 23 年 10 月 20 日	第 7 回宇部市・山陽小野田市消防広域化協議会開催
2011 年 平成 23 年 10 月 20 日	宇部市・山陽小野田市広域消防運営計画を策定

(西暦) 年 月 日	沿 革
2011 年 平成 23 年 1 月 30 日	山口県知事から、宇部市及び山陽小野田市の両市長に「宇部・山陽小野田消防組合」の設置許可書が交付される。 ※宇部・山陽小野田消防組合発足（平成 18 年の消防組織法改正後に消防が広域化されるのは、全国で 7 番目、県内では初の取り組み）
2012 年 平成 24 年 2 月 20 日	第 1 回宇部・山陽小野田消防組合議会 定例会開催
2012 年 平成 24 年 3 月 30 日	宇部市・山陽小野田市消防広域化協議会 廃止
2012 年 平成 24 年 4 月 1 日	「宇部・山陽小野田消防局」が発足し、1 本部 4 署 4 出張所、職員定数 298 人で消防業務を開始
2013 年 平成 25 年 3 月 28 日	山陽小野田市大字厚狭 487 番地 9 へ山陽消防署を新築移転し、竣工式を挙げる
2014 年 平成 26 年 3 月 2 日	高機能消防指令センター及び消防救急デジタル無線の運用開始
2014 年 平成 26 年 8 月 22 日	緊急消防援助隊（延べ 13 隊、52 人）を広島市土砂災害（広島県広島市安佐南区）の被災地へ 9 日間派遣
2015 年 平成 27 年 1 月 28 日	第一次宇部・山陽小野田消防組合基本計画を策定
2016 年 平成 28 年 4 月 16 日	緊急消防援助隊（延べ 12 隊、44 人）を熊本地震（熊本県南阿蘇村河陽地区ほか）の被災地へ 6 日間派遣
2017 年 平成 29 年 7 月 6 日	緊急消防援助隊（延べ 27 隊、108 人）を平成 29 年 7 月九州北部豪雨災害（福岡県朝倉郡東峰村ほか）の被災地へ 20 日間派遣
2018 年 平成 30 年 3 月 25 日	宇部市大字船木 461 番地 1 へ宇部西消防署楠出張所を新築移転し、開所式を挙げる
2018 年 平成 30 年 7 月 6 日	緊急消防援助隊（延べ 12 隊、34 人）を平成 30 年 7 月豪雨災害（広島県安芸区矢野東付近ほか）の被災地へ 13 日間派遣
2020 年 令和 2 年 4 月 1 日	消防の充実強化を図るため、職員定数を 315 人に増員
2020 年 令和 2 年 7 月 6 日	緊急消防援助隊（延べ 16 隊、48 人）を令和 2 年 7 月豪雨災害（熊本県八代市及び球磨郡球磨村ほか）の被災地へ 9 日間派遣
2023 年 令和 5 年 4 月 1 日	消防の充実強化を図るため、職員定数を 350 人に増員
2023 年 令和 5 年 10 月 21 日	自治体消防 75 周年記念山口県消防大会を開催
2024 年 令和 6 年 2 月 13 日	第二次宇部・山陽小野田消防組合基本計画を策定

(2) 宇部市消防の沿革

(西暦)	年	月	日	沿 革
1921 年	大正 10 年	1 1 月	1 1 日	村から一躍市政を施行。消防組織は消防組と称し、市域を 4 部に分け、各部 32 人をもって組織し、腕用ポンプを配備
1931 年	昭和 6 年			藤山村と合併し、消防組の組織が拡充強化
1939 年	昭和 14 年	4 月	1 日	消防組を警防団に改名し、市域を 11 分団、各 250 人程度に編成
1941 年	昭和 16 年			厚南村と合併し、消防組の組織が拡充強化
1943 年	昭和 18 年			西岐波村と合併し、消防組の組織が拡充強化
1944 年	昭和 19 年	3 月	24 日	宇部市小串通り渡辺翁記念会館内に山口県宇部消防署が設置(勅令第 137 号特設消防規定に基づく)され、防府市と山口市にその出張所を設置
1947 年	昭和 22 年	9 月		終戦による警防団の解散に伴い、新たに 11 分団定員 419 人の消防団が結成
1947 年	昭和 22 年	12 月	23 日	消防組織法が公布され、従来の官設消防は、警察から分離して民主的な自治体消防として発足
1948 年	昭和 23 年	3 月	7 日	消防組織法の施行に伴い、宇部市消防本部を宇部市常盤通り一丁目宇部市役所内に設置し、宇部市消防署は従前どおり渡辺翁記念会館内に存置して、自治体消防として新発足 また、防府、山口両市の出張所は宇部消防署の管轄を離れ、人員機材をそのままに両市自治体消防として発足
1948 年	昭和 23 年	7 月	24 日	消防法が公布され、消防業務は従来の水火災の防御鎮圧分野から大きく進展し、火災予防、原因の調査、建築許可等の同意、危険物の取締等の消防行政に画期的な職権が付与
1950 年	昭和 25 年	9 月	16 日	宇部市消防本部を渡辺翁記念会館内(宇部市消防署と同一箇所)に移転
1954 年	昭和 29 年	10 月	1 日	厚東、二俣瀬、小野、東岐波の 4 村が合併
1956 年	昭和 31 年	11 月		消防団の機構改革を行い、11 分団、定員 600 人に統合
1960 年	昭和 35 年	9 月	1 日	宇部市消防本部及び宇部市消防署を常盤町二丁目、郵便局庁舎北隣の新庁舎に移転
1963 年	昭和 38 年	9 月	10 日	消防法の一部改正により、救急業務が制度化され、救急車 1 台を配備して、救急隊を編成

(西暦) 年 月 日	沿 革
1970 年 昭和 4 5 年 1 1 月	宇部市消防団の事務局を市長部局から消防本部総務課へ移管
1975 年 昭和 5 0 年 9 月 2 6 日	山口県消防操法大会応急操法ポンプ車の部において初優勝
1977 年 昭和 5 2 年 4 月 1 日	吉敷郡阿知須町から同町の救急業務に関する事務を受託
1977 年 昭和 5 2 年 4 月 1 日	宇部市消防本部消防職員共済会設立
1978 年 昭和 5 3 年 4 月 1 8 日	厚南中野に厚南消防出張所を建築、消防業務を開始し職員定数を 9 7 人に増員
1980 年 昭和 5 5 年 4 月 1 日	西岐波西大道に東部消防出張所を建築、業務を開始し、職員定数を 1 2 4 人に増員
1982 年 昭和 5 7 年 1 2 月 6 日	山口宇部空港内に空港分遣所を設置
1988 年 昭和 6 3 年 3 月 3 1 日	山口宇部空港内の空港分遣所を廃止
1989 年 平成 元年 1 月 1 9 日	宇部市消防本部及び宇部市消防署を港町二丁目の新庁舎に移転し、消防緊急情報システムを導入
1990 年 平成 2 年 1 1 月 3 0 日	高齢化社会に伴い、緊急時の通報として宇部市緊急通報システムを構築し、集中管理センターを消防本部通信指令室に設置
1991 年 平成 3 年 9 月 2 6 日	山口県消防操法大会応急操法小型ポンプの部において初優勝
1992 年 平成 4 年 1 1 月 6 日	救急救命士及び高規格救急自動車による高度処置救急隊の運用開始
1995 年 平成 7 年 4 月 1 日	二俣瀬に北部消防出張所を建築、業務を開始し、職員定数を 1 6 1 人に増員
1995 年 平成 7 年 8 月 1 日	宇部地区地震連絡協議会を設立（同年 7 月 3 1 日）し地震発生情報伝達システムの運用を開始
1996 年 平成 8 年 4 月 1 日	消防の充実強化を図るため、職員定数を 1 6 4 人に増員
1997 年 平成 9 年 4 月 1 日	消防の充実強化を図るため、職員定数を 1 7 0 人に増員
1997 年 平成 9 年 5 月 1 5 日	山口県消防大会を開催
1998 年 平成 1 0 年 4 月 1 日	西部消防出張所を西消防署に昇格し、職員定数を 1 7 6 人に増員

(西暦) 年 月 日	沿 革
1999 年 平成 11 年 10 月 1 日	消防緊急通信指令施設更新
2000 年 平成 12 年 4 月 1 日	消防の充実強化及び拡充を図るため、職員定数を 184 人に増員し通信指令部門を通信指令課として独立
2000 年 平成 12 年 10 月 1 日	吉敷郡阿知須町から同町の消防業務に関する事務を受託
2002 年 平成 14 年 4 月 1 日	中央消防署に救助係を設置
2002 年 平成 14 年 10 月 16 日	中国・四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練を阿知須町きらら浜で実施
2003 年 平成 15 年 8 月 1 日	救命率向上を図るため、山口大学医学部付属病院と相互協力し、救急車医師同乗システム（通称：ドクターカー）を運用開始
2004 年 平成 16 年 11 月 1 日	楠町との合併により楠消防出張所を開設し、1 本部、2 署、3 出張所、職員定数 194 人で運用開始 また宇部市消防団の定員を宇部消防団 560 人、楠消防団 180 人で運用開始
2007 年 平成 19 年 3 月 1 日	高規格救急自動車 1 台を導入し、保有する 7 台全ての救急車の高規格化が完了
2007 年 平成 19 年 4 月 1 日	宇部消防団に方面隊を組織し、定員 520 人に改正
2008 年 平成 20 年 5 月 30 日	宇部市危険物安全協会と宇部市防火協会を統合し、宇部市防災協会を設立
2008 年 平成 20 年 9 月 20 日	山口県消防操法大会基本操法小型ポンプの部において初優勝
2009 年 平成 21 年 10 月 31 日	山口市阿知須区域の事務受託を廃止
2011 年 平成 23 年 3 月 14 日	緊急消防援助隊（4 隊、13 人、車両 4 台）を東日本大震災（宮城県石巻市）の被災地へ 4 日間派遣
2013 年 平成 25 年 4 月 1 日	宇部市消防団（宇部消防団、楠消防団）が統合

(3) 小野田市消防の沿革

(西暦)	年	月	日	沿	革
1898 年	明治 3 1 年	2 月		須恵村に公設消防組を設置	
1908 年	明治 4 1 年	9 月		高千帆村に公設消防組を設置	
1939 年	昭和 1 4 年	4 月 1 5 日		小野田・高千帆両町の消防組を警防団に改名	
1940 年	昭和 1 5 年	1 1 月 3 日		小野田町と高千帆町が合併して小野田市となり、両町の警防団は小野田市警防団と再編	
1947 年	昭和 2 2 年	6 月 2 7 日		小野田市消防団を結成し、団本部と 8 個分団を編成、4 5 0 人の組織を設置	
1948 年	昭和 2 3 年	1 2 月 1 日		市役所社会課内に小野田市消防本部を設置	
1949 年	昭和 2 4 年	5 月 1 日		小野田市大字小野田 5 9 9 3 番地へ消防本部を設置し、当市消防行政は市の一般行政から独立、消防職員の定数は消防長以下 5 人で、消防業務を開始	
1950 年	昭和 2 5 年	4 月 1 日		小野田市消防団員の定員を 4 5 0 人から 2 7 5 人に改正	
1951 年	昭和 2 6 年	1 月 1 8 日		消防団第 2 分団の水上部を独立させ、水上分団を設置	
1951 年	昭和 2 6 年	8 月 3 日		市長、消防長、団長、市議会議員 4 人、一般有識者 1 0 人により小野田市消防委員会を設置	
1955 年	昭和 3 0 年	5 月 3 0 日		高松宮殿下を迎え、消防自動車 8 0 台、消防職団員 3, 0 0 0 人による山口県消防機関連合訓練大会を挙行	
1963 年	昭和 3 8 年	3 月 9 日		小野田市大字小野田 5 8 9 6 番地の 1 に消防本部・署庁舎を新築移転	
1963 年	昭和 3 8 年	4 月 1 日		小野田市危険物安全協会を設立 (1 0 事業所)	
1964 年	昭和 3 9 年	1 2 月 1 1 日		非常災害連絡用として消防無線局を開局 ・基地局 (1 0 W 1 基) ・陸上移動局 (1 0 W 3 基) ・携帯陸上移動局 (1 W 2 基)	
1965 年	昭和 4 0 年	1 0 月 1 日		救急業務を開始	
1970 年	昭和 4 5 年	1 2 月 1 日		小野田市化学消火剤共同備蓄会を設立 (3 4 事業所)	
1977 年	昭和 5 2 年	1 0 月 1 7 日		大型化学消防自動車、大型高所放水車、泡原液搬送車を配置	
1978 年	昭和 5 3 年	1 2 月 5 日		一斉指令装置を設置	

(西暦)	年	月	日	沿 革
1983 年	昭和 5 8 年	7 月	1 日	機構改革により、新たに予防課を設置、総務課に消防団係を設置
1985 年	昭和 6 0 年	6 月	1 日	石井手保育園に幼年消防クラブを結成、以後 6 保育園がクラブを結成
1985 年	昭和 6 0 年	7 月 1 9 日		刈屋婦人防火クラブを結成
1985 年	昭和 6 0 年	9 月	1 日	小野田市防火委員会を結成
1987 年	昭和 6 2 年	1 1 月 1 1 日		全国消防長会危険物委員会を開催
1990 年	平成 2 年	5 月 2 3 日		山口県消防大会を開催
1992 年	平成 4 年	4 月	1 日	女性消防団員 1 0 人を採用
1993 年	平成 5 年	4 月	1 日	職員定数を 5 4 人から 5 7 人に増員
1995 年	平成 7 年	9 月	1 日	県下初の地震を想定した山口県総合防災訓練を実施
1995 年	平成 7 年	1 0 月 2 4 日		山口県幼年消防大会を開催
1996 年	平成 8 年	4 月	1 日	高規格救急自動車を新規配備し高度救急業務を開始
1997 年	平成 9 年	3 月 2 6 日		耐震性貯水槽（1 0 0 t）新設、以後市街地に 9 基設置
1999 年	平成 1 1 年	3 月 2 5 日		消防緊急通信指令施設（I 型）が完成
1999 年	平成 1 1 年	4 月	1 日	小野田市高栄一丁目 6 番 1 号へ消防本部・消防署庁舎を新築移転し、供用開始（本庁舎：鉄筋コンクリート一部鉄骨造 2 階建）
1999 年	平成 1 1 年	7 月	1 日	きららビーチ完成に伴い、消防署に水難救助隊を設置
2000 年	平成 1 2 年	1 月 2 0 日		消防訓練塔完成（主塔：5 階建、補助塔：3 階建）
2000 年	平成 1 2 年	3 月 2 9 日		化学消火薬剤備蓄タンク（2 0 k l）及び消火薬剤倉庫が完成
2000 年	平成 1 2 年	6 月	8 日	山口県危険物安全大会を開催
2002 年	平成 1 4 年	3 月 2 7 日		小野田市消防団が地域活動功労による消防庁長官表彰を山口県で初受賞
2002 年	平成 1 4 年	1 0 月 1 7 日		全国消防長会予防委員会を開催
2005 年	平成 1 7 年	3 月 2 1 日		小野田市消防委員会を廃止

(4) 山陽町消防の沿革

(西暦)	年	月	日	沿 革
1948 年	昭和 23 年	8 月		厚狭町消防本部を設置
1956 年	昭和 31 年	9 月		厚狭町と埴生町が合併し山陽町となり、山陽町消防本部を設置
1963 年	昭和 38 年	1 月		山陽町危険物安全協会を設立
1971 年	昭和 46 年	4 月		楠町と救急業務に関する事務委託協定を締結
1973 年	昭和 48 年	6 月		山陽地区消防組合を設立（許可番号：指令地方第 327 号） 山陽町と楠町で消防に関する事務を共同処理
1974 年	昭和 49 年	10 月		楠出張所開設、職員 6 人、消防ポンプ車、救急車、連絡車の 3 台配備し業務開始 埴生出張所（旧埴生消防事務室）開設、職員 5 人、消防団消防ポンプ自動車を管理
1981 年	昭和 56 年	4 月		埴生出張所完成、職員 7 人、水槽付消防ポンプ車、救急車、連絡車の 3 台を配備
1993 年	平成 5 年	3 月		消防緊急通信指令施設（I 型）を設置
1993 年	平成 5 年	7 月		消防組合発足 20 周年記念式典を開催
1994 年	平成 6 年	3 月		消防用無線中継局を松岳山に開局
1994 年	平成 6 年	11 月		山陽署事務室等増築
2000 年	平成 12 年	8 月		山口県総合防災訓練を実施
2002 年	平成 14 年	4 月		高規格救急自動車を山陽消防署に配備し高度救急業務開始
2003 年	平成 15 年	6 月		山口県危険物安全大会を開催
2004 年	平成 16 年	4 月		職員 8 人（内 3 人救急救命士）を採用し実員 64 人に増員
2004 年	平成 16 年	5 月		山口県消防大会を開催
2004 年	平成 16 年	10 月 31 日		組合構成団体の楠町が宇部市と合併、山陽地区消防組合を解散
2004 年	平成 16 年	11 月 1 日		山陽町消防本部を設立 1 本部 1 署 1 出張所、職員定数 54 人で消防業務開始

(5) 山陽小野田市消防の沿革

(西暦)	年	月	日	沿 革
2005 年	平成 17 年	3 月	22 日	小野田市と山陽町の合併により、山陽小野田市が誕生したことに伴い、常備消防は、2 消防本部が統合して山陽小野田市消防本部（山陽小野田市高栄一丁目 6 番 1 号）が発足、1 本部 2 署 1 出張所、職員定数 110 人の消防体制で消防業務を開始 一方、非常備消防も 2 市町の消防団が統合し、1 団本部、22 分団、定員 503 人による消防団組織を編成
2005 年	平成 17 年	9 月	17 日	山口県消防操法大会応急操法小型ポンプの部において初優勝
2006 年	平成 18 年	3 月	20 日	消防緊急通信指令システム（I 型）を更新
2006 年	平成 18 年	5 月	28 日	消防学校フェスタで従来の幼年消防クラブ大会に替えて、山陽小野田市引受けによるちびっ子防火フェアを開催
2007 年	平成 19 年	4 月	1 日	山陽小野田市消防団は合併協定事項に基づき、小学校区を基本に統合、合併当時の 22 個分団を 13 個分団に再編し、定員も 503 人から 485 人に改正、業務開始
2007 年	平成 19 年	4 月	12 日	出合分団及び厚陽分団の車庫完成に伴い、分団車庫引渡披露式を実施
2008 年	平成 20 年	3 月	18 日	厚狭北分団の車庫完成に伴い、分団車庫引渡披露式を実施
2011 年	平成 23 年	3 月	14 日	緊急消防援助隊（2 隊、5 人、車両 2 台）を東日本大震災（宮城県石巻市）の被災地へ 4 日間派遣

5 歴代消防長

(1) 宇部・山陽小野田消防局

代	氏 名	期 間	備 考
初	杉 野 嘉 裕	平成 24 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日	
2	江 本 祥 三	平成 27 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日	
3	山 本 晃	平成 29 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日	
4	石 部 隆	平成 31 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日	
5	杉 本 秀 一	令和 5 年 4 月 1 日 ～現在	

(2) 宇部市

代	氏 名	期 間	備 考
初	星 出 寿 雄	昭和 23 年 3 月 7 日 ～昭和 25 年 9 月 15 日	助役
2	中 間 義 雄	昭和 25 年 9 月 16 日～昭和 42 年 3 月 31 日	
3	西 田 竹 一	昭和 42 年 4 月 1 日 ～昭和 42 年 5 月 31 日	助役
4	三 井 太兵衛	昭和 42 年 6 月 1 日 ～昭和 48 年 1 月 10 日	
5	西 田 一 美	昭和 48 年 1 月 11 日～昭和 52 年 11 月 30 日	
6	穂 村 馨	昭和 52 年 12 月 1 日～昭和 55 年 3 月 31 日	
7	佐 野 慶 一	昭和 55 年 4 月 1 日 ～昭和 58 年 3 月 3 日	
8	石 土 吾 市	昭和 58 年 3 月 4 日 ～昭和 61 年 3 月 31 日	
9	中 川 典 義	昭和 61 年 4 月 1 日 ～平成元年 3 月 31 日	
10	河 野 積 善	平成元年 4 月 1 日 ～平成 2 年 3 月 31 日	
11	片 岡 信 行	平成 2 年 4 月 1 日 ～平成 4 年 3 月 31 日	
12	山 縣 熙	平成 4 年 4 月 1 日 ～平成 8 年 3 月 31 日	
13	若 杉 清 美	平成 8 年 4 月 1 日 ～平成 11 年 3 月 31 日	
14	神 田 義 正	平成 11 年 4 月 1 日 ～平成 13 年 3 月 31 日	
15	原 谷 恒 雄	平成 13 年 4 月 1 日 ～平成 15 年 3 月 31 日	
16	中 山 武 久	平成 15 年 4 月 1 日 ～平成 17 年 3 月 31 日	
17	矢 野 洋 司	平成 17 年 4 月 1 日 ～平成 19 年 3 月 31 日	
18	利 重 和 彦	平成 19 年 4 月 1 日 ～平成 22 年 3 月 31 日	
19	芥 川 貴久爾	平成 22 年 4 月 1 日 ～平成 24 年 3 月 31 日	

(3) 小野田市

代	氏 名	期 間	備 考
初	森 本 品 一	昭和 23 年 5 月 1 日 ～昭和 32 年 7 月 10 日	
2	豊 田 重 康	昭和 32 年 7 月 11 日～昭和 39 年 3 月 31 日	
3	近 間 武 久	昭和 39 年 4 月 1 日 ～昭和 43 年 3 月 31 日	
4	岡 義 雄	昭和 43 年 4 月 1 日 ～昭和 47 年 3 月 31 日	
5	大 中 誠	昭和 47 年 4 月 1 日 ～昭和 48 年 3 月 30 日	

6	濱 崎 清 治	昭和 48 年 10 月 1 日～昭和 59 年 3 月 31 日	
7	金 澤 俊 雄	昭和 59 年 4 月 1 日 ～昭和 62 年 3 月 31 日	
8	西 田 一	昭和 62 年 4 月 1 日 ～平成元年 3 月 31 日	
9	尾 山 克 己	平成元年 4 月 1 日 ～平成 3 年 6 月 20 日	
10	西 村 信 二	平成 3 年 6 月 21 日 ～平成 8 年 3 月 31 日	
11	平 田 武	平成 8 年 4 月 1 日 ～平成 10 年 3 月 31 日	
12	高 橋 茂	平成 10 年 4 月 1 日 ～平成 16 年 3 月 31 日	
13	中 里 裕 典	平成 16 年 4 月 1 日 ～平成 17 年 3 月 21 日	

(4) 山陽町

代	氏 名	期 間	備 考
初	真 鍋 亭 造	昭和 23 年 8 月 1 日 ～昭和 25 年 4 月 1 日	助役
2	八 木 正 一	昭和 25 年 5 月 4 日 ～昭和 27 年 5 月 31 日	助役
3	中 村 貞 雄	昭和 27 年 10 月 11 日～昭和 31 年 11 月 5 日	助役
4	細 迫 左文太	昭和 31 年 11 月 17 日～昭和 33 年 4 月 9 日	町長
5	縄 田 定 人	昭和 33 年 6 月 15 日 ～昭和 39 年 12 月 31 日	助役
6	田 中 文	昭和 40 年 4 月 5 日 ～昭和 43 年 11 月 20 日	助役
7	小 玉 礦	昭和 44 年 2 月 1 日 ～昭和 45 年 4 月 30 日	職務代理
8	福 永 内 匠	昭和 45 年 5 月 1 日 ～昭和 46 年 6 月 15 日	
9	小 玉 礦	昭和 46 年 7 月 1 日 ～昭和 48 年 5 月 31 日	
10	安 部 學	平成 16 年 10 月 1 日 ～平成 17 年 3 月 21 日	

(5) 山陽地区消防組合

代	氏 名	期 間	備 考
初	小 玉 礦	昭和 48 年 6 月 1 日 ～昭和 58 年 1 月 10 日	
2	庄 野 義 章	昭和 58 年 1 月 11 日 ～昭和 60 年 3 月 31 日	
3	金 重 成 昭	昭和 60 年 4 月 1 日 ～昭和 63 年 3 月 31 日	
4	尾 田 勝	昭和 63 年 4 月 1 日 ～平成 7 年 3 月 31 日	
5	野 村 隆 之	平成 7 年 4 月 1 日 ～平成 13 年 3 月 31 日	
6	笹 木 慶 之	平成 13 年 4 月 1 日 ～平成 14 年 3 月 31 日	
7	安 部 學	平成 14 年 4 月 1 日 ～平成 16 年 9 月 30 日	

(6) 山陽小野田市

代	氏 名	期 間	備 考
初	中 里 裕 典	平成 17 年 3 月 22 日 ～平成 20 年 3 月 31 日	
2	山 根 雅 敏	平成 20 年 4 月 1 日 ～平成 22 年 3 月 31 日	
3	松 野 清 和	平成 22 年 4 月 1 日 ～平成 24 年 3 月 31 日	

6 過去の主な災害等

(1) 宇部・山陽小野田消防組合発足以降の主な火災記録

発生日	住 所	原因・焼損程度・損害額等
H25. 9. 8	宇部市 大字沖宇部	工場内の中間製品貯蔵タンクより出火 損害額 7, 440千円 軽症2人
H26. 4. 27	宇部市 大字今富	倉庫から出火し、山林に延焼 建物9棟全焼、1棟部分焼 (836㎡) 損害額 7, 849千円 山林61a焼失
H26. 8. 18	山陽小野田市 新沖二丁目	発電所のベルトコンベアーから出火 損害額 122, 409千円
H27. 5. 1	山陽小野田市 大字小野田	工場内のベルトコンベアーから出火 損害額 9, 428千円
H27. 8. 5	山陽小野田市 港町	ガス充てん工場作業場から出火 損害額 84, 040千円 負傷者1人

(2) 宇部市の主な火災記録

発生日	住 所	原因・焼損程度・損害額等
S20. 7. 2	市内	B29爆撃機による空襲 4, 953戸全焼 り災世帯23, 413世帯 死者336人 負傷者591人
S25. 2. 18	常盤町二丁目	百貨店から出火 建物7棟焼損 (1, 404㎡) 損害額 21, 989千円
S28. 3. 2	梶返	中学校から出火 建物4棟焼損 (5, 690㎡) 負傷者 6人 損害額 70, 000千円
S30. 11. 20	小串	病院から出火 建物1棟全焼 (2, 507㎡) 損害額 24, 717千円
S34. 7. 11	大字藤曲	化学工場が爆発 建物1棟 (560㎡) 死者11人 負傷者38人 損害額 250, 000千円
S36. 4. 1	川上(男山)	山林から出火 3日間延焼 462ha焼失 損害額 37, 582千円
S37. 10. 29	大字上宇部	高等学校から出火 建物4棟焼損 (999㎡) 損害額 2, 704千円
S40. 3. 19	東海岸通り二丁目	木工所から出火 建物12棟焼損 (1, 788㎡) り災世帯19世帯 負傷者2人 損害額 30, 506千円
S43. 6. 12	中央町三丁目	家具百貨店から出火 建物18棟焼損 (2, 658㎡) り災世帯26世帯 負傷者2人 損害額 93, 458千円
H元. 12. 7	新天町二丁目	物品販売店舗から出火 建物1棟全焼 (4, 068㎡) り災世帯3世帯 負傷者3人 損害額 510, 776千円

(3) 旧小野田市の主な火災記録

発生日	住 所	原因・焼損程度・損害額等
S26. 6. 6	くし山中	小学校から出火 校舎2棟全焼(919㎡) 損害額 7,048千円
S30. 3. 7	北栄町	映画館から出火 建物1棟全焼(659㎡) 損害額 5,050千円
S33. 4. 8	くし山東	高等学校から出火 校舎1棟全焼(347㎡) 損害額 1,700千円
S34. 11. 13	第一日の出町	パチンコ店から出火 建物3棟全焼(292㎡) り災世帯12世帯 り災人員41人 損害額 168,298千円
S53. 4. 9	北真土郷	林野から出火 焼損面積27ha 損害額 24,003千円
S56. 7. 7	西沖	石油精製工場(動力管理室から出火)建物1棟部分焼 損害額 17,130千円(原因は落雷) 負傷者1人
S59. 2. 28	丸河内一区	電気製品の倉庫から出火 建物1棟全焼(869㎡) 損害額 134,410千円
S60. 6. 23	南真土郷	樹脂工場から出火 建物1棟全焼(660㎡) 損害額 151,675千円
S63. 4. 26	平和町	専用住宅から出火 建物20棟を全半焼(1,486㎡) り災世帯25世帯 り災人員63人 損害額 347,974千円
H11. 9. 7	小野田港	製鋼工場から水蒸気爆発が発生 出火建物は爆発により損壊したが、 火災による損害はスクラップのみ

(4) 旧山陽町の主な火災記録

発生日	住 所	原因・焼損程度・損害額等
S25. 5. 15	火薬町	化学工場内の廃酸分解から出火 建物3戸全焼(298㎡) 損害額 100,000千円 半焼1戸 死者3人
S26. 6. 7	本町1	映画館から出火 映画館(200㎡)を全焼 半焼5戸 損害額 8,750千円 り災世帯6世帯
S35. 2. 20	山陽本線	山陽本線厚狭埴生駅間「さくら」の電源車から出火 損害額 31,320千円
S40. 3. 21	保戸	山林から出火 山林13.8ha焼失 損害額 2,202千円
S42. 6. 4	大持	山林から出火 再燃で延べ4日間にわたり延焼 損害額 6,291千円、山林18.4ha焼失
S43. 4. 30	大持	山林から出火 山林10.3ha焼失 損害額 458千円
S45. 1. 16	殿町3	小学校(木造2階建)から出火 校舎半焼(542㎡) 損害額 2,634千円
H15. 11. 8	浜崎	「まつり山陽」前夜祭花火大会において花火の爆発事故 損害額 94千円 死者2人 重症1人 軽症1人

(5) 山陽小野田市の主な火災記録

発生日	住 所	原因・焼損程度・損害額等
H17. 10. 24	新沖二丁目	発電所のベルトコンベアーから出火 損害額 47,806千円

(6) 宇部・山陽小野田地区における自然災害

年 月 日	内 容	被 害 概 要	
		宇 部 市	山陽小野田市
S17. 8. 27	周防灘台風により高潮が発生、市内堤防が相次いで決壊し市街地及び低地に海水が浸水し、甚大な被害をもたらした。	死者 232 人、行方不明 65 人、負傷者 118 人、家屋全壊 71 戸、家屋流出 472 戸、家屋半壊 643 戸、浸水 5,082 戸	(小野田市)死者 141 人、行方不明 3 人、負傷者 27 人、家屋全壊 195 戸、家屋流出 96 戸、家屋半壊 985 戸、床上浸水 509 戸、船舶流失 350 艘
S28. 6. 25 ～6. 29	九州山口を豪雨が襲い、約 5 日間にわたる記録的な大雨となり、大きな被害をもたらした。	死者 1 人、家屋全半壊 29 戸、浸水 3,707 戸、真締川堤防 3 か所決壊、13 鉱完全水没、	(小野田市)死者 2 人、重傷者 1 人、家屋全半壊 44 戸、家屋流出 1 戸、床上浸水 179 戸、道路決壊 30 ヶ所、橋梁流出 4 箇所(山陽町)厚狭川決壊、死者 6 人、負傷者 5 人、家屋全半壊 19 戸、床上浸水 1,503 戸
H3. 9. 27	台風第 19 号は、中心気圧 945hpa、最大風速 45m/s の大型台風で、大きな被害をもたらした。	死者 1 人(太陽熱温水器落下による)、重傷者 3 人、軽傷者 8 人、家屋半壊 41 戸	(小野田市)負傷者 7 人、家屋全壊 1 戸、家屋半壊 10 戸、床上浸水 1 戸 (山陽町)家屋全壊 2 戸、家屋半壊 1 戸、床上浸水 11 戸、床下浸水 23 戸
H11. 9. 24	台風第 18 号は、中心気圧 950hpa、最大風速 45m/s の大型台風で竜巻、高潮による大きな被害をもたらした。	重傷者 4 人、軽傷者 7 人、家屋全壊 13 戸、家屋半壊 536 戸、床上浸水 241 戸、床下浸水 3,408 戸	(小野田市)重傷者 12 人、軽傷者 70 人、家屋全壊 17 戸、家屋半壊 118 戸、西部石油沖護岸決壊、床上浸水 83 戸 (山陽町)負傷者 5 人、住宅全壊 32 世帯、半壊 421 世帯、非住居の被害 215 戸、救出者 21 人
H21. 7. 21 ～7. 26	梅雨前線に伴う集中豪雨(平成 21 年 7 月中国・九州北部豪雨)のため、河川の氾濫等により多くの水害をもたらした。	家屋半壊 4 戸、床上浸水 42 戸、床下浸水 20 戸	床上浸水 44 戸、床下浸水 221 戸、救助出動 9 件、救助人員 49 人
H22. 7. 15	梅雨前線の停滞に伴う集中豪雨による厚狭川等の氾濫のため、山陽地区において多くの水害をもたらした。	家屋半壊 1 戸、家屋一部損壊 8 戸、床上浸水 2 戸、床下浸水 60 戸	家屋半壊 8 戸、床上浸水 446 戸、床下浸水 351 戸、救助人員 92 人(宇部・光・岩国消防応援隊救出を含む)

7 応援協定等締結状況

協定の名称		締結先機関	締結年月日
1	山口県内広域消防相互応援協定書	山口県内全域の市町及び消防組合	H24. 4. 1
2	中国自動車及び山陽自動車道における消防相互応援協定書	下関市・美祢市・山陽小野田市・宇部市 山口市・防府市・周南市・下松市・光市 光地区消防組合・岩国市・岩国地区消防組合	H24. 4. 1
3	県道山口宇部線における消防相互応援協定書	山口市・宇部市	H24. 3. 28
4	石油コンビナート等特別防災区域に係る消防相互応援協定書	岩国地区消防組合・下松市・周南市・下関市	H24. 4. 1
5	「母体・新生児救急搬送マニュアル」に係る救急業務相互応援協定書	下関市・山口市・萩市・防府市・下松市・長門市 周南市・柳井地区広域消防組合・美祢市 光地区消防組合・岩国地区消防組合	H24. 4. 1
6	山口県消防防災ヘリコプター応援協定	山口県・山口県内全域の市町及び消防組合	H24. 4. 1
7	船舶消火に関する業務協定	宇部海上保安署	H24. 4. 1
8	山口宇部空港及びその周辺における消火救援活動に関する協定	山口宇部空港	H24. 4. 1
9	ガス漏れ及び爆発事故等の防止対策に関する申し合わせ	都市ガス 山口合同ガス(株)宇部支店	H26. 4. 1
		L P ガス 山口県L P ガス協会宇部小野田支部	H24. 4. 1
		L P ガス 山口県L P ガス協会厚狭支部	H24. 4. 1
10	救急車医師同乗システムに関する協定書	国立大学法人山口大学	H24. 4. 1
11	気管挿管実習に係る協定書	山口大学医学部附属病院	H24. 4. 1
12	宇部・山陽小野田消防局地域における医療救護活動に関する協定	山口大学医学部附属病院	H24. 4. 1
		医療法人社団宇部中央病院	H26. 10. 1
		山口労災病院	H24. 4. 1
13	エボラ出血熱患者の移送に関する協定書	山口県宇部環境保健所	H27. 6. 5
14	宇部・山陽小野田消防局地域における医療救護活動に関する協定	山陽小野田市民病院	H30. 2. 9
15	消防用設備等点検報告の情報提供に係る協定書	一般財団法人山口県宅建協会宇部支部 公益社団法人全日本不動産協会山口県本部	R3. 8. 2

総

務

宇部・山陽小野田消防組合
令和6年度消防吏員
採用試験 

【受験申込期間】
R6 **7/1 ~ 8/1**

【第一次試験日】
9/22(日)

 大丈夫、はじめはみんな初心者です。
人を助けたい方！
社会の役に立ちたい方！
消防はとてもやりがいがある仕事です。
まずは受験してみませんか？
いろいろな業務があり、男性も女性も
働きやすい職場です。
待ってます！

採用ガイダンス開催



本消防組合採用試験の受験予定者等に消防業務への理解を深めてもらい、多くの方に受験していただくことを目的として、採用ガイダンスを開催しています。

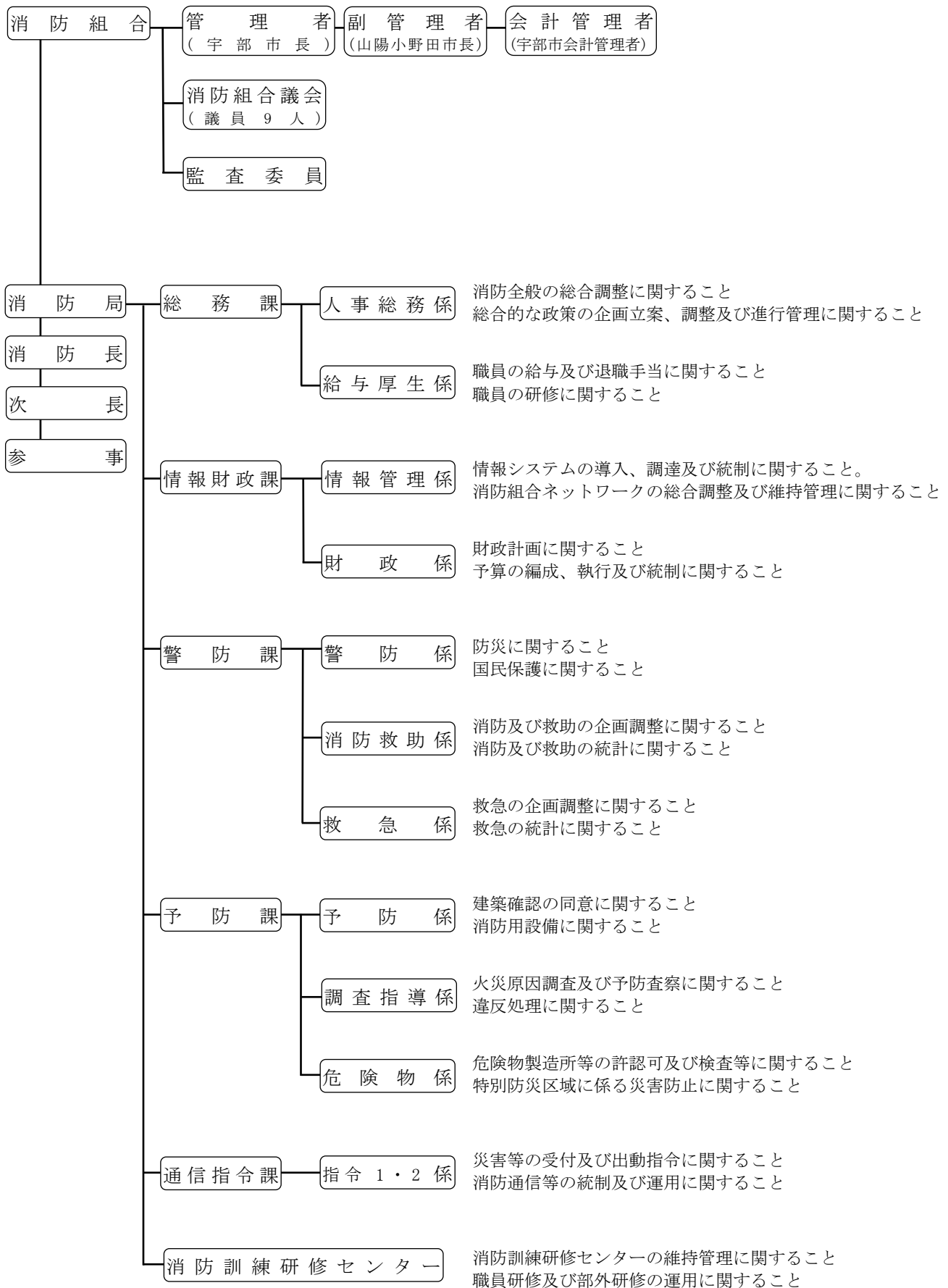
令和6年度は、本消防組合の説明、施設見学(小野田消防署)や、出動時の防火衣装着、消防隊・救助隊・救急隊の訓練等を見学していただきました。

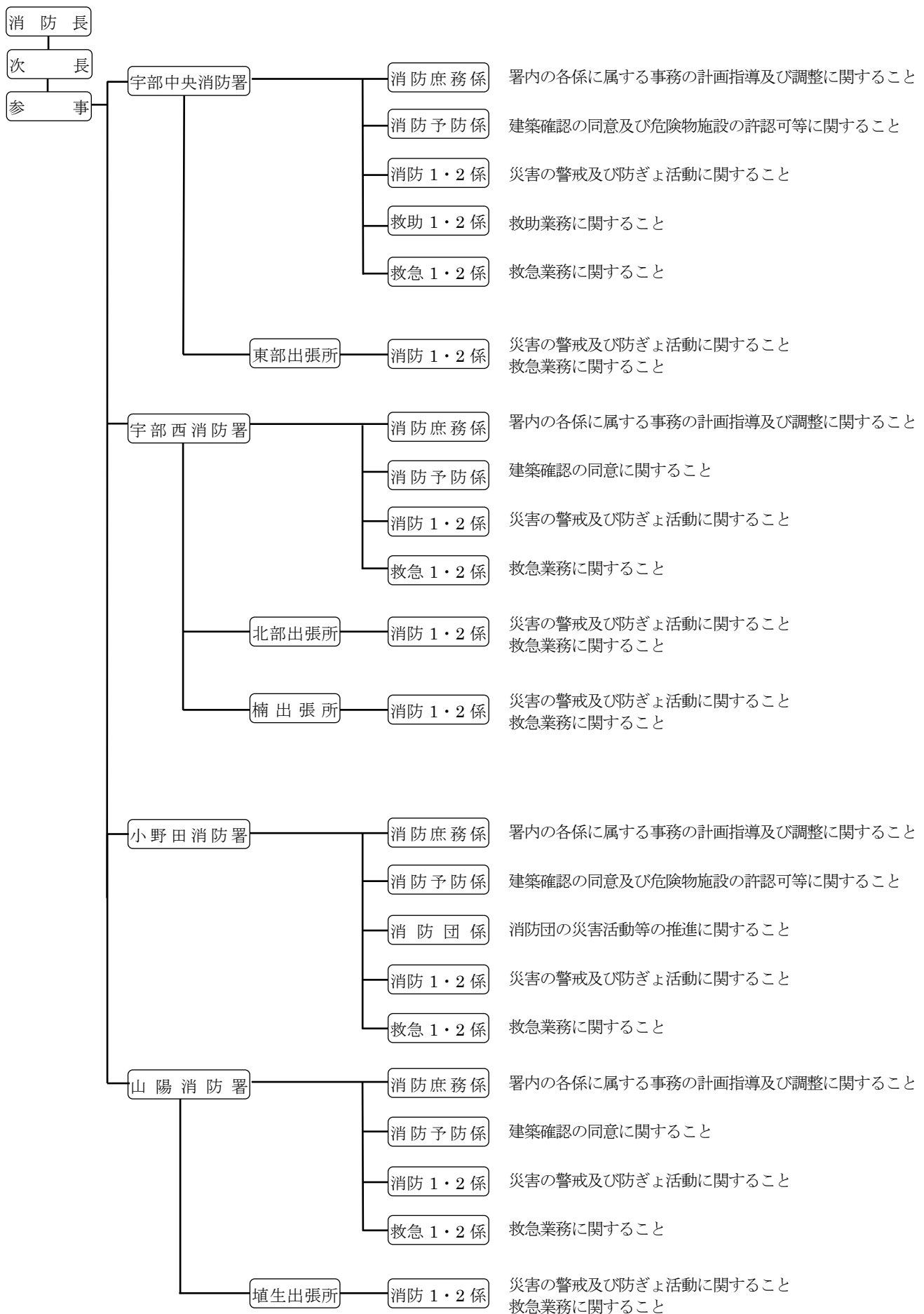
1 年間の主な行事

- 6 月第 2 週……………危険物安全週間
- 8 月 3 0 日 ～ 9 月 5 日……………防災週間
- 9 月 1 日……………防災の日
- 9 月 9 日……………救急の日
- 1 1 月 9 日……………1 1 9 番の日
- 1 1 月 9 日 ～ 1 1 月 1 5 日……………秋季火災予防運動
- 1 月 1 5 日 ～ 1 月 2 1 日……………防災とボランティア週間
- 1 月 1 7 日……………防災とボランティアの日
- 1 月 2 6 日……………文化財防火デー
- 3 月 1 日 ～ 3 月 7 日……………春季火災予防運動
- 3 月 7 日……………消防記念日

1 宇部・山陽小野田消防組合組織図及び主な分掌事務

令和7年4月1日現在





2 消防局・消防署職員配置表

令和7年4月1日現在 [単位：人]

階級 勤務別		計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
定 員		350								
実 員		316(10)		2	11	19	99(2)	92(5)	34	59(3)
消 防 局	消 防 長	【1】	【1】							
	次 長	1		1						
	参 事	1		1						
	総 務 課	課 長	1		1					
		副 課 長	1			1				
		人事総務係	2				1	1		
		給与厚生係	3(1)				1	2(1)		
		総 務 課 付	12(1)				5			7(1)
	情 報 財 政 課	課 長	1		1					
		副 課 長	1			1				
		情報管理係	2					2		
		財 政 係	3				3			
	警 防 課	課 長	1		1					
		副 課 長	1			1				
		警 防 係	2				1	1		
		消防救助係	2				2			
		救 急 係	3(1)				1	1(1)	1	
	予 防 課	課 長	1		1					
		副 課 長	1			1				
		予 防 係	3(1)				1(1)	2		
		調査指導係	2				1			1
		危 険 物 係	3				2	1		
	通 信 指 令 課	課 長	1		1					
		副 課 長	3			3				
		指 令 1 係	6 (1))				4	1 (1))	1	
		指 令 2 係	7				3	4		
	小 計	64(4) 【1】 (1))	【1】	2	5	7	25(1)	15(2) (1))	2	8(1)

階級 勤務別		計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
宇部中央消防署	署 長			[1]						
	副 署 長	2			1	1				
	消 防 庶 務 係	2					2			
	消 防 予 防 係	4					3	1		
	警 備 司 令	2				2				
	消 防 1 係	15(1)					4	4	1	6(1)
	救 助 1 係	5					2	2	1	
	救 急 1 係	9(1)					2	5(1)	2	
	消 防 2 係	15					4	3	2	6
	救 助 2 係	5					2	2		1
	救 急 2 係	9(1)					3(1)	2	3	1
	東部出張所長					《1》				
	東部消防 1 係	10					3	3	1	3
	東部消防 2 係	10					3	4	1	2
	小 計	88(3)			1	3	28(1)	26(1)	11	19(1)
宇部西消防署	署 長	1			1					
	副 署 長	1			1					
	主 幹	1			1					
	消 防 庶 務 係	2					2			
	消 防 予 防 係	2					2			
	警 備 司 令	2				2				
	消 防 1 係	10					2	3	2	3
	救 急 1 係	5					2	1	2	
	消 防 2 係	10					2	4	4	
	救 急 2 係	5					2	2	1	
	北部出張所長				[1]					
	北部消防 1 係	8					3	3		2
	北部消防 2 係	8					2	4		2
	楠出張所長				[1]					
	楠消防 1 係	8					2	5		1
	楠消防 2 係	8					2	3	1	2
	小 計	71			3	2	21	25	10	10

階級 勤務別		計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
小野田消防署	署 長	1			1					
	副 署 長	1				1				
	消 防 庶 務 係	1【1】					1【1】			
	消 防 予 防 係	5(1)					1	2	1	1(1)
	消 防 団 係	2					1		1	
	警 備 司 令	2				2				
	消 防 1 係	14(1)					3	4(1)	3	4
	救 急 1 係	5					2	1	1	1
	消 防 2 係	14					3	5		6
	救 急 2 係	5					2	2	1	
	小 計	50(2) 【1】			1	3	13【1】	14(1)	7	12(1)
山陽消防署	署 長	1			1					
	副 署 長	1				1				
	副 主 幹	1				1				
	消 防 庶 務 係	1					1			
	消 防 予 防 係	1				[1]	1			
	警 備 司 令	2				2				
	消 防 1 係	7					2	1	2	2
	救 急 1 係	5					2	2	1	
	消 防 2 係	7					2	1		4
	救 急 2 係	5(1)					1	3(1)		1
	埴生出張所長					《1》				
	埴生消防1係	6					2	1	1	2
	埴生消防2係	6					1	4		1
	小 計	43(1)			1	4	12	12(1)	4	10

()～うち女性消防吏員数 ()～再任用職員数（実員数に含まない） 《 》～兼務（計上しない）

【 】～人事交流職員等の数（実員数に含まない） []～事務取扱（計上しない）

3 消防吏員階級別年齢

令和7年4月1日現在 [単位：人]

年 齢	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計
20歳未満								1	1
20歳以上 25歳未満								31(2)	31(2)
25歳以上 30歳未満						14(2)	21	22(1)	57(3)
30歳以上 35歳未満						35(3)	11	5	51(3)
35歳以上 40歳未満					7	24	2		33
40歳以上 45歳未満					17	5			22
45歳以上 50歳未満					31(2)	5			36(2)
50歳以上 55歳未満				13	31	6			50
55歳以上		2	11	6	13	3((1))			35((1))
合計		2	11	19	99(2)	92(5)((1))	34	59(3)	316(10)((1))
平均(歳)		57.5	56.6	54.2	48.3	36.3	29.0	24.4	39.0
人事交流職員等	1				1				2

() ～うち女性消防吏員数 (()) ～再任用職員数(合計、平均に含まない)

4 消防吏員階級別勤続年数

令和7年4月1日現在 [単位：人]

勤 続 年 数	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計
5年未満						3(1)	14	41(2)	58(3)
5年以上 10年未満						19(1)	12	18(1)	49(2)
10年以上 15年未満					1	41(3)	8		50(3)
15年以上 20年未満					13	14			27
20年以上 25年未満					17	3			20
25年以上 30年未満				5	28(2)	2			35(2)
30年以上 35年未満			5	13	34	7			59
35年以上		2	6	1	6	3			18
再任用職員						((1))			((1))
合計		2	11	19	99(2)	92(5)((1))	34	59(3)	316(10)((1))
平均(年)		39.0	35.2	31.2	26.8	14.4	6.6	3.1	17.2
人事交流職員等	1				1				2

() ～うち女性消防吏員数 (()) ～再任用職員数(合計、平均に含まない)

5 職員研修状況

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

[単位：人]

研修学科等			受講者数
消防大学校	専科教育	救助科	1
山口県消防学校	初任総合教育		7
	専科教育	予防査察科	2
		火災調査科	2
		救助科	2
		大規模災害対策科	1
	特別教育	水難救助科	1
		消防団指導科	1
	その他の教育	救急科（広島県消防学校）	1
救急救命士養成研修所	救急救命士研修課程		2
	指導救命士養成研修		2
山口県ひとづくり財団	災害対応講座		1
	窓口応接講座		1
	危機管理実務講座		1
	働き方改革講座		1
	コーチング講座		1
	契約事務講座		1
	クレーム対応力向上講座		1
	DX講座		1
	イマドキ世代の育て方講座		1
	プレゼンテーションセミナー		1
	メンタルマネジメント講座		1
	若手職員のためのキャリアデザイン講座		1
	アサーティブ・コミュニケーション講座		1
その他	中消会消防法違反是正事例発表会		5
	中消会企業防災対策指導者研修会		3
	山口県消防法令違反是正事例研究会		6
	階層別研修		33
	新任係長職課長職研修		17
	火薬類担当職員研修		1
	KHK 屋外タンク実務担当者研修会		3

6 特殊技能・技術資格者

令和7年4月1日現在

[単位：人]

[単位：人]

種別			人数
自動車免許	大型	11t以上	182
	中型	8t未満	11
		11t未満	84
	準中型	5t未満	4
		7.5t未満	1
	普通	3.5t未満	34
予防	予防技術検定（消防用設備）		50
	予防技術検定（危険物）		49
	予防技術検定（防火査察）		141
通信指令	特殊無線技士（2級）		145
	特殊無線技士（3級）		163
警防・救助	小型船舶操縦士		57
	潜水土		136
	小型移動式クレーン運転技能講習		141
	玉掛技能講習		136
	足場組立等作業主任者講習・特別教育		38
	酸素欠乏技能講習		13
	酸素欠乏・硫化水素技能講習・特別教育		45
	ガス溶接技能講習		68
	フルハーネス型安全帯使用作業特別教育		298
	チェーンソーによる伐木等特別教育		21

種別		人数
救急	救急救命士	71
	指導救命士	11
	救急科（標準課程・Ⅱ課程含む）	273
その他	整備管理者	11
	衛生管理者	13

情 報 財 政

消防局・宇部中央消防署



宇部中央消防署東部出張所



宇部西消防署



宇部西消防署北部出張所



宇部西消防署楠出張所



小野田消防署



山陽消防署



山陽消防署埴生出張所



目で見る主要施策



小野田 1 号車



山陽 1 号車

1 消防予算(令和7年度当初予算)

(1) 歳入

[単位：千円]

款	令和7年度予算額	令和6年度予算額	比較
分担金及び負担金	3,119,748	3,053,836	65,912
使用料及び手数料	24,746	20,063	4,683
国庫支出金	17,031	0	17,031
県支出金	93,280	6,840	86,440
財産収入	171	0	171
繰越金	1,000	1,000	0
諸収入	3,286	4,409	△1,123
組合債	1,093,700	698,900	394,800
歳入合計	4,352,962	3,785,048	567,914

(2) 歳出

[単位：千円]

款	令和7年度 予算額	令和6年度 予算額	比較	令和7年度予算額の財源内訳			
				特定財源			一般財源
				国県支出金	地方債	その他	
議会費	354	354	0				354
総務費	24,158	34,818	△10,660			675	23,483
消防費	4,165,833	3,610,127	555,706	110,311	1,093,700	42,095	2,919,727
公債費	158,617	135,749	22,868				158,617
予備費	4,000	4,000	0				4,000
歳出合計	4,352,962	3,785,048	567,914	110,311	1,093,700	42,770	3,106,181

(3) 分担金の内訳

[単位：千円]

区分 構成市	構成市 当初予算額(A)	構成市 分担金(B)	比率(%) B/A×100	分担金の内訳	
				分担金	特別分担金
宇部市	76,450,000	2,035,606	2.66	1,881,702	153,904
山陽小野田市	34,530,000	1,067,793	3.09	972,125	95,668
合計	110,980,000	3,103,399	2.80	2,853,827	249,572

(4) 消防組合予算と管内人口・世帯数との割合

令和7年4月1日現在

消防組合予算	1人当たりの 消防組合予算	1世帯当たりの 消防組合予算	人口／世帯数
4,352,962,000円	20,350円	40,024円	213,908人
			108,759世帯

(5) 現有消防力と面積・人口・世帯の割合

令和7年4月1日現在

消防吏員1人に対して			消防署数に対して			常備消防ポンプ自動車 1台に対して			救急自動車1台に対して		
面積 (km ²)	人口 (人)	世帯数 (戸)	面積	人口	世帯数	面積	人口	世帯数	面積	人口	世帯数
1.3	674.8	343.1	105.0	53,477.0	27,189.8	20.0	10,186.1	5,179.0	35.0	17,825.7	9,063.3

8 消防庁舎

令和 7 年 4 月 1 日現在

(1) 宇部・山陽小野田消防局，宇部中央消防署

所在地：宇部市港町二丁目 3 番 3 0 号

敷地面積：3,297.84 m²

建物等名称	構 造	延面積	完成年月
庁舎棟	鉄筋コンクリート造 3 階建	2,720.68 m ²	H1 年 1 月
訓練塔	鉄筋コンクリート造 6 階建	264.00 m ²	H1 年 1 月
車庫・点検場	鉄骨造平屋建（泡原液貯蔵タンク 6 kl）	231.00 m ²	H1 年 1 月
自転車置場	鉄骨造平屋建	25.60 m ²	H1 年 1 月

(2) 小野田消防署（消防訓練研修センター）

所在地：山陽小野田市高栄一丁目 6 番 1 号

敷地面積：11,415.85 m²

建物等名称	構 造	延面積	完成年月
庁舎棟	鉄筋コンクリート造及び鉄骨造 2 階建	2,397.30 m ²	H11 年 3 月
電気室棟	コンクリートブロック造平屋建	64.48 m ²	H11 年 3 月
車庫倉庫棟	コンクリートブロック造平屋建	286.83 m ²	H11 年 3 月
駐輪場	鉄骨造平屋建	21.72 m ²	H11 年 3 月
訓練塔	鉄筋コンクリート造 5 階建（補助塔 3 階）	342.13 m ²	H12 年 1 月
消火薬剤タンク	鉄骨造（タンク SUS 製 20 kl）	58.36 m ²	H12 年 3 月
消火薬剤倉庫	鉄骨造平屋建	63.90 m ²	H12 年 3 月

(3) 宇部西消防署

所在地：宇部市厚南中央五丁目 6 番 2 2 号

敷地面積：1,974.44 m²

建物等名称	構 造	延面積	完成年月
庁舎棟	鉄筋コンクリート造 2 階建	684.57 m ²	S53 年 4 月

(4) 山陽消防署

所在地：山陽小野田市大字厚狭 4 8 7 番地 9

敷地面積：4,542.94 m²

建物等名称	構 造	延面積	完成年月
庁舎棟	鉄筋コンクリート造 2 階建	1,290.71 m ²	H25 年 3 月
訓練塔	鉄筋コンクリート造 3 階建	105.00 m ²	H25 年 3 月
倉庫棟	鉄筋コンクリート造 3 階建	90.00 m ²	H25 年 3 月
自転車置場	鉄骨造平屋建	15.00 m ²	H25 年 3 月

(5) 宇部中央消防署東部出張所

所在地：宇部市大字西岐波 7 6 1 番地 1

敷地面積：1,187.03 m²

建物等名称	構 造	延面積	完成年月
庁舎棟	鉄筋コンクリート造 2 階建	430.86 m ²	S55 年 4 月
倉庫・自転車置場棟	ブロック造平屋建	30.00 m ²	S55 年 4 月

(6) 宇部西消防署北部出張所

所在地：宇部市大字荒瀬 1 1 0 5 1 番地

敷地面積：1,500.00 m²

建物等名称	構 造	延面積	完成年月
庁舎棟	鉄筋コンクリート造 2 階建	520.65 m ²	H7 年 4 月

(7) 宇部西消防署楠出張所

所在地：宇部市大字船木 4 6 1 番地 1

敷地面積：3,215.19 m²

建物等名称	構 造	延面積	完成年月
庁舎棟	鉄筋コンクリート造 2 階建	635.24 m ²	H30 年 3 月
訓練棟	鉄筋コンクリート造 2 階建	26.15 m ²	H30 年 3 月
駐輪場	鉄骨造平屋建	14.70 m ²	H30 年 3 月

(8) 山陽消防署埴生出張所

所在地：山陽小野田市大字埴生 3 2 2 9 番地 1 2

敷地面積：853.00 m²

建物等名称	構 造	延面積	完成年月
庁舎棟	鉄筋コンクリート造平屋建	243.55 m ²	S56 年 4 月

予 防



幼年消防交流会

山陽小野田市の幼年消防クラブ員が消防訓練研修センターに集い消防の仕事や火災予防を学びました。庁舎見学、消防車両見学、乗車体験、煙体験を通して、火災予防などについて楽しく学習することができました。

第 38 回消防展の開催

「春の火災予防運動期間中に多くの買い物客が集まる大型商業施設で、火災予防広報及び火災予防作品の表彰式及び展示などを行うことにより、地域住民の防火意識の高揚、火災予防思想の普及、啓発を図ること」を目的として、3月2日（日曜日）におのだサンパークで「第38回消防展」を開催しました。



全 国 統 一 防 火 標 語

(過去 10 年間)

2025年度	急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし
2024年度	守りたい 未来があるから 火の用心
2023年度	火を消して 不安を消して つなぐ未来
2022年度	お出かけは マスク戸締り 火の用心
2021年度	おうち時間 家族で点検 火の始末
2020年度	その火事を 防ぐあなたに 金メダル
2019年度	ひとつずつ いいね！で確認 火の用心
平成30年度	忘れてない？ サイフにスマホに火の確認
平成29年度	火の用心 ことばを形に 習慣に
平成28年度	消しましょう その火その時 その場所で

危険物安全週間（毎年6月の第2週）推進標語

(過去 10 年間)

令和7年度	危険物無事故へ挑むゴング鳴る
令和6年度	次世代へ つなごう無事故と 青い地球 ^{ほし}
令和5年度	意志つなぐ連携プレーで事故防ぐ
令和4年度	一連の確かな所作で無災害
令和3年度	事故ゼロへ トライ重ねる ワンチーム
令和2年度	訓練で 確かな信頼 積み重ね
平成31年度	無事故への 構え一分の 隙も無く
平成30年度	この一球届け無事故へみんなの願い
平成29年度	あなたなら 無事故の着地 決められる！
平成28年度	危険物 決めろ無事故の ストライク

1 防火対象物

(1) 棟数及び立入検査

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

防火対象物用途区分			防火対象物数 [単位：棟] 令和7年4月1日現在			立入検査数 [単位：件]
			宇 部 市	山陽小野田市	合 計	
1	イ	劇場・映画館	3	6	9	8
	ロ	公会堂・集会場	39	24	63	27
2	イ	キャバレー・カフェー				
	ロ	遊技場・ダンスホール	16	4	20	7
	ハ	性風俗施設等				
	ニ	カラオケボックス等	5		5	1
3	イ	待合・料理店		5	5	4
	ロ	飲食店	142	38	180	75
4		百貨店・マーケット	260	88	348	83
5	イ	旅館・ホテル	24	13	37	38
	ロ	寄宿舍・共同住宅	2,113	568	2,681	580
6	イ	病院・診療所等	183	50	233	53
	ロ	老人短期入所施設等	99	39	138	49
	ハ	老人デイサービスセンター等	179	54	233	75
	ニ	幼稚園・特別支援学校	33	8	41	7
7		小中高大学及び各種学校	265	97	362	42
8		図書館・博物館	6	2	8	2
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場				
	ロ	公衆浴場	3	1	4	2
10		駅舎・空港	3	4	7	
11		神社・寺院・教会	119	48	167	44
12	イ	工場・作業場	950	432	1,382	329
	ロ	映画スタジオ	1		1	
13	イ	自動車車庫	84	34	118	37
	ロ	飛行機等の格納庫	2		2	
14		倉庫	826	337	1,163	341
15		前各号に該当しない事業所	692	343	1,035	212
16	イ	特定用途を含む複合対象物	326	82	408	115
	ロ	特定用途を含まない複合対象物	229	49	278	49
16の2		地下街				
16の3		準地下街				
17		文化財保護法にいう建物	1	1	2	1
18		延長50m以上のアーケード	4		4	
19		市長村長の指定する山林				
20		総務省令で定める舟車				
合 計			6,607	2,327	8,934	2,181

(2) 防火対象物の定期点検・防災管理対象物状況

令和7年4月1日現在

[単位：箇所]

防火対象物用途区分			定期点検対象物				防災管理対象物			
			対象物数		特例認定適合対象物数		対象物数		特例認定適合対象物数	
			宇部市	山陽小野田市	宇部市	山陽小野田市	宇部市	山陽小野田市	宇部市	山陽小野田市
1	イ	劇場・映画館	1	3						
	ロ	公会堂・集会場	26	15	2					
2	イ	キャバレー・カフェー								
	ロ	遊技場・ダンスホール	7	3	2	1				
	ハ	性風俗施設等								
	ニ	カラオケボックス等								
3	イ	待合・料理店								
	ロ	飲食店	5							
4		百貨店・マーケット	47	16	5	2				
5	イ	旅館・ホテル	3	3	1					
	ロ	寄宿舎・共同住宅								
6	イ	病院・診療所等	7	3	1			1		
	ロ	老人短期入所施設等	3	2						
	ハ	老人デイサービスセンター等								
	ニ	幼稚園・特別支援学校	3		1					
7		小中高大学及び各種学校					1	1		
8		図書館・博物館								
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場								
	ロ	公衆浴場								
10		駅舎・空港								
11		神社・寺院・教会								
12	イ	工場・作業場					5	7		
	ロ	映画スタジオ								
13	イ	自動車車庫								
	ロ	飛行機等の格納庫								
14		倉庫								
15		前各号に該当しない事業所								
16	イ	特定用途を含む複合対象物	36	11	4		7	1	1	
	ロ	特定用途を含まない複合対象物					3	1		
16の2		地下街								
17		文化財保護法にいう建物								
合 計			138	56	16	3	16	11	1	

2 建築確認同意処理件数

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

[単位：件]

防火対象物別			区 分				山陽小野田市				総 計
			新 築	増 築	その他	合 計	新 築	増 築	その他	合 計	
1	イ	劇場・映画館									
	ロ	公会堂・集会場	1			1					1
2	イ	キャバレー・カフェー									
	ロ	遊技場・ダンスホール									
	ハ	性風俗施設等									
	ニ	カラオケボックス等									
3	イ	待合・料理店									
	ロ	飲食店	4			4					4
4		百貨店・マーケット	14			14	2	1		3	17
5	イ	旅館・ホテル	1			1					1
	ロ	寄宿舎・共同住宅	12		1	13	6			6	19
6	イ	病院・診療所等	4			4	1			1	5
	ロ	老人短期入所施設等	3	1		4	1			1	5
	ハ	老人デイサービスセンター等	3		1	4	4	2		6	10
	ニ	幼稚園・特別支援学校									
7		小中高大学及び各種学校	1		1	2	1			1	3
8		図書館・博物館									
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場									
	ロ	公衆浴場									
10		駅舎・空港									
11		神社・寺院・教会	2			2	1	1		2	4
12	イ	工場・作業場	14			14	8	1		9	23
	ロ	映画スタジオ									
13	イ	自動車車庫	4	1		5	1			1	6
	ロ	飛行機等の格納庫									
14		倉庫	24	1	3	28	6		3	9	37
15		前各号に該当しない事業所	25	1	1	27	12		2	14	41
16	イ	特定用途を含む複合対象物	4			4	1		1	2	6
	ロ	特定用途を含まない複合対象物	3	1		4	3			3	7
16の2		地下街									
16の3		準地下街									
17		文化財保護法にいう建物									
18		延長50m以上のアーケード									
19		市町村長の指定する山林									
20		総務省令で定める舟車									
住 宅			55		1	56	36			36	92
危 険 物 施 設			1	1		2					2
そ の 他			1	1		2					2
合 計			176	7	8	191	83	5	6	94	285

3 防火管理者選任状況

令和7年4月1日現在
[単位：箇所]

防火対象物区分			法第8条該当防火対象物数			防火管理者届出済対象物数		
			宇部市	山陽小野田市	合 計	宇部市	山陽小野田市	合 計
1	イ	劇場・映画館	1	5	6	1	5	6
	ロ	公会堂・集会場	32	17	49	32	17	49
2	イ	キャバレー・カフェー						
	ロ	遊技場・ダンスホール	8	3	11	8	3	11
	ハ	性風俗施設等						
	ニ	カラオケボックス等	5		5	5		5
3	イ	待合・料理店		25	25		24	24
	ロ	飲食店	133	39	172	124	39	163
4		百貨店・マーケット	202	39	241	200	39	239
5	イ	旅館・ホテル	19	12	31	19	12	31
	ロ	寄宿舎・共同住宅	141	44	185	141	44	185
6	イ	病院・診療所等	37	16	53	37	16	53
	ロ	老人短期入所施設等	62	35	97	62	35	97
	ハ	老人デイサービスセンター等	73	29	102	72	29	101
	ニ	幼稚園・特別支援学校	16	7	23	16	7	23
7		小中高大学及び各種学校	35	24	59	35	24	59
8		図書館・博物館	3	2	5	3	2	5
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場						
	ロ	公衆浴場		1	1		1	1
10		駅舎・空港						
11		神社・寺院・教会	72	26	98	72	26	98
12	イ	工場・作業場	25	35	60	25	35	60
	ロ	映画スタジオ						
13	イ	自動車車庫						
	ロ	飛行機等の格納庫						
14		倉庫	3		3	3		3
15		前各号に該当しない事業所	92	45	137	88	45	133
16	イ	特定用途を含む複合対象物	223	49	272	207	49	256
	ロ	特定用途を含まない複合対象物	131	15	146	127	15	142
16の2		地下街						
17		文化財保護法にいう建物		1	1		1	1
合 計			1,313	469	1,782	1,277	468	1,745

4 危険物施設設置状況

令和7年3月31日現在

[単位：箇所]

区 分		宇 部 市	山陽小野田市	施設別合計
製 造 所		25	30	55
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	104	92	196
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	217	273	490
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	2	1	3
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	60	32	92
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所			
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	90	85	175
	屋 外 貯 蔵 所	20	17	37
取 扱 所	給 油 取 扱 所	66	37	103
	第 1 種 販 売 取 扱 所	3		3
	第 2 種 販 売 取 扱 所			
	一 般 取 扱 所	185	92	277
	移 送 取 扱 所	2	2	4
構 成 市 別 合 計		774	661	1,435

5 危険物許認可状況

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

[単位：件]

区 分		設置許可	変更許可	仮使用	設置完成	変更完成	廃 止
製 造 所			44	36		29	9
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	1	3	2	3	3	5
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	1	45	26		35	14
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所						
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所		1	1		1	4
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所						
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	6	14		6	8	6
	屋 外 貯 蔵 所	2			2		6
小 計		10	63	29	11	47	35
取 扱 所	給 油 取 扱 所		11	10		9	
	第 1 種 販 売 取 扱 所						
	第 2 種 販 売 取 扱 所						
	一 般 取 扱 所	1	114	102	6	106	14
	移 送 取 扱 所						
小 計		1	125	112	6	115	14
合 計		11	232	177	17	191	58

[単位：件]

完成検査前検査	水 張 水 圧 検 査	48
	基 礎 地 盤 検 査	
	溶 接 部 検 査	
仮貯蔵・仮取扱		29
水張水圧検査 (条例)		

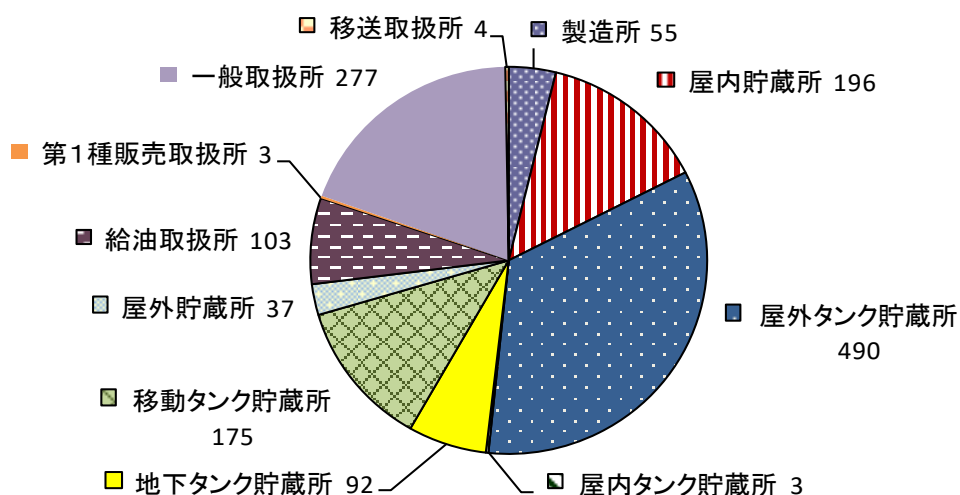
6 危険物施設の現況及び立入検査状況

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

[単位：件]

区 分		類別（令和7年3月31日現在）							立 入 検査数	
		1 類	2 類	3 類	4 類	5 類	6 類	混在		計
製 造 所		2	2		26		1	24	55	3
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	9	1	4	146	10		26	196	34
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所		6		465	2	17		490	44
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所				3				3	
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所				92				92	26
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所									
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所				166		9		175	129
	屋 外 貯 蔵 所		1		36				37	2
取 扱 所	給 油 取 扱 所				103				103	47
	第 1 種 販 売 取 扱 所				3				3	2
	第 2 種 販 売 取 扱 所									
	一 般 取 扱 所	1	3		253		4	16	277	44
	移 送 取 扱 所				3		1		4	2
合 計		12	13	4	1,296	12	32	66	1,435	333

危険物施設の状況



7 宇部・小野田地区特別防災区域

令和7年4月1日現在

(1) 宇部市

東側は、宇部市大字沖宇部字沖ノ山、テクノUMG(株)宇部事業所敷地から、西側は厚東川河口の大字西沖ノ山字西沖、宇部市と山陽小野田市の市境までの埋立臨海工業地帯で周防灘に面し、指定区域の総面積は6,678,804.66平方メートルで、その状況は別図のとおりである。

区域の名称	宇部・小野田地区石油コンビナート等特別防災区域			
市名	宇部市			
市の面積	287.05 km ²			
市の人口	155,492人（世帯数：79,727世帯）			
様態	化学工場、火力発電、その他			
地区	面積 m ²	種別及び事業所名		
		第1種事業所	第2種事業所	その他の事業所
東見初町及び 大字沖宇部字 沖ノ山	1,172,536.15	◇セントラル硝子(株) 宇部工場 (セントラル化成(株) 宇部工場)	◇テクノUMG(株) 宇部事業所 ◇MUアークライン(株) 沖宇部倉庫	◇宇部吉野石膏(株) ◇(株)東商セントラル ◇セントラル硝子(株) 機能化学研究所 ◇セントラルエンジニアリング(株) ◇セントラル硝子(株) 化成品生産技術センター ◇宇部市東部浄化センター ◇宇部市環境保全センター
大字小串字沖 ノ山	2,422,488.71	◇UBE(株) 宇部ケミカル工場 東西地区 (宇部マクセル(株)) (宇部エムス(有)) (UBE三菱セメント(株) 216MW発電設備)	◇UBE三菱セメント(株) 山口工場 ◇日興石油(株) 沖の山油槽所 ◇チタン工業(株) 宇部工場 ◇宇部マテリアルズ(株) 宇部工場第1工場	◇UBE三菱セメント(株)研究所 ◇UBE(株)研究開発本部 宇部研究所 ◇UBE(株)パフォームスホリマー &ケミカル事業部 ケミカル開発部 ◇UBE三菱セメント(株) 環境エネルギー事業部 石炭部 宇部コールセンター ◇(株)宇部スチール ◇UBEマシナリー(株) ◇エムシー・ファータィコム(株)宇部工場 ◇宇部マテリアルズ(株) 宇部工場第2工場
大字藤曲字昭 和開作	777,016.8	◇UBE(株) 宇部ケミカル工場 藤曲地区	◇EJホールディングス (株)宇部事業所 ◇UBE過酸化水素(株) 宇部工場	◇協和キリン(株) 宇部工場
大字西沖ノ山 字西沖	2,306,763	◇太陽石油(株)山口事業所 (UBE三菱セメント(株) 西沖の山石灰石センタ ー) (UBE(株)西沖倉庫)		◇UBE三菱セメント(株) 山口工場 特大車西沖給油所
合計	6,678,804.66	4	8	17

(2) 山陽小野田市

宇部・小野田地区における山陽小野田市に係る部分は山陽小野田市南東端に位置し、本山岬の東岸沿いの丘状地と海面を埋立てた干拓地からなる。東側は宇部市との境界上に位置する、太陽石油(株)山口事業所から西側は、西部石油(株)山口製油所の本山岬丘状地頂上までとなり、北側は県道妻崎開作小野田線に接し、南側は防潮堤を境に瀬戸内海(宇部港)に面している。総面積は 2,617,125.27 平方メートルでその状況は別図のとおりである。

区 域 の 名 称	宇部・小野田地区石油コンビナート等特別防災区域			
市 名	山陽小野田市			
市 の 面 積	133.09 km ²			
市 の 人 口	58,416 人 (世帯数：29,032 世帯)			
様 態	石油精製、石油化学			
地 区	面 積 m ²	種別及び事業所名		
		第 1 種事業所	第 2 種事業所	その他の事業所
大字西沖字西沖 // 字西沖の 2 // 字西沖の 3 大字小野田 // 字一の北山 // 字二の北山 // 字東一の大泊 // 字東二の大泊 // 字東田の尻 // 字東高尾 // 字焼山 // 字向ヶ原 // 字松山 // 字泉ヶ浴 // 字狐崎 // 字高尾 // 字西高尾 // 字石干見 // 字一の石干見 // 字二の石干見 // 字繁開作 // 字長沢二宮開作 // 字赤崎 // 字北山	2,617,125.27	◇西部石油(株)山口製油所 (エア・ウォーター炭酸(株) 山陽小野田工場) ◇太陽石油(株)山口事業所 (UBE 三菱セメント(株)西 沖の山石灰石センター) (UBE (株)西沖倉庫)		
合計	2,617,125.27	2		

宇部・小野田地区特別防災区域(概要図)

令和7年4月1日現在



8 火薬類取締法関係処理状況

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

[単位：件]

区 分 市 別	許 可						
	製造営業	販売営業	譲渡	譲受	消費	廃棄	火薬庫 設置・変更
宇 部 市			2	4	5	1	
山 陽 小 野 田 市				2	9	2	4
合 計	0	0	2	6	14	3	4

9 消防協力団体の現況

(1) 宇部・山陽小野田防災協会

ア 目 的

この協会は、消防法に定める危険物関係施設及び一般防火対象物の火災予防に関する法令等の周知徹底と防火思想の普及高揚に努めるとともに、会員相互の連絡と親睦を図り、もって各種災害の未然防止及び災害が発生した場合の被害の軽減に寄与することを目的とする。

イ 事 業

- (ア) 消防関係法令の周知徹底並びに消防機関との連絡協調に関すること。
- (イ) 消防関係法令に基づいて消防機関へ提出する申請書、届出書等の斡旋、配布に関すること。
- (ウ) 防火管理者、危険物取扱者並びに消防設備士の研修及び講習会の開催に関すること。
- (エ) 火災予防のために必要な対策の研究及び調査に関すること。
- (オ) 火災予防の広報及び刊行物の発行、斡旋に関すること。
- (カ) 危険物に起因する災害が発生した場合の化学消火薬剤の共同備蓄に関すること。
- (キ) この協会の目的達成に功績のあった団体及び個人の表彰に関すること。
- (ク) 少年消防クラブ等の自主防災活動の助成に関すること。
- (ケ) 救急思想の普及及び啓発活動に関すること。
- (コ) その他、この協会の目的達成上必要と認める事業。

ウ 会 員（令和7年4月1日現在）

509 事業所

エ 事 務 局

宇部・山陽小野田消防局予防課

(2) 宇部・山陽小野田防火委員会

ア 目 的

本会は、宇部市及び山陽小野田市における幼年消防クラブ、少年消防クラブ、女性防火クラブの運営指導について研究し、助言し、育成発展に寄与することを目的とする。

イ 事 業

- (ア) クラブの情報の収集及び交換に関すること。
- (イ) クラブの運営指導の研究に関すること。
- (ウ) クラブの育成指導に関すること。
- (エ) 教養資料の編さん及び頒布に関すること。
- (オ) クラブ、クラブ員及びクラブ指導者の表彰に関すること。
- (カ) その他、本会の目的達成のため必要な事項に関すること。

ウ クラブ数

令和 7 年 4 月 1 日現在

区分	クラブ名称	結成年月	人数（人）
幼年消防クラブ	恩田幼稚園幼年消防クラブ	昭和 59 年 10 月	58
	聖和幼稚園幼年消防クラブ	昭和 59 年 10 月	55
	命信寺保育園幼年消防クラブ	昭和 59 年 10 月	24
	桃山保育園幼年消防クラブ	昭和 59 年 10 月	20
	原中央幼稚園幼年消防クラブ	昭和 61 年 2 月	41
	小羽山幼稚園幼年消防クラブ	昭和 61 年 5 月	12
	明光幼稚園幼年消防クラブ	昭和 63 年 3 月	96
	船木幼稚園幼年消防クラブ	昭和 59 年 9 月	3
	宇部さゆり幼稚園幼年消防クラブ	平成 28 年 4 月	6
	真珠幼稚園幼年消防クラブ	昭和 58 年 9 月	22
	石井手保育園幼年消防クラブ	昭和 60 年 6 月	25
	焼野保育園幼年消防クラブ	平成 2 年 7 月	19
	伸宏保育園幼年消防クラブ	平成 5 年 8 月	11
	さくら保育園幼年消防クラブ	平成 6 年 8 月	17
	須恵保育園幼年消防クラブ	平成 6 年 10 月	18
	日の出保育園幼年消防クラブ	平成 8 年 9 月	19
	西高泊保育園幼年消防クラブ	令和 4 年 4 月	13
	ねたろう保育園幼年消防クラブ	令和 4 年 4 月	21
少年消防クラブ	厚南地区少年消防クラブ	昭和 55 年 4 月	51
	恩田地区少年消防クラブ	昭和 55 年 5 月	5
	高千帆中学校少年消防クラブ	昭和 26 年 9 月	462
	小野田中学校少年消防クラブ	昭和 26 年 9 月	352
	竜王中学校少年消防クラブ	昭和 26 年 9 月	185
	厚狭中学校少年消防クラブ	昭和 45 年 3 月	359
	埴生中学校少年消防クラブ	昭和 46 年 3 月	84
	厚陽中学校少年消防クラブ	昭和 47 年 6 月	24
女性防火クラブ	新川女性防火クラブ	昭和 55 年 6 月	10
総 計	27 団体		2,012

警

防



警防技術練成会

火災現場における安全に対する理解と認識を深め、「安全・確実・迅速」な消防活動の習得を図るとともに、指導者的立場にある職員の訓練指導能力及び安全管理能力の向上、並びに技術・知識を伝承することを目的に練成会を実施しました。

救急技術練成会

医療機関と消防機関の円滑な連携を図るとともに、救急業務の高度化並びに救急業務に携わる消防職員の知識・技術を向上させることを目的として、宇部・山陽小野田・美祢・萩地域メディカルコントロール協議会の主催で開催されました。

高度シミュレーター人形を活用し、隊員が測定したバイタルや心電図はリアルタイムにプロジェクターで会場に映し出されるため、参観者と共有しながら訓練を実施しました。



緊急消防援助隊

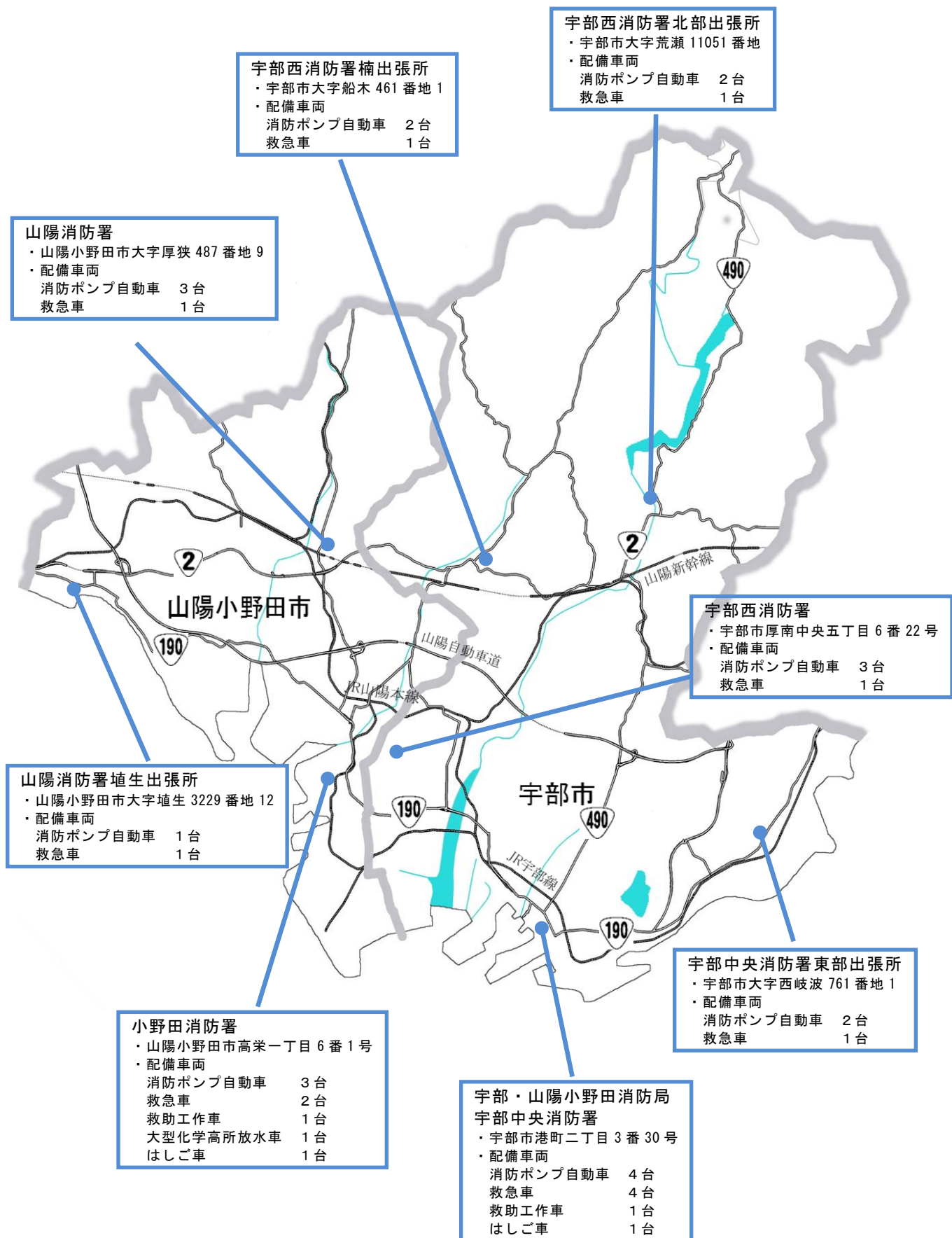
令和7年4月1日現在

		登録隊数	
		山口県全体	宇部・山陽小野田消防局
山口県大隊	県大隊指揮隊	3	1
	消火小隊	3 9	6
	救助小隊	9	1
	救急小隊	2 4	2
	後方支援小隊	1 7	2
	特殊災害小隊	5	0
	特殊装備小隊	8	2
合計		1 0 5 (1 1 1)	1 4

※ () 重複

1 消防配置図

令和7年4月1日現在



2 消防車両

令和7年4月1日現在

所属	車両名称	種別	車両 メーカー	導入年月	ポンプ級別等
消防局	本部 1	人 員 輸 送 車	ト ヨ タ	H25 年 3 月	
	本部 2	支 援 車	マ ツ ダ	H20 年 2 月	
	本部 3	連 絡 車	ト ヨ タ	R 4 年 1 月	
	本部 4	支 援 車	三 菱	R2 年 1 月	
	本部 5	連 絡 車	ダイハツ	R2 年 7 月	
	本部 6	連 絡 車	ダイハツ	R2 年 9 月	
	本部 7	支 援 車	ト ヨ タ	H17 年 2 月	
	本部 9	支 援 車	ト ヨ タ	H30 年 12 月	
宇部中央消防署	中央指揮 1	指 揮 車	ト ヨ タ	R3 年 3 月	
	中央はしご 1	はしご付消防自動車	日 野	H22 年 11 月	35m・先端屈折
	中央タンク 1	水槽付消防ポンプ自動車	日 野	H26 年 12 月	A-2・II型
	中央ポンプ 1	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	H20 年 12 月	A-2・CD-II型
	中央ポンプ 2	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	H30 年 2 月	A-2・CD-II型
	中央資材 1	資 器 材 搬 送 車	日 野	R4 年 2 月	水難・多目的
	中央資材 2	資 器 材 搬 送 車	い す ゞ	R2 年 2 月	2.6t クレーン付
	中央化学 1	化学消防ポンプ自動車	日 野	H24 年 3 月	A-2・II型
	中央救助 1	救 助 工 作 車	日 野	R3 年 3 月	III型
	中央充填 1	空 気 充 填 車	い す ゞ	R6 年 2 月	
	中央救急 1	救 急 車	ト ヨ タ	R5 年 12 月	高規格
	中央救急 2	救 急 車	ト ヨ タ	H31 年 2 月	高規格
	中央救急 3	救 急 車	ト ヨ タ	R6 年 12 月	高規格
	西救急 2	救 急 車	ト ヨ タ	H25 年 3 月	高規格
	中央 1	広 報 車	ダイハツ	H27 年 12 月	
	中央 2	支 援 車	ト ヨ タ	H31 年 1 月	

所属	車両名称	種別	車 両 メーカ	導入年月	ポンプ級別等
宇 東 部 中 央 消 防 署 出 張 所	東タンク 1	水槽付消防ポンプ自動車	日 野	R2 年 2 月	A－2・Ⅱ型
	東ポンプ 1	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	H28 年 3 月	A－2・CD・Ⅱ型
	東救急 1	救 急 車	ト ヨ タ	R4 年 2 月	高規格
	東 1	広 報 車	ダイハツ	R3 年 2 月	
宇 部 西 消 防 署	西指揮 1	指 揮 車	三 菱	H22 年 3 月	
	西タンク 1	水槽付消防ポンプ自動車	日 野	H29 年 3 月	A－2・Ⅱ型
	西ポンプ 1	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	H27 年 3 月	A－2・CD・Ⅱ型
	西化学 1	化学消防ポンプ自動車	日 野	H20 年 2 月	A－2・Ⅱ型
	西救急 1	救 急 車	ト ヨ タ	H29 年 3 月	高規格
	西資材 1	資 器 材 搬 送 車	三 菱	H29 年 12 月	
	西 2	広 報 車	ス ズ キ	R5 年 2 月	
宇 部 西 消 防 署 出 張 所 北 部	北タンク 1	水槽付消防ポンプ自動車	日 野	H25 年 2 月	A－2・Ⅱ型
	北ポンプ 1	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	H28 年 3 月	A－2・CD・Ⅱ型
	北救急 1	救 急 車	ト ヨ タ	R5 年 2 月	高規格
	北 1	広 報 車	ダイハツ	H30 年 12 月	
宇 部 西 消 防 署 出 張 所 楠	楠タンク 1	水槽付消防ポンプ自動車	日 野	H21 年 12 月	A－2・Ⅱ型
	楠ポンプ 1	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	H19 年 11 月	A－2・CD・Ⅱ型
	楠救急 1	救 急 車	ト ヨ タ	H25 年 12 月	高規格
	楠 1	広 報 車	三 菱	H21 年 11 月	

所属	車両名称	種別	車 両 メー カー	導入年月	ポンプ級別等
小野田消防署	小野田指揮 1	指 揮 車	ト ヨ タ	H30 年 2 月	
	小野田はしご 1	は し ご 付 消 防 自 動 車	日 野	R3 年 3 月	30m・先端屈折
	小野田タンク 1	水槽付消防ポンプ自動車	日 野	H20 年 2 月	A-2・II型
	小野田タンク 2	水槽付消防ポンプ自動車	日 野	R2 年 2 月	A-2・II型
	小野田ポンプ 1	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	H29 年 3 月	A-2・CD・II型
	小野田水槽 1	小型動力ポンプ付水槽車	い す ゞ	R3 年 2 月	B-2 (小型動力ポンプ)・II型
	小野田資材 1	資 器 材 搬 送 車	い す ゞ	H31 年 2 月	2.6t クレーン付
	小野田大化高 1	大型化学高所放水車	日 野	H26 年 3 月	A-1
	小野田原液 1	泡 原 液 搬 送 車	い す ゞ	R6 年 6 月	ギヤ式ローター ポンプ・4000L
	小野田救助 1	救 助 工 作 車	日 野	H20 年 3 月	II型
	小野田救急 1	救 急 車	ト ヨ タ	H31 年 3 月	高規格
	小野田救急 2	救 急 車	ト ヨ タ	H28 年 3 月	高規格
	小野田 1	支 援 車	ト ヨ タ	R6 年 11 月	
	小野田 2	人 員 輸 送 車	日 野	R2 年 1 月	
	小野田 4	広 報 車	ダイハツ	H29 年 12 月	

所属	車両名称	種別	車 両 メー カー	導入年月	ポンプ級別等
山陽消防署	山陽 1	支 援 車	ト ヨ タ	R6 年 11 月	
	山陽タンク 1	水槽付消防ポンプ自動車	日 野	H31 年 2 月	A-2・II型
	山陽ポンプ 1	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	H29 年 3 月	A-2・CD・II型
	山陽資材 1	資 器 材 搬 送 車	ト ヨ タ	R3 年 2 月	
	山陽大化 1	大型化学消防ポンプ自動車	日 野	H21 年 3 月	A-1・大I型
	山陽救急 1	救 急 車	ト ヨ タ	R5 年 12 月	高規格
埴山陽出張所	埴生タンク 1	水槽付消防ポンプ自動車	日 野	R3 年 2 月	A-2・I-B型
	埴生救急 1	救 急 車	ト ヨ タ	H30 年 1 月	高規格
	埴生 1	広 報 車	ダイハツ	H27 年 12 月	

3 消防水利

(1) 消火栓

令和7年4月1日現在 [単位:基]

市 別	宇 部 市	山陽小野田市
公設私設別		
公 設	2,046	1,352
私 設	181	54
合 計	2,227	1,406

(2) 防火水槽

() 耐震性貯水槽

令和7年4月1日現在 [単位:基]

市 別	宇 部 市		山陽小野田市	
容量別	公 設	私 設	公 設	私 設
20 m ³ 以上 40 m ³ 未満	8 (0)	2 (0)	11 (0)	3 (0)
40 m ³ 以上 60 m ³ 未満	100 (15)	42 (14)	148 (1)	23 (3)
60 m ³ 以上 100 m ³ 未満	12 (10)	4 (0)	0 (0)	1 (0)
100 m ³ 以上	5 (4)	2 (0)	11 (10)	1 (0)
合 計	125 (29)	50 (14)	170 (11)	28 (3)

(3) その他

令和7年4月1日現在 [単位:箇所]

市 別	宇 部 市	山陽小野田市
種別		
プール・河川・溝・濠・池 海・湖・井戸・下水道等	93	90

4 化学消火剤備蓄状況

令和7年4月1日現在 [単位:リットル]

備蓄場所 種類	消防組合保有		防災協会保有	合 計
	宇部市備蓄	山陽小野田市備蓄		
たん白系3%型			400	400
フッ化たん白		19,840	15,800	35,640
合成界面活性剤	2,080		17,780	19,860
水成膜3%型	600		5,600	6,200
合 計	2,680	19,840	39,580	62,100

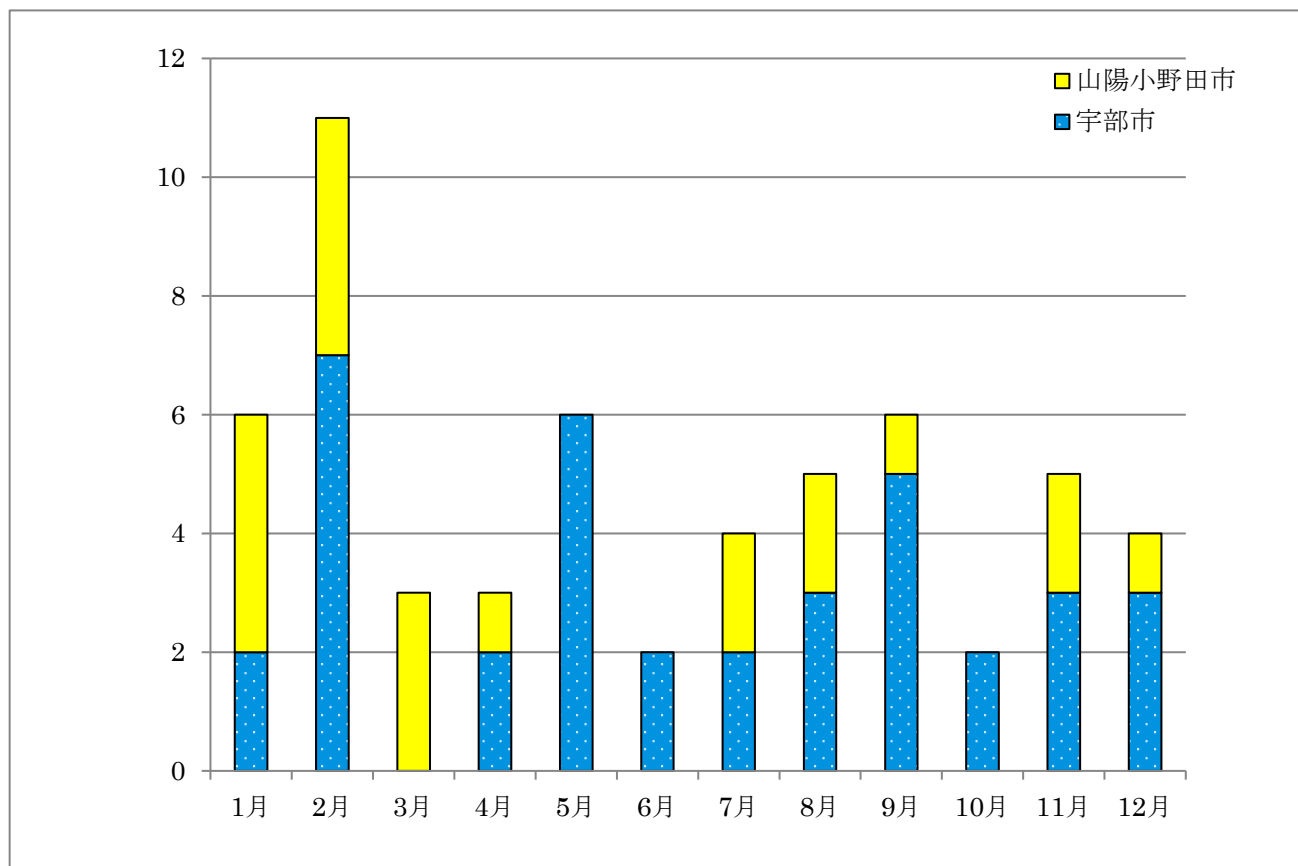
5 火災

(1) 月別火災発生状況

(令和6年1月1日～令和6年12月31日)

[単位：件]

市別 \ 月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
宇 部 市	2	7		2	6	2	2	3	5	2	3	3	37
山陽小野田市	4	4	3	1			2	2	1		2	1	20
合 計	6	11	3	3	6	2	4	5	6	2	5	4	57



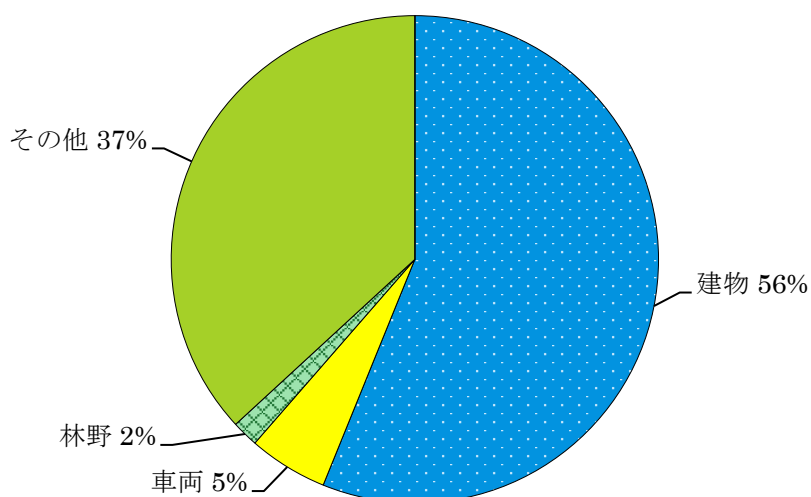
(2) 火災種別ごとの件数

(令和6年1月1日～令和6年12月31日)

[単位: 件]

市別	種別	建 物	車 両	林 野	航空機	船 舶	その他	合 計
宇 部 市		18	2	1			16	37
山陽小野田市		14	1				5	20
合 計		32	3	1			21	57

火災種別ごとの割合



(3) 火災種別ごとの死者及び負傷者

(令和6年1月1日～令和6年12月31日)

[単位: 人]

市別	種別	建 物	車 両	林 野	航空機	船 舶	その他	合 計
宇 部 市	死 者							
	負傷者	2	2					4
山陽小野田市	死 者	1						1
	負傷者	2						2
合 計	死 者	1						1
	負傷者	4	2					6

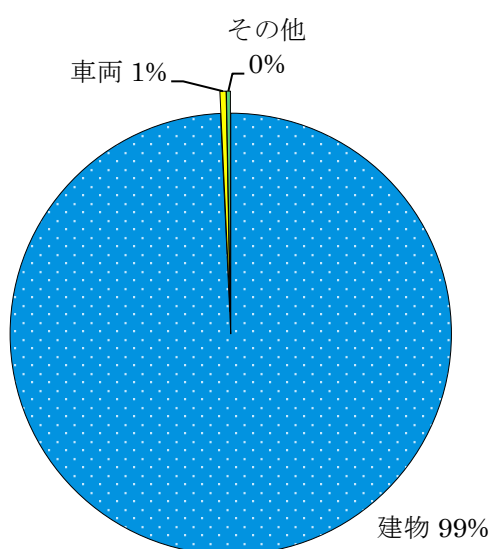
(4) 火災種別ごとの損害額

(令和6年1月1日～令和6年12月31日)

[単位: 千円]

市別	種別	建 物		車 両	林 野	航空機	船 舶	その他	合 計
		建 物							
宇 部 市	建 物	44,104	475					363	48,471
	収容物等	3,529							
山陽小野田市	建 物	63,031	90						76,690
	収容物等	13,569							
合 計	建 物	107,135	565					363	125,161
	収容物等	17,098							

火災種別ごとの損害額の割合



(5) 焼損面積

(令和6年1月1日～令和6年12月31日)

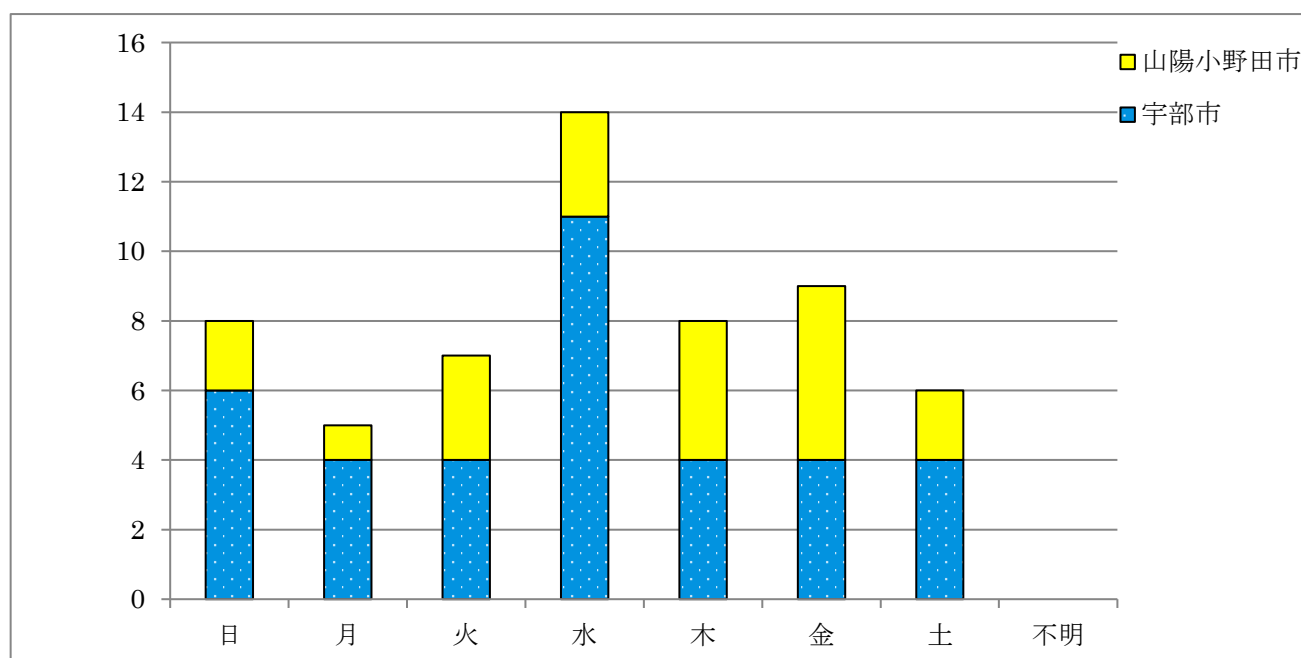
市別	種別	建 物 (㎡)		林 野 (a)	その他 (㎡)
		焼損床面積	焼損表面積		
宇 部 市		1,376	40	1	5,901
山陽小野田市		2,314	177		3,138
合 計		3,690	217	1	9,039

(6) 曜日別火災発生状況

(令和6年1月1日～令和6年12月31日)

[単位: 件]

月別 曜日別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
日	1	3			1		1		1			1	8
月		1						2	2				5
火	1	1		1	1		1		1	1			7
水	1	2	1	2	2	2	1	1			1	1	14
木	1	2					1	1		1	1	1	8
金	1	1	2		2				2		1		9
土	1	1						1			2	1	6
不明													
合計	6	11	3	3	6	2	4	5	6	2	5	4	57



(7) 時間帯別火災発生状況

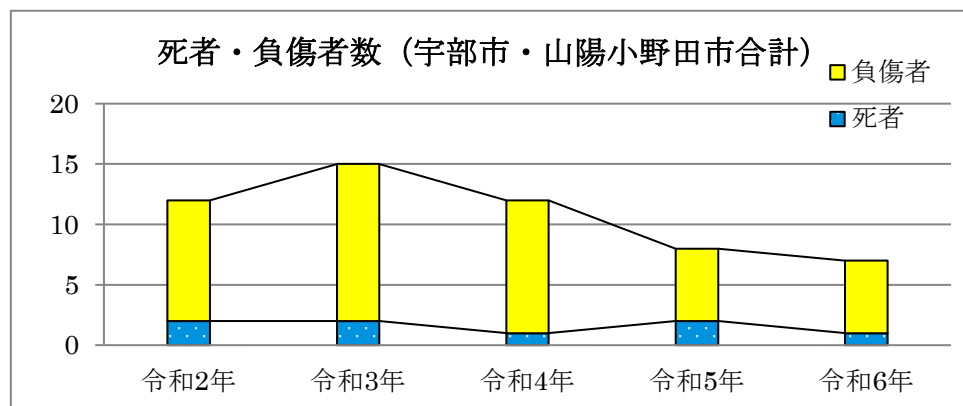
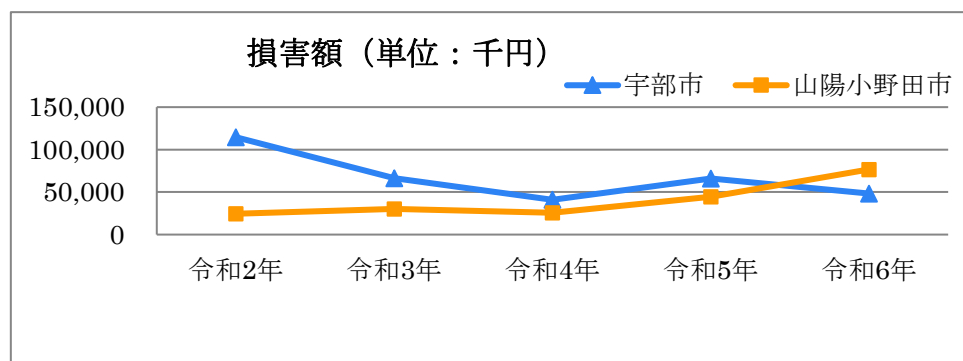
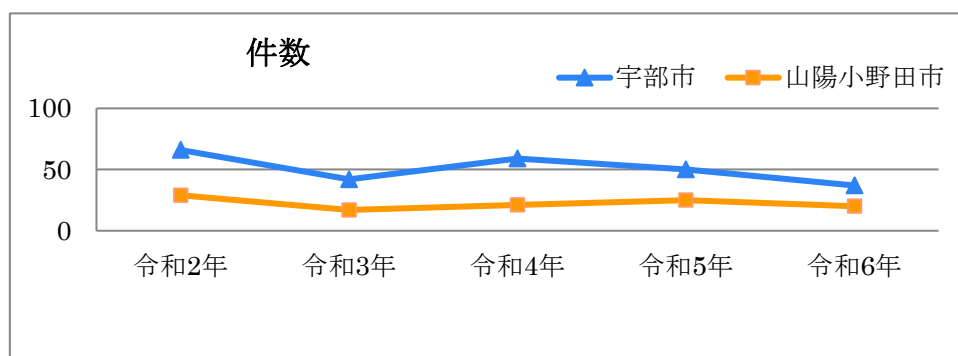
(令和6年1月1日～令和6年12月31日)

件数・死傷者数 時間帯	件数 (件)	死傷者 (人)	
		死 者	負傷者
0 時～1 時	3		
1 時～2 時			
2 時～3 時	2		
3 時～4 時			
4 時～5 時	1		
5 時～6 時	1		
6 時～7 時	2		1
7 時～8 時	2		
8 時～9 時	1		
9 時～1 0 時			
1 0 時～1 1 時	6		
1 1 時～1 2 時	4		
1 2 時～1 3 時	3		
1 3 時～1 4 時	4		
1 4 時～1 5 時	4		
1 5 時～1 6 時	5		2
1 6 時～1 7 時	3		
1 7 時～1 8 時	3		2
1 8 時～1 9 時	4	1	
1 9 時～2 0 時	2		
2 0 時～2 1 時	2		
2 1 時～2 2 時	4		1
2 2 時～2 3 時			
2 3 時～2 4 時	1		
不 明			
合 計	57	1	6

(8) 過去5年間の火災発生状況

(1月1日～12月31日)

項目 年別	件数 (件)		損害額 (千円)		死傷者 (人)			
	宇部市	山陽小野田市	宇部市	山陽小野田市	宇 部 市		山陽小野田市	
					死 者	負傷者	死 者	負傷者
令和2年	66	29	114,589	24,512	2	7		3
令和3年	42	17	66,340	30,129	1	8	1	5
令和4年	59	21	40,953	25,669		7	1	4
令和5年	50	25	66,111	44,380	2	3		3
令和6年	37	20	48,471	76,690		4	1	2

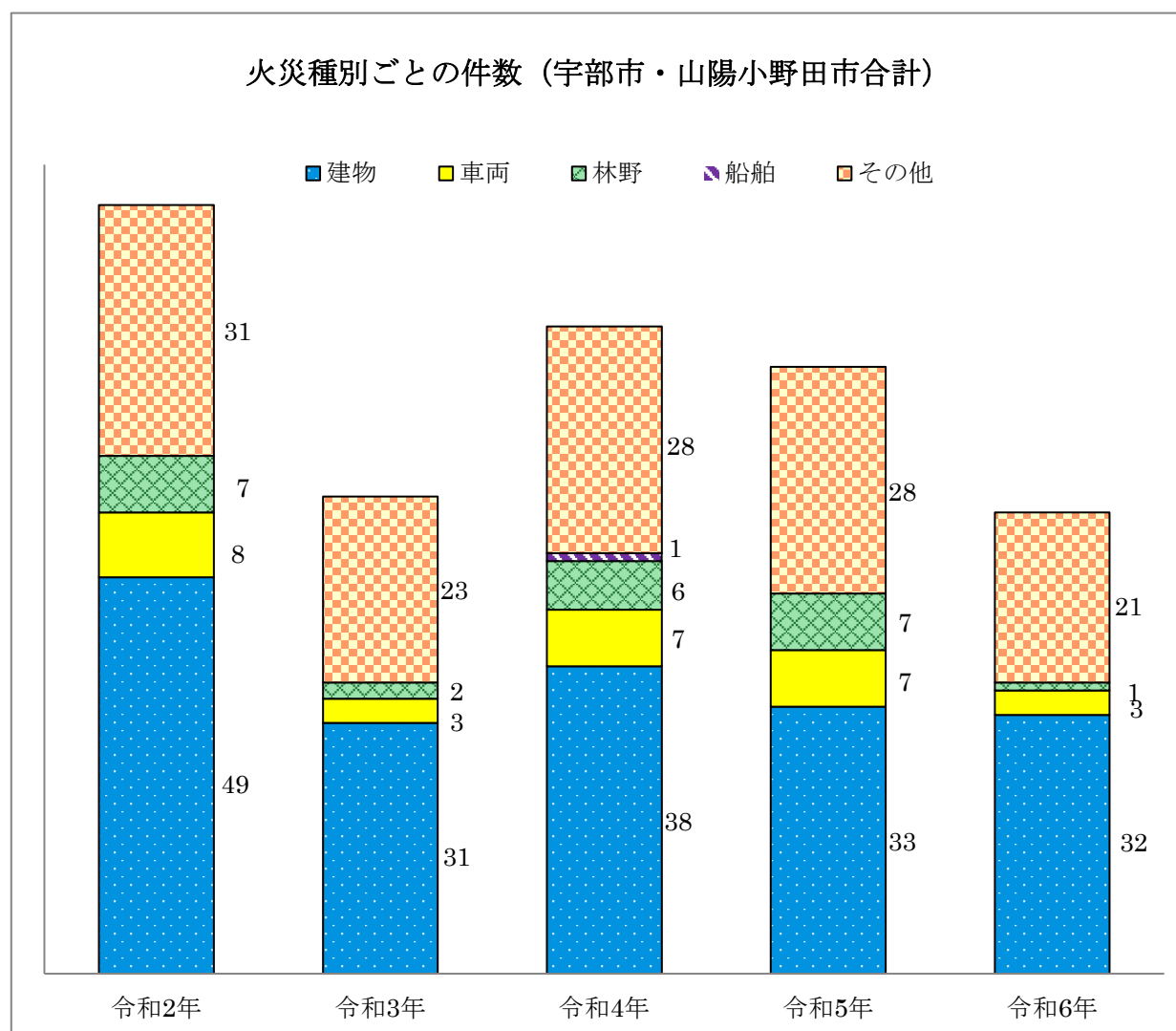


(9) 過去5年間の火災種別件数

(1月1日～12月31日)

[単位：件]

年別		種別	建 物	車 両	林 野	航空機	船 舶	その他	計	合 計
令和2年	宇 部 市		34	7	3			22	66	95
	山陽小野田市		15	1	4			9	29	
令和3年	宇 部 市		23	3	1			15	42	59
	山陽小野田市		8		1			8	17	
令和4年	宇 部 市		27	5	6		1	20	59	80
	山陽小野田市		11	2				8	21	
令和5年	宇 部 市		22	4	7			17	50	75
	山陽小野田市		11	3				11	25	
令和6年	宇 部 市		18	2	1			16	37	57
	山陽小野田市		14	1				5	20	

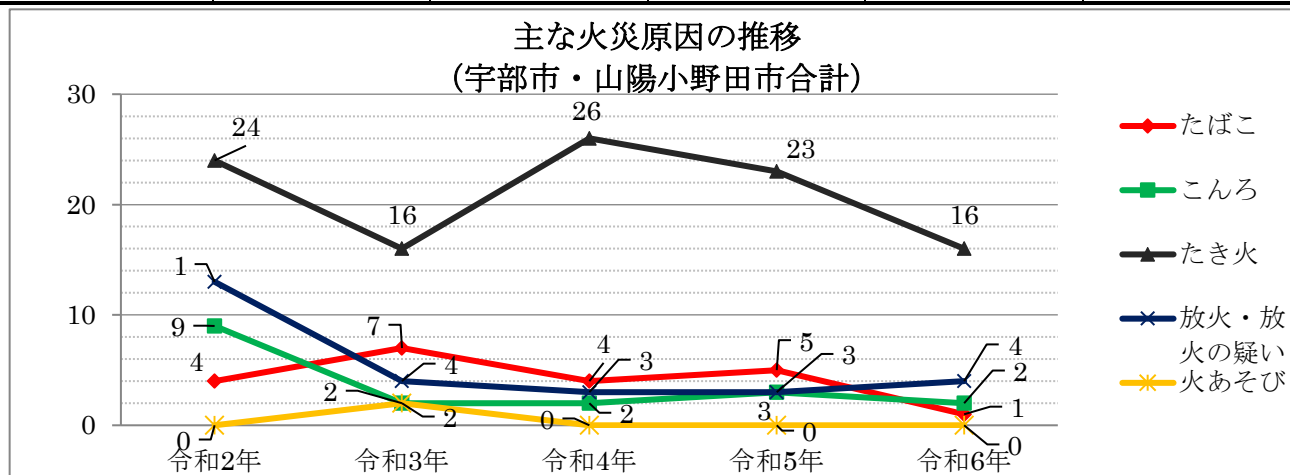


(10) 過去5年間の火災原因別件数

(1月1日～12月31日)

[単位: 件]

年別 原因別	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
たばこ	4	7	4	5	1
こんろ	9	2	2	3	2
風呂かまど	1	1	1		1
炉					
焼却炉		1			
ストーブ	1		1	1	1
こたつ					
煙突・煙道	1	1			
排気管	2	1		1	2
電気機器	1	1	2	3	3
電気装置	1	1		1	1
電灯等の配線		1	3	2	1
内燃機関					
配線器具			4		4
火あそび		2			
ライター等	1				1
たき火	24	16	26	23	16
溶接機・切断機	1	2	1	1	1
灯火		4		1	1
取灰	1				
火入れ			2		
放火	2	3	1	1	1
放火の疑い	11	1	2	2	3
その他	19	5	15	17	9
不明・調査中	16	10	16	14	9
合計	95	59	80	75	57

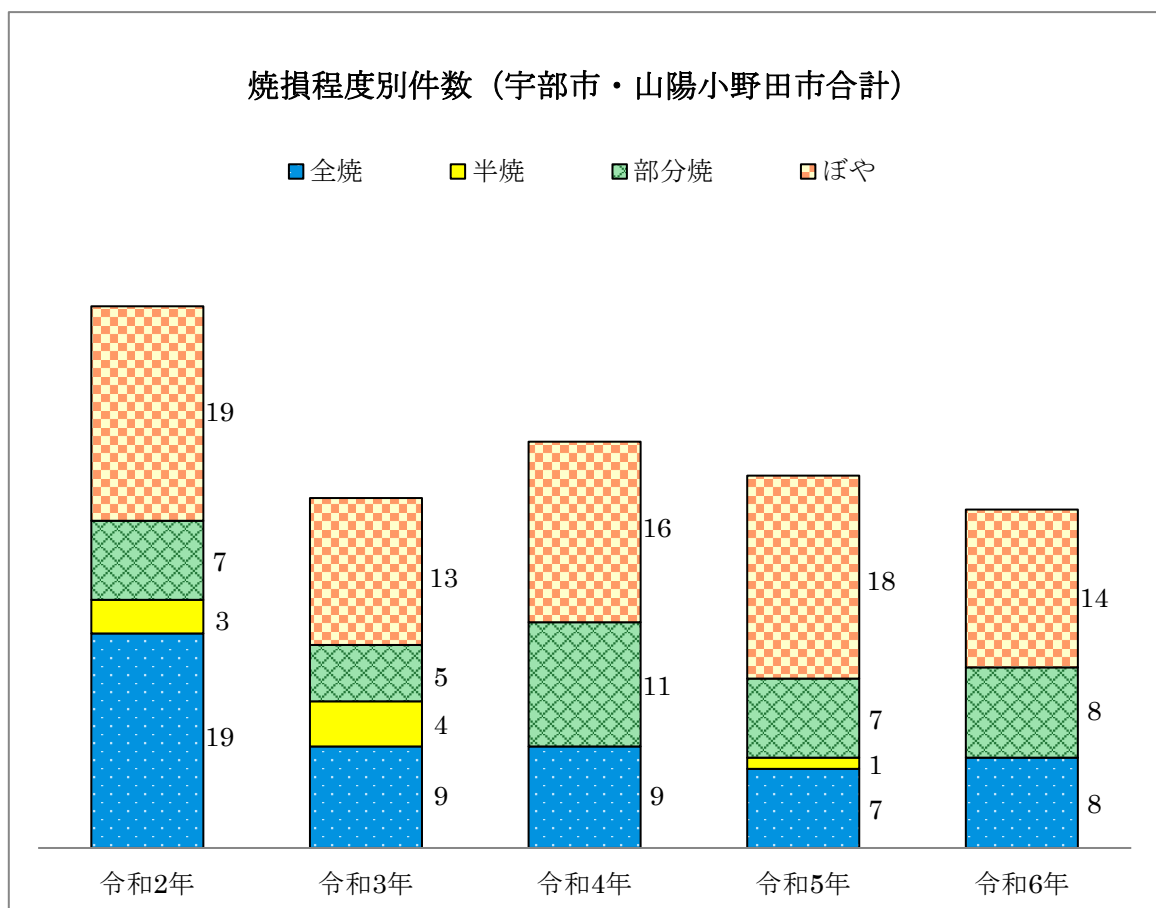


(11) 過去5年間の焼損程度別件数（爆発損害を除く）

（1月1日～12月31日）

[単位：件]

年別		焼損別	全 焼	半 焼	部分焼	ぼ や	計	合 計
令和2年	宇 部 市		14	2	5	12	33	48
	山陽小野田市		5	1	2	7	15	
令和3年	宇 部 市		7	3	3	10	23	31
	山陽小野田市		2	1	2	3	8	
令和4年	宇 部 市		5		6	15	26	36
	山陽小野田市		4		5	1	10	
令和5年	宇 部 市		5		5	12	22	33
	山陽小野田市		2	1	2	6	11	
令和6年	宇 部 市		3		4	11	18	30
	山陽小野田市		5		4	3	12	

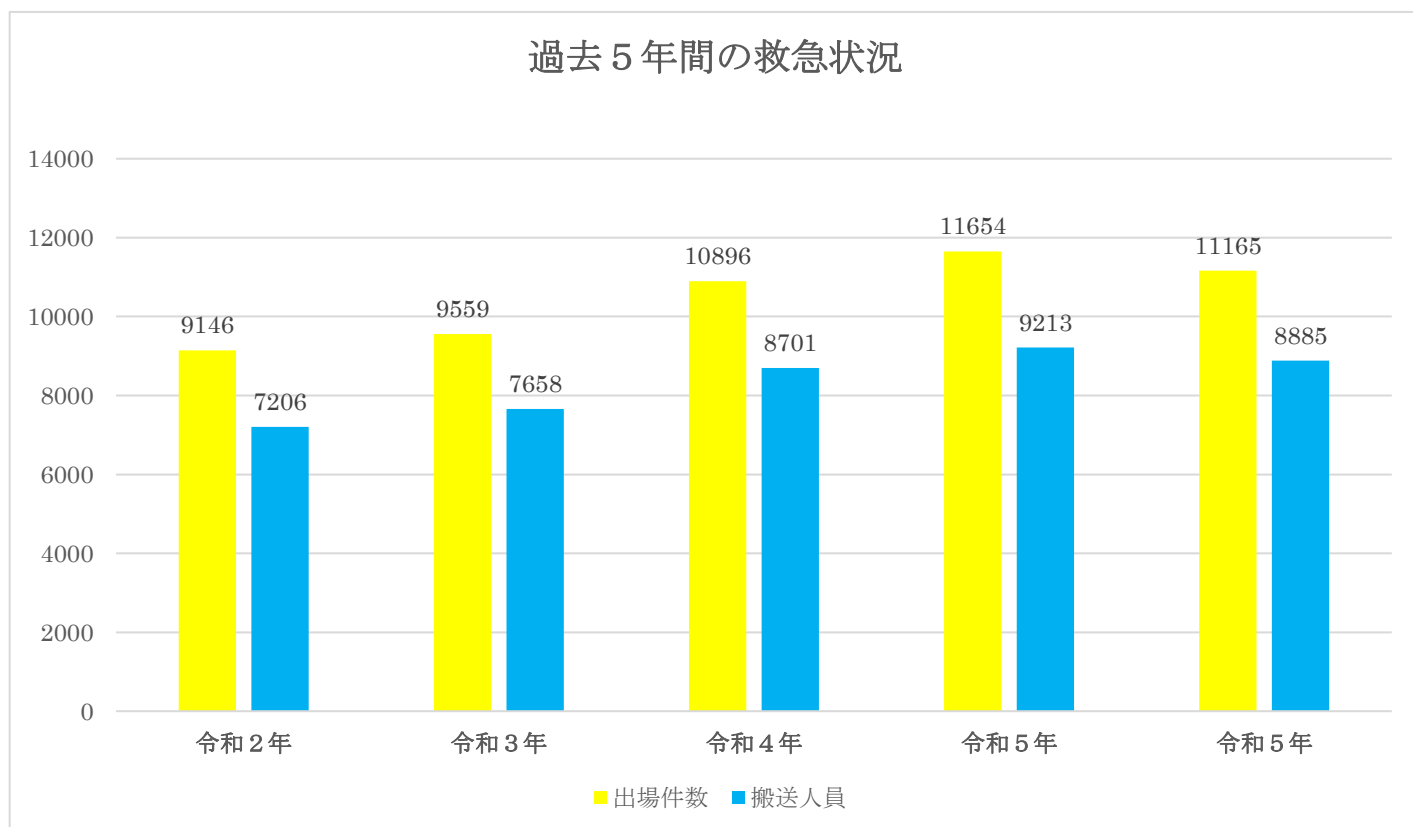


6 救急

(1) 過去5年間の救急状況

(1月1日～12月31日)

区分 年別		出場件数 (件)	搬送人員 (人)	1日平均 出場件数 (件)	1日平均 搬送人員 (人)
令和2年	宇部市	6,560	5,142	17.9	14.0
	山陽小野田市	2,586	2,064	7.1	5.6
	合 計	9,146	7,206	25.0	19.7
令和3年	宇部市	6,865	5,455	18.8	14.9
	山陽小野田市	2,694	2,203	7.4	6.0
	合 計	9,559	7,658	26.2	21.0
令和4年	宇部市	7,835	6,257	21.5	17.1
	山陽小野田市	3,061	2,444	8.4	6.7
	合 計	10,896	8,701	29.9	23.8
令和5年	宇部市	8,431	6,630	23.1	18.2
	山陽小野田市	3,223	2,583	8.8	7.1
	合 計	11,654	9,213	31.9	25.2
令和6年	宇部市	7,976	6,337	21.8	17.3
	山陽小野田市	3,189	2,548	8.7	7.0
	合 計	11,165	8,885	30.6	24.3

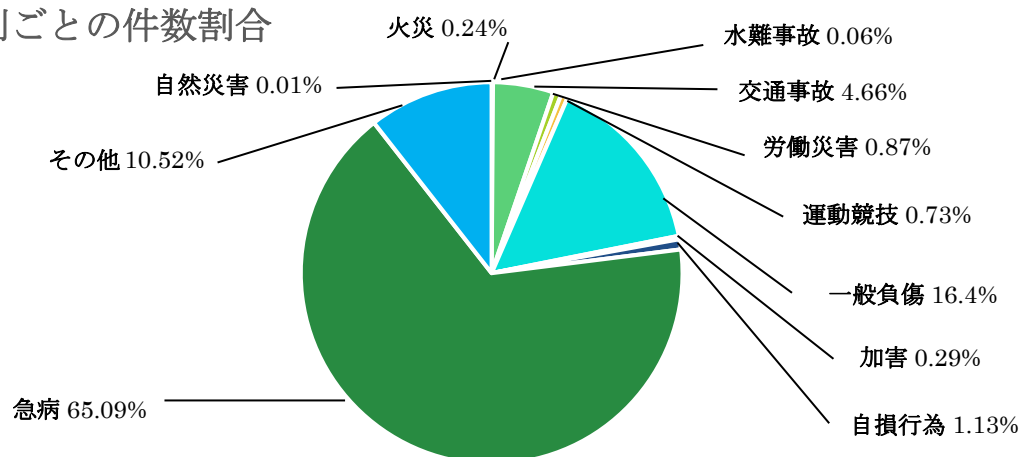


(2) 事故種別ごとの出場・搬送状況

(令和6年1月1日～令和6年12月31日)

市別		宇 部 市	山陽小野田市	合 計
事故種別				
火 災	出場件数 (件)	15	12	27
	搬送人員 (人)	1	2	3
自然災害	出場件数	0	1	1
	搬送人員	0	1	1
水難事故	出場件数	6	1	7
	搬送人員	1	0	1
交通事故	出場件数	400	120	520
	搬送人員	287	101	388
労働災害	出場件数	63	34	97
	搬送人員	58	30	88
運動競技	出場件数	47	35	82
	搬送人員	37	26	63
一般負傷	出場件数	1,335	496	1,831
	搬送人員	1,104	397	1,501
加 害	出場件数	29	3	32
	搬送人員	14	2	16
自損行為	出場件数	85	41	126
	搬送人員	55	21	76
急 病	出場件数	5,178	2,089	7,267
	搬送人員	4,149	1,691	5,840
そ の 他	出場件数	818	357	1,175
	搬送人員	631	277	908
合 計	出場件数	7,976	3,189	11,165
	搬送人員	6,337	2,548	8,885

事故種別ごとの件数割合



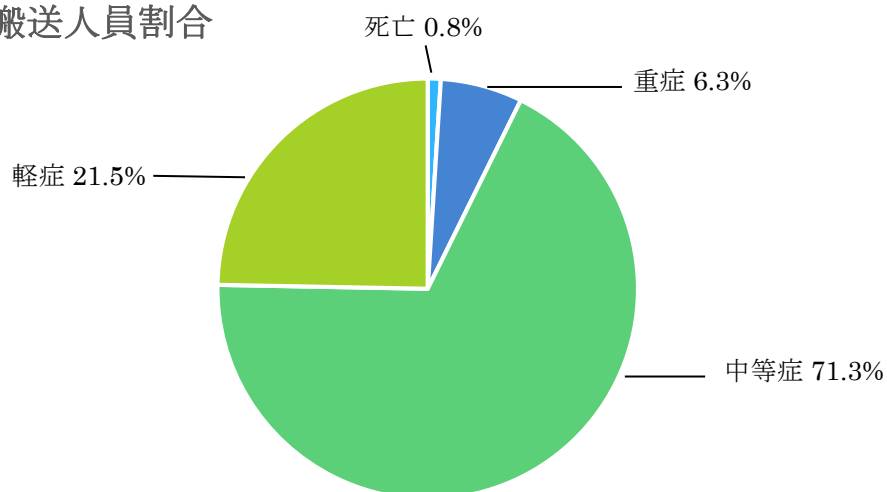
(3) 事故種別・傷病程度別搬送人員

(令和6年1月1日～令和6年12月31日)

[単位：人]

傷病程度 事故種別		死 亡	重 症	中等症	軽 症	その他	合 計
火 災	宇 部 市				1		1
	山陽小野田市			2			2
自然災害	宇 部 市						
	山陽小野田市			1			1
水難事故	宇 部 市		1				1
	山陽小野田市						
交通事故	宇 部 市		9	134	144		287
	山陽小野田市	1	5	36	59		101
労働災害	宇 部 市	1	2	42	13		58
	山陽小野田市		2	16	12		30
運動競技	宇 部 市			16	21		37
	山陽小野田市		1	11	14		26
一般負傷	宇 部 市	1	54	767	282		1,104
	山陽小野田市	1	34	245	117		397
加 害	宇 部 市			7	7		14
	山陽小野田市			2			2
自損行為	宇 部 市	1	7	39	8		55
	山陽小野田市	2	1	14	4		21
急 病	宇 部 市	49	252	3,062	786		4,149
	山陽小野田市	18	115	1,125	433		1,691
そ の 他	宇 部 市		51	574	6		631
	山陽小野田市		28	246	3		277
合 計	宇 部 市	52	376	4,641	1,268		6,337
	山陽小野田市	22	186	1,698	642		2,548
	合 計	74	562	6,339	1,910		8,885

傷病程度別搬送人員割合



(4) 救急車医師同乗システム（ドクターカー） 出場件数及び活動件数

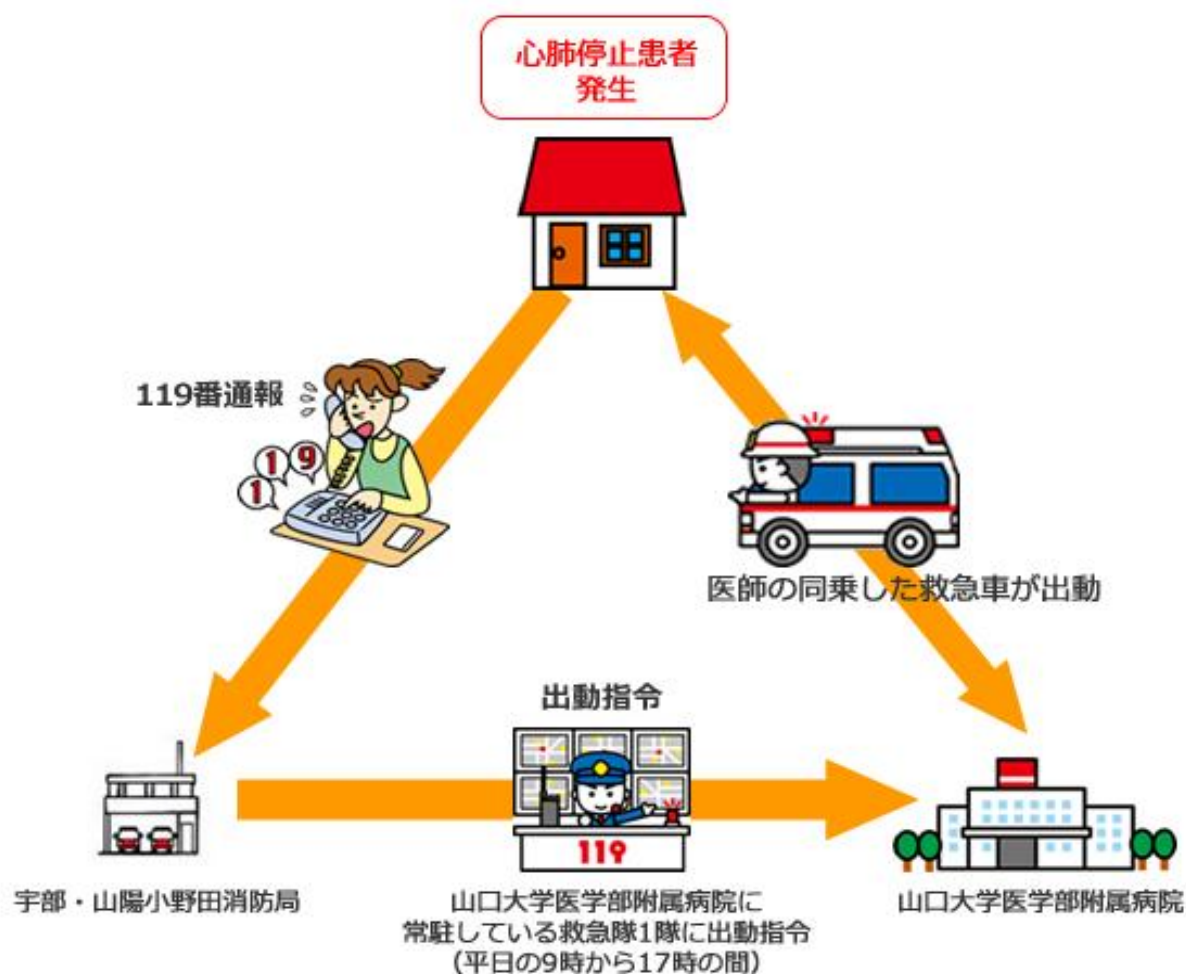
(令和6年1月1日～令和6年12月31日)

	計	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	医師搬送
出場件数 (件)	180	1	0	1	7	3	0	3	1	5	53	0	106
活動件数 (件)	74	1	0	1	7	3	0	3	1	5	53	0	0

救急車医師同乗システム（ドクターカー）

システム概要

救急車医師同乗システム（通称：ドクターカー）の内容

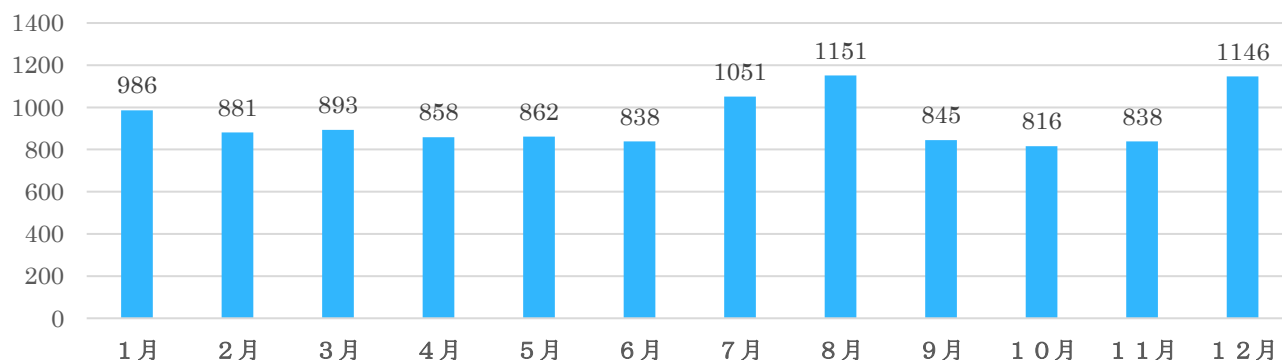


(5) 事故種別・月別出場件数及び搬送人員

(令和6年1月1日～令和6年12月31日)

事故種別 月別		計	火 災	自然 災害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
1月	件数(件)	986	3			38	6	1	155	4	6	676	97
	人員(人)	768				28	6		125	1	2	526	80
2月	件数	881	4		2	48	8	6	157	2	10	568	76
	人員	700	2			38	8	6	134		6	453	53
3月	件数	893	1		1	35	12	6	155	2	14	573	94
	人員	714				26	10	4	126	1	11	463	73
4月	件数	858	2		3	53	5	10	135	2	12	533	103
	人員	652	1		1	31	4	9	100	2	7	416	81
5月	件数	862	4			46	3	2	143	1	11	565	87
	人員	706				35	2	2	122	1	7	476	61
6月	件数	838				42	4	12	121		10	541	108
	人員	692				32	4	10	107		4	452	83
7月	件数	1,051	2			39	16	9	138	8	10	708	121
	人員	843				33	14	8	116	4	5	570	93
8月	件数	1,151	3	1		41	14	14	172	3	8	783	112
	人員	905		1		29	14	12	137	2	5	620	85
9月	件数	845	3			36	10	9	154	5	14	539	75
	人員	680				32	8	5	126	2	9	443	55
10月	件数	816	1			50	9	6	131		11	513	95
	人員	673				43	8	1	113		8	419	81
11月	件数	838			1	41	4	3	173	3	8	527	78
	人員	657				28	4	2	142	1	5	415	60
12月	件数	1,146	4			51	6	4	197	2	12	741	129
	人員	895				33	6	4	153	2	7	587	103
合計	件数	11,165	27	1	7	520	97	82	1,831	32	126	7,267	1,175
	人員	8,885	3	1	1	388	88	63	1,501	16	76	5,840	908

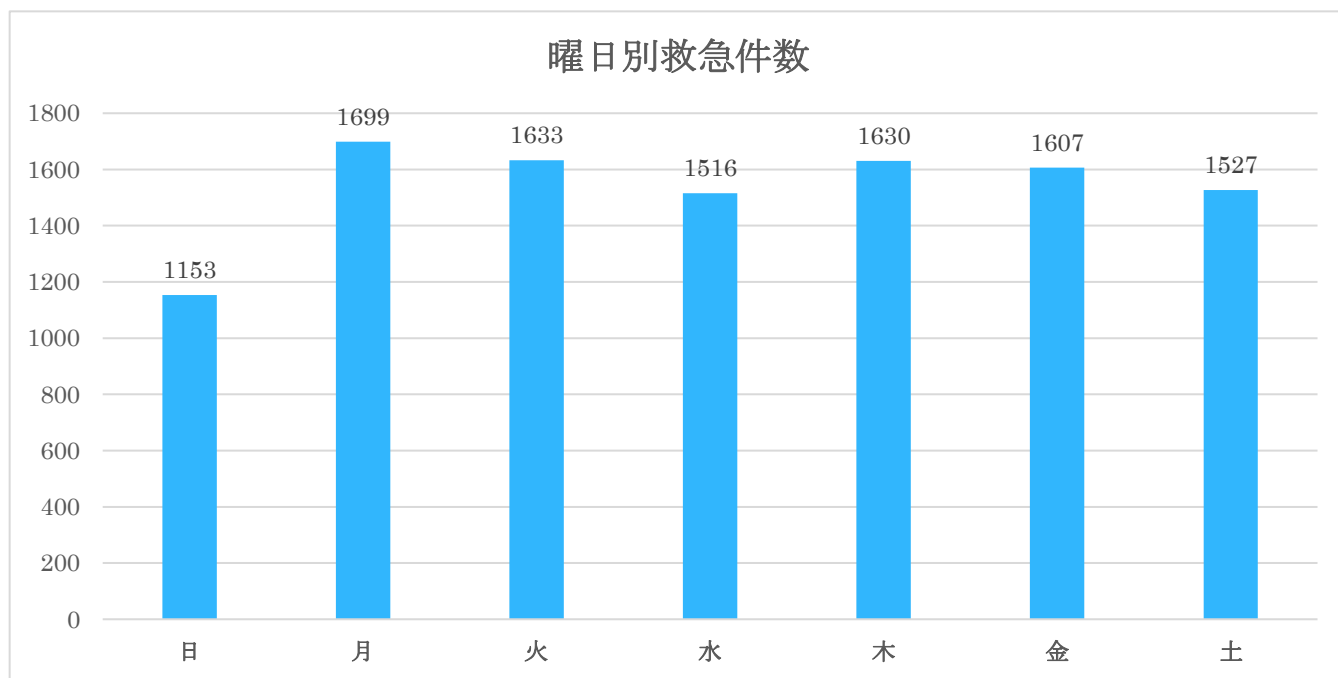
月別救急件数



(6) 事故種別・曜日別出場状況及び搬送人員

(令和6年1月1日～令和6年12月31日)

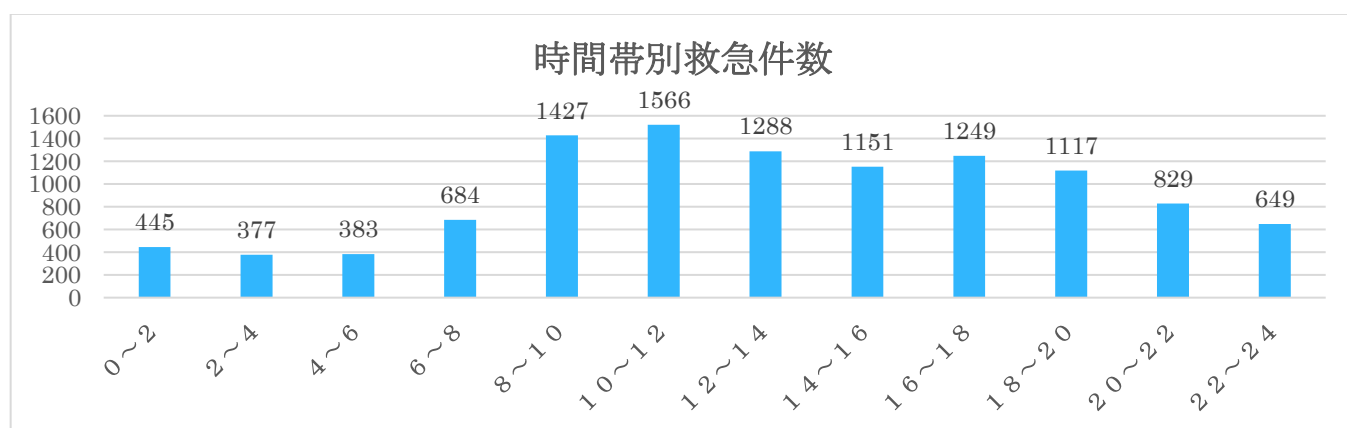
事故種別 曜日別		計	火 災	自然 災害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
日	件数(件)	1,153			1	60	5	24	292	4	19	1,077	71
	人員(人)	1,212				38	2	17	230	2	12	855	56
月	件数	1,699	2	1		77	15	8	266	3	23	1,109	195
	人員	1,391		1		58	14	5	229		11	922	151
火	件数	1,633	6			91	14	2	249	4	21	1,026	220
	人員	1,293				65	13	2	206	1	15	825	166
水	件数	1,516	4		1	70	14	8	244	5	17	949	204
	人員	1,209				48	13	7	202	2	8	765	164
木	件数	1,630	8		2	76	23	11	267	8	19	1,035	181
	人員	1,278	3		1	59	21	6	220	6	13	818	131
金	件数	1,607	4		2	82	12	10	238	5	10	1,033	211
	人員	1,277				63	12	9	190	3	7	831	162
土	件数	1,527	3		1	64	14	19	275	3	17	1,038	93
	人員	1,225				57	13	17	224	2	10	824	78
合 計	件数	11,165	27	1	7	520	97	82	1,831	32	126	7,267	1,175
	人員	8,885	3	1	1	388	88	63	1,501	16	76	5,840	908



(7) 事故種別・時間帯別出場件数及び搬送人員

(令和6年1月1日～令和6年12月31日)

事故種別 時間帯別		計	火 災	自然 災害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
0～	件数(件)	445	3			3	1		52	6	11	358	11
	人員(人)	315	1			2	1		36	2	7	256	10
2～	件数	377	1			6	2		54	2	1	292	19
	人員	288				7	2		39	2	1	220	17
4～	件数	383	2			16			58		2	290	15
	人員	296				14			48		1	221	12
6～	件数	684			2	46	4		118		10	488	16
	人員	534				32	4		97		8	380	13
8～	件数	1,427	2		4	64	13	6	254	1	13	931	139
	人員	1,195			1	48	10	5	226	1	7	806	91
10～	件数	1,566				68	27	14	263		11	885	298
	人員	1,290				55	18	13	194	5	5	738	213
12～	件数	1,288	1	1		68	10	18	207	2	16	754	211
	人員	1,039		1		50	9	15	175	2	8	611	168
14～	件数	1,151	3			54	19	13	210	3	13	654	182
	人員	926				41	18	9	167	2	7	542	140
16～	件数	1,249	5			90	13	14	202	1	10	762	152
	人員	1,013	2			67	11	9	172		7	633	112
18～	件数	1,117	6			64	4	7	197	6	13	755	65
	人員	881				44	4	4	158	3	9	603	56
20～	件数	829	3			27	3	8	132	6	15	598	37
	人員	631				20	3	7	102	2	10	456	31
22～	件数	649	1		1	14	1	2	84	5	11	500	30
	人員	477				12	1	2	61	2	6	368	25
合計	件数	11,165	27	1	7	520	97	82	1,831	32	126	7,267	1,175
	人員	8,885	3	1	1	388	88	63	1,501	16	76	5,840	908

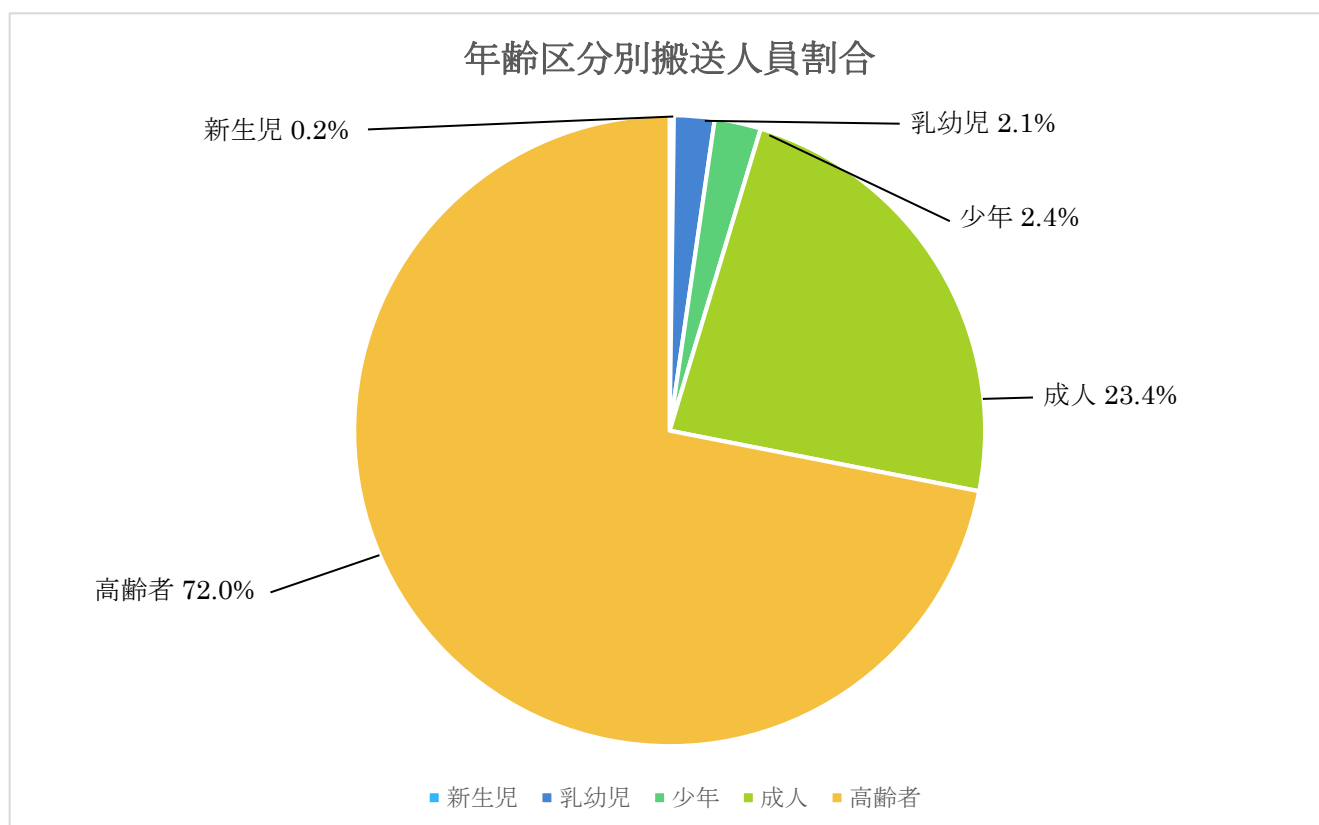


(8) 事故種別・年齢区分別搬送人員

(令和6年1月1日～令和6年12月31日)

[単位：人]

事故種別 年齢区分	計	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
新生児 (生後28日未満)	19				1						2	16
乳幼児 (7歳未満)	185				6			38			131	10
少年 (7歳～17歳)	211				34	2	38	20	2	6	101	8
成人 (18歳～64歳)	2,083	2		1	213	66	22	164	10	55	1,319	231
高齢者 (65歳以上)	6,387	1	1		134	20	3	1,279	4	15	4,287	643
合計	8,885	3	1	1	388	88	63	1,501	16	76	5,840	908
高齢者割合 (%)	72	33	100	0	35	23	5	85	25	20	73	71



7 救助

(令和6年1月1日～令和6年12月31日)

市別 種別		宇 部 市			山陽小野田市			合 計		
		出 動 (件)	活 動 (件)	救 助 人 員 (人)	出 動	活 動	救 助 人 員	出 動	活 動	救 助 人 員
火 災	建 物	1	1		2	2	1	3	3	1
	建物以外									
交 通 事 故		30	18	22	10	8	7	40	26	29
水 難 事 故		6	5	5	3	2	2	9	7	7
風 水 害 自 然 災 害										
機械による事故					1	1	3	1	1	3
建物等による事故		8	3	3	5	3	3	13	6	6
ガス・酸欠事故										
破 裂 事 故										
そ の 他 事 故		14	11	11	4	3	6	18	14	17
合 計		59	38	41	25	19	22	84	57	63

8 火災以外の出動

(令和6年1月1日～令和6年12月31日)

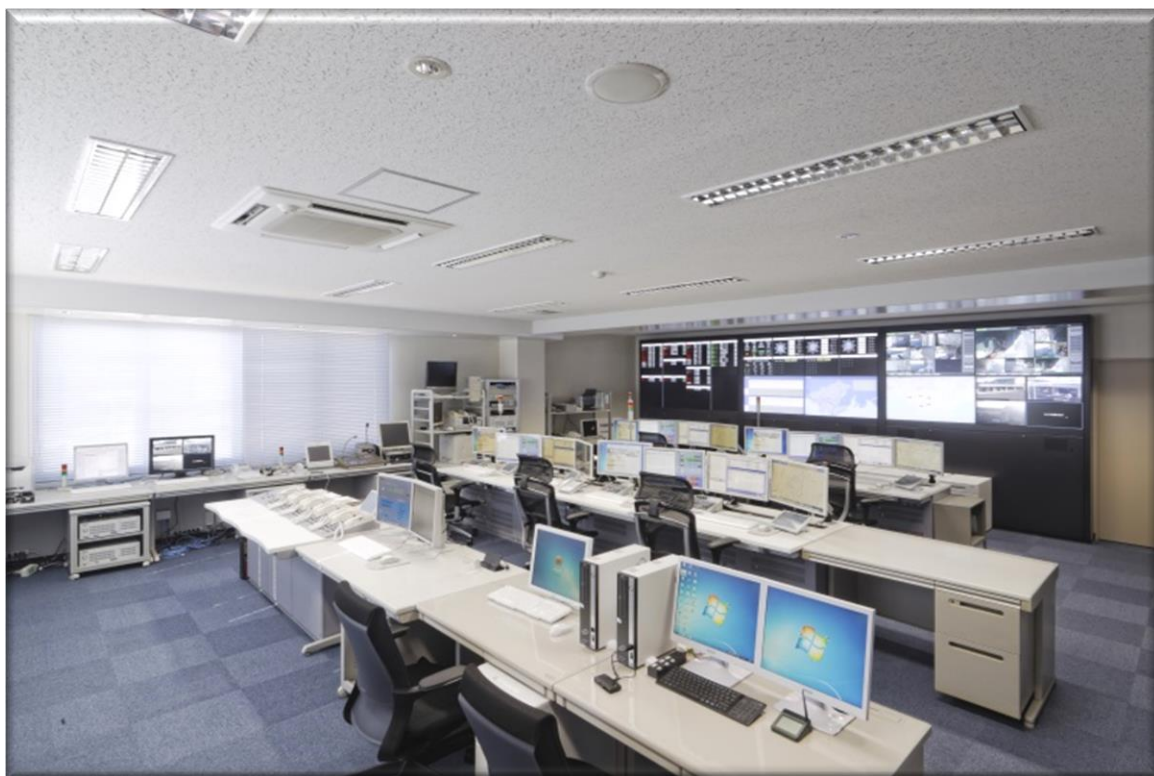
月別 出動種別		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
風水害等の災害	回数 (回)						1	4				4		9
	人員 (人)						3	10				11		24
火災 原因調査	回数	3	4	2	2	1	2	3	3	3	2	2	3	30
	人員	18	23	12	6	8	12	15	17	15	10	6	12	154
特 別 警 戒	回数													
	人員													
捜索	回数													
	人員													
誤報等	回数		2		2	2	1		1		2	4	1	15
	人員		7		23	23	3		12		6	22	8	104
救 急 補 助	回数	158	122	120	121	139	121	133	163	119	95	109	171	1,571
	人員	515	390	370	382	429	361	396	469	368	287	319	531	4,817
その他	回数	12	12	18	15	13	18	30	15	20	16	20	15	204
	人員	62	45	114	81	66	71	162	69	92	59	65	63	949
合 計	回数	173	140	140	140	155	143	170	182	142	115	139	190	1,829
	人員	595	465	496	492	526	450	583	567	475	362	423	614	6,048

9 救急講習

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

受講種別 区分	宇 部 市			山陽小野田市			合 計		
	講習 件数 (件)	受講 者数 (人)	指導 者数 (人)	講習 件数	受講 者数	指導 者数	講習 件数	受講 者数	指導 者数
普通救命講習Ⅰ	54	970	87	42	461	65	96	1,431	152
普通救命講習Ⅱ	2	28	2				2	28	2
普通救命講習Ⅲ	10	171	16	1	4	4	11	175	20
上級救命講習	2	21	6				2	21	6
応急手当 普及員講習Ⅰ	1	15	2				1	15	2
応急手当 指導員講習Ⅰ	2	4	17	2	3	7	4	7	24
普通救命講習Ⅰ (普及員)									
救命入門コース	12	238	29	1	4	1	13	242	30
その他講習	8	126	11	11	321	17	19	447	28
合 計	91	1,573	170	57	793	94	148	2,366	264

通 信 指 令



高機能消防指令センター

電話による119番通報のほか、インターネット、メール及びFAXを利用した通報にも対応可能で、通報受付から出動指示、現場到着までを迅速に行うことができます。また、高機能消防指令センターと出動部隊が各種情報を共有し、的確な現場活動を行います。



消防救急デジタル無線設備

消防救急デジタル無線設備の整備により、無線の秘匿性の向上、不感地帯の解消及びデータ送信を利用したシステムの活用等が可能となりました。

1 消防通信施設

(1) 消防指令センター

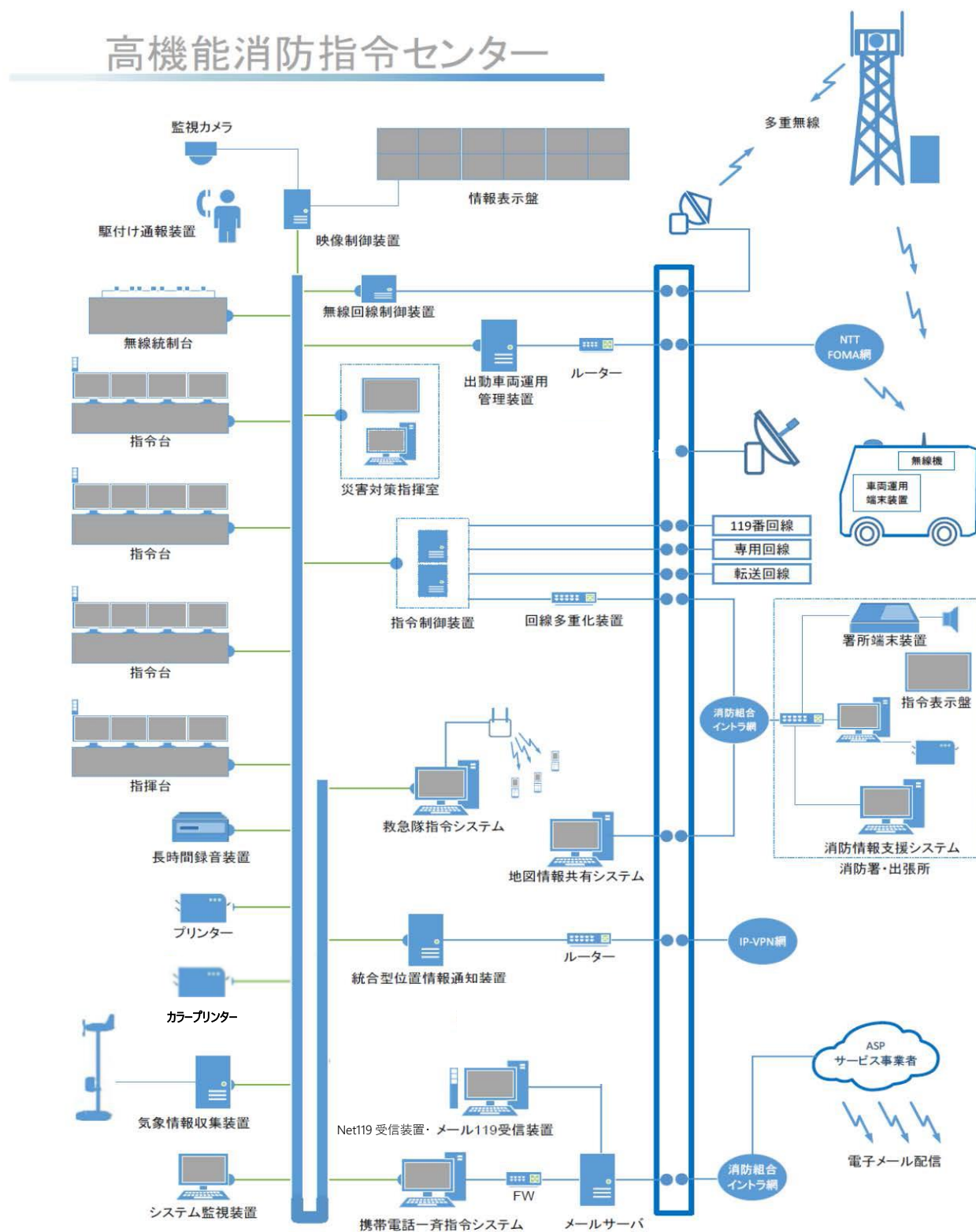
機 器 名	数 量	設 置 年 月 日
高機能消防指令センター（Ⅱ型） 1. 指令装置 2. 指揮台 3. 表示盤 4. 無線統制台 5. 指令伝送装置 6. 気象情報収集装置 7. 災害状況等自動案内装置 8. 順次指令装置 9. 音声合成装置 10. 出動車両運用管理装置 11. システム監視装置 12. 地図検索装置 13. 統合型位置情報通知装置 14. 長時間録音装置 15. 自動出動指定装置 16. 駆け込み通報装置	一式	平成 26 年 3 月更新
メール 119	一式	平成 26 年 3 月更新
FAX 119	一式	平成 26 年 3 月更新
Net 119	一式	令和 2 年 10 月
山口県総合防災情報ネットワーク	一式	令和 7 年 3 月
宇部市防災用移動系無線(デジタル MCA 無線)システム	一式	平成 20 年 4 月

(2) 電話回線

令和 7 年 4 月 1 日現在

所属 \ 回線	119 回線 (IP 含む)	携帯 119 着信	指令 回線	携帯 119 転送	加入 電話	FAX	緊急 通報	衛星 通信	高速 山陽道
消 防 局	5	2		2	8	4	2	1	1
宇 部 中 央 消 防 署			1		1	1			
宇 部 西 消 防 署			1		2	1			
宇部西消防署北部出張所			1		2	1			
宇部西消防署楠出張所			1		1	1			
小 野 田 消 防 署			1		3	1			
山 陽 消 防 署			1		2	1			
山陽消防署埴生出張所			1		1	1			
合 計	5	2	7	2	20	11	2	1	1

(3) システム構成図



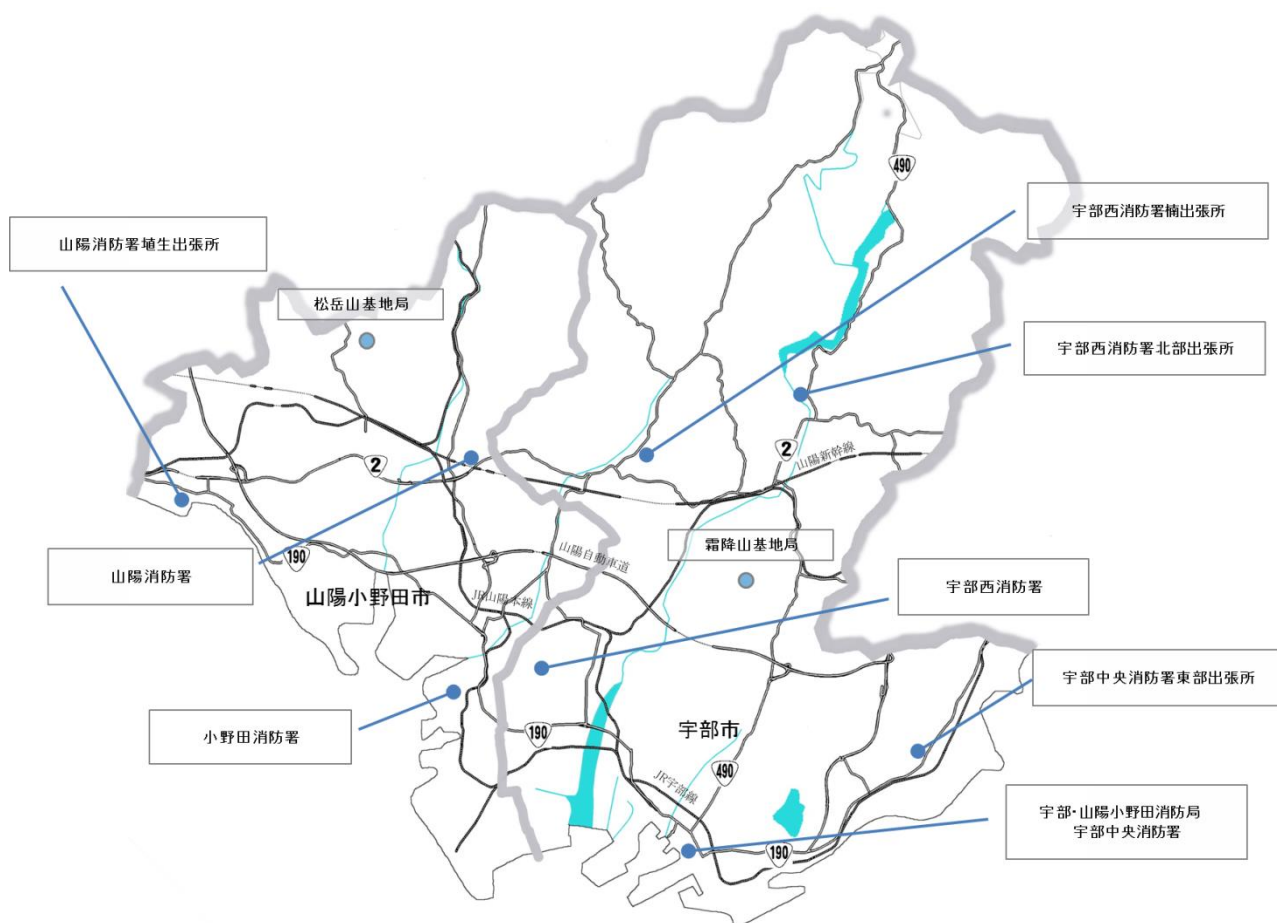
(4) 自家用発電機

令和7年4月1日現在

所 属	出 力	設置年月日
消 防 局 宇 部 中 央 消 防 署	105KVA	平成 19 年 2 月
宇 部 中 央 消 防 署 東 部 出 張 所	9.9KVA	平成 24 年 1 月
宇 部 西 消 防 署	9.9KVA	平成 22 年 6 月
宇 部 西 消 防 署 北 部 出 張 所	9.5KVA	平成 25 年 12 月
宇 部 西 消 防 署 楠 出 張 所	9.9KVA	平成 30 年 2 月
小 野 田 消 防 署	100KVA	平成 11 年 1 月
山 陽 消 防 署	35KVA	平成 25 年 3 月
山 陽 消 防 署 埴 生 出 張 所	9.5KVA	平成 25 年 12 月
霜 降 山 基 地 局	15KVA	平成 25 年 12 月
松 岳 山 基 地 局	10KVA	平成 25 年 12 月

(5) 無線局

令和7年4月1日現在



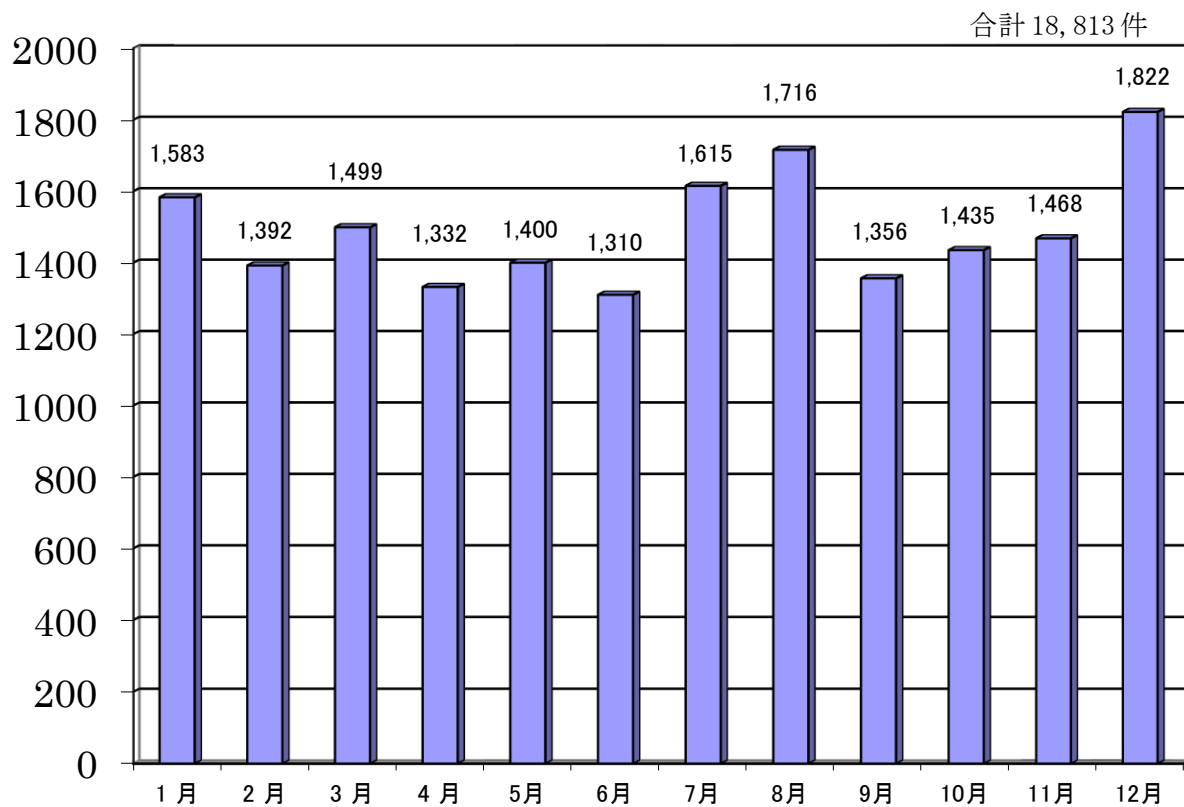
[単位：局]

		消防局	霧降山	松岳山	中央署	東部	西署	北部	楠	小野田署	山陽署	埴生	合計
基 地 局 (固 定 局)		1 (1)	1 (1)	1 (1)							(1)		3 (4)
移 動 局	卓 上 型					1	1	1	1	1	1	1	7
	車 載 型	5			17	4	9	4	4	16	8	3	70
	携 帯 型	5			18	7	12	7	7	12	12	5	85
	可 搬 型				1					1			2

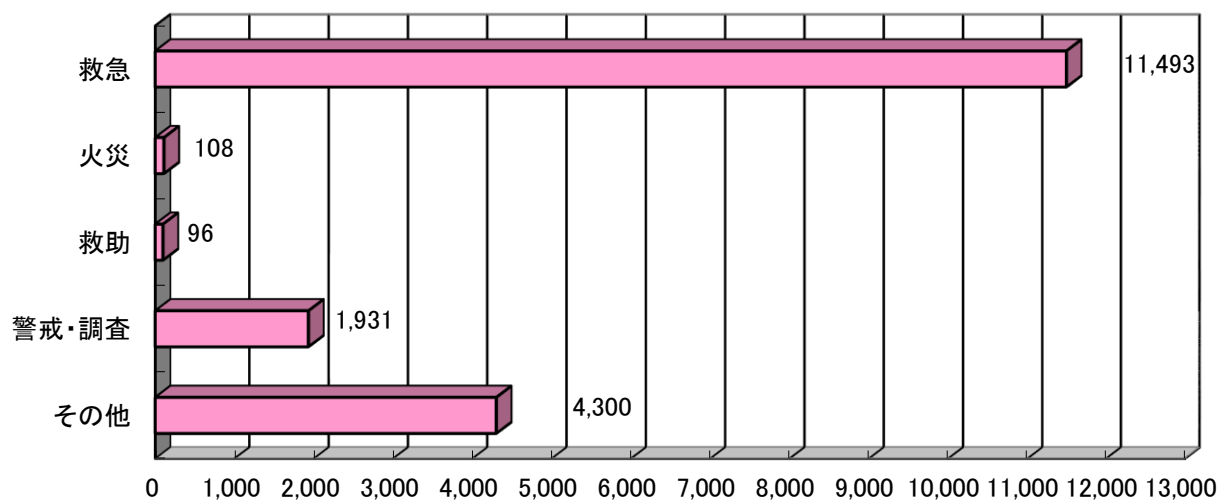
2 119回線着信件数

(令和6年1月1日～令和6年12月31日)

月別着信件数



種別毎着信件数(同報含む)



消 防 団



宇部市消防団

宇部市消防団は市民の『安心・安全な暮らしの確保』に向けて消防施設整備の充実強化と共に消防団員としての更なる強化を図り、定例訓練・防火防災指導等に尽力しています。

山陽小野田市消防団

山陽小野田市消防団は災害時の活動はもとより、地域の防災訓練等に参加して防火指導を行う等、平常時の活動にも尽力しています。

地域に密着した活動を実施し、地域の消防力・防災力強化を図り、市民の安心・安全確保に全力を尽くします。



宇部市消防団

宇部・山陽小野田消防組合との合同訓練



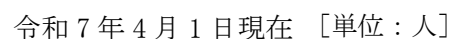
山陽小野田市消防団

宇部・山陽小野田消防組合との合同訓練



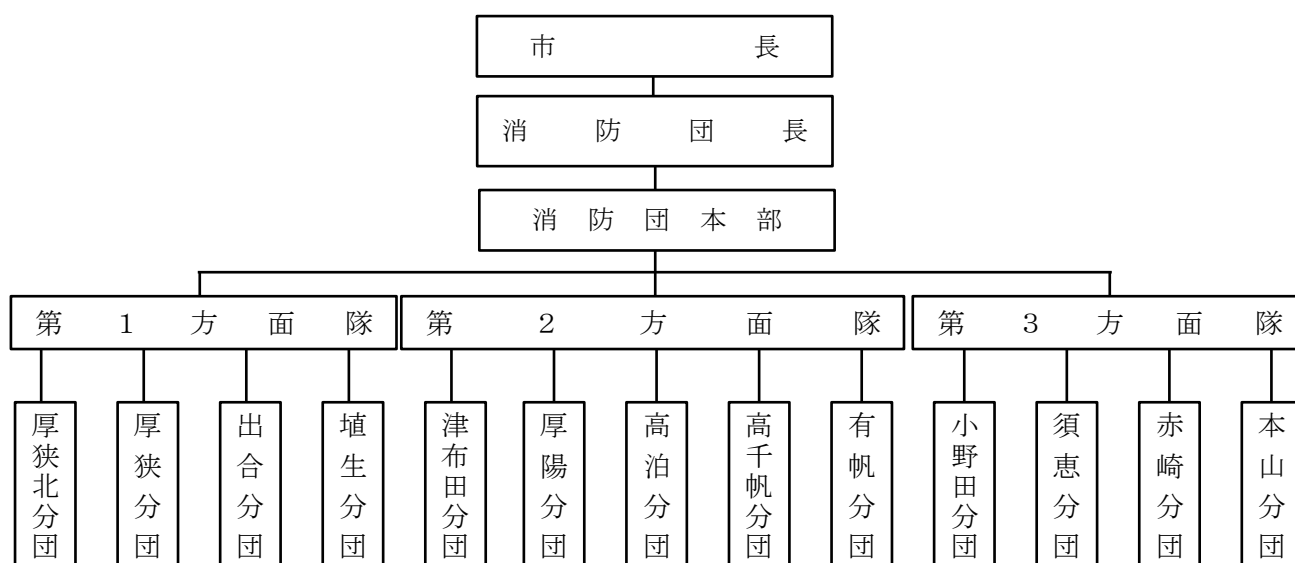
宇部市及び山陽小野田市ともに、大規模な災害時における常備消防と消防団との連携強化を図るため、宇部・山陽小野田消防組合との連携訓練を重ね、地域防災の要として、市民の安心・安全を担います。

(1) 宇部市消防団



– 91 –

(2) 山陽小野田市消防団



令和7年4月1日現在 [単位：人]

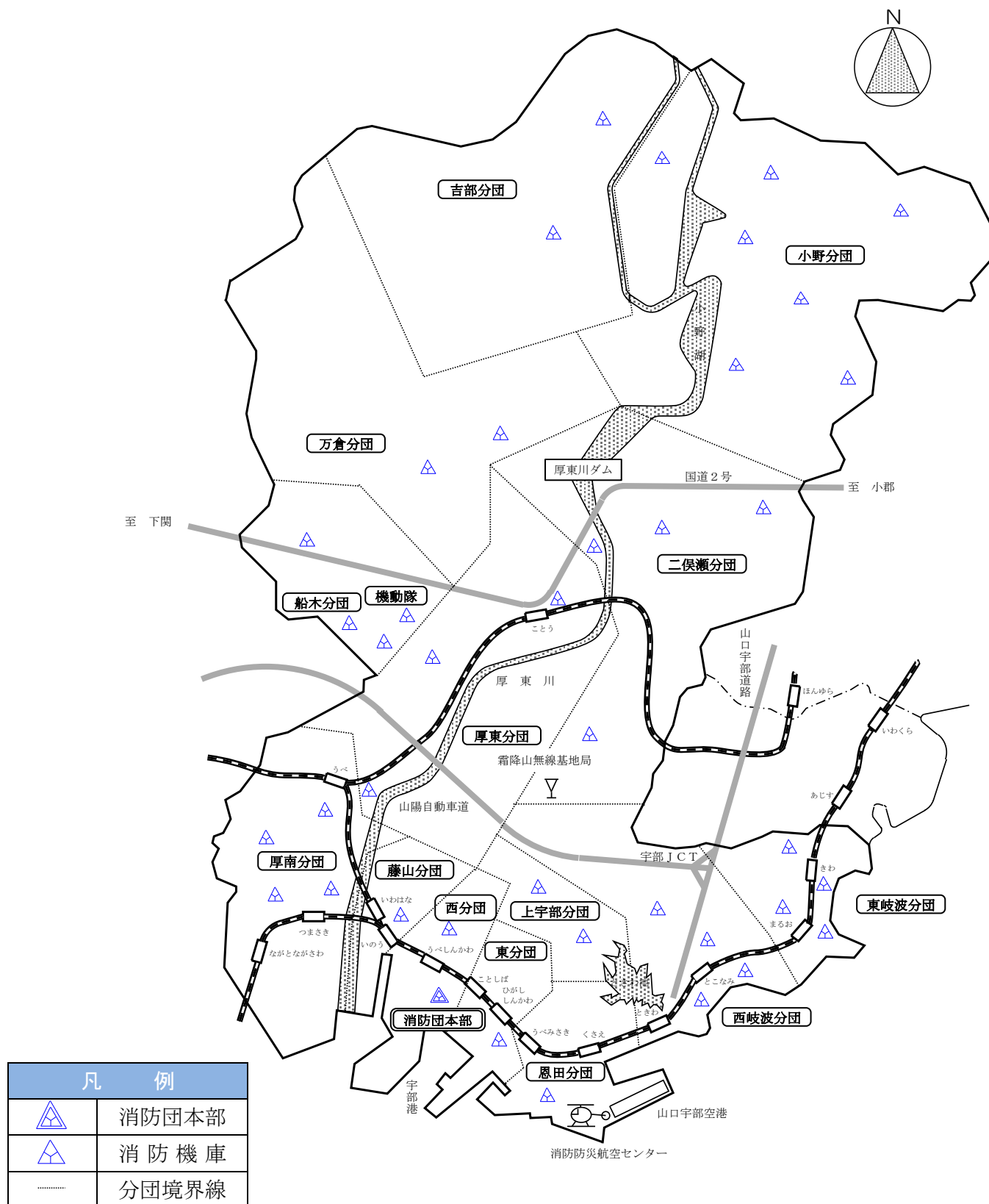
消防団員	所 属 職 階 級	消防団本部	第1方面隊				第2方面隊					第3方面隊				合 計
			厚狭北分団	厚狭分団	出合分団	埴生分団	津布田分団	厚陽分団	高泊分団	高千帆分団	有帆分団	小野田分団	須恵分団	赤崎分団	本山分団	
定 数 表 (職 階 級 別)	団 長	1														1
	方 面 隊 長 (副 団 長)	3	1(注)				1(注)					1(注)				3
	本 部 長 また は 分 団 長	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	14
	副 本 部 長 また は 副 分 団 長	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	14
	部 長	5	3	4	2	4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	36
	班 長	9	5	7	3	7	3	3	3	3	3	3	3	3	3	58
	団 員	51	30	42	19	42	19	19	19	19	19	19	19	23	19	359
実 員 数	合 計	71	40	55	26	55	26	26	26	26	26	26	26	30	26	485
	令和7年4月1日現在	42 (33)	31	42	26	34	23	21	19	25	21	13	15	23	17	352 (33)

() ~うち女性消防団員 (注) 方面隊長は団本部に所属

2 消防団配置図

(1) 宇部市消防団

令和7年4月1日現在



(2) 山陽小野田市消防団

令和7年4月1日現在



3 消防団員階級別年齢

【宇部市消防団】

令和7年4月1日現在 [単位：人]

年 齢	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
20 歳未満								0
20 歳以上 25 歳未満							20	20
25 歳以上 30 歳未満							11	11
30 歳以上 35 歳未満						1	23	24
35 歳以上 40 歳未満					3	1	40	44
40 歳以上 45 歳未満					3	8	64	75
45 歳以上 50 歳未満					5	24	71	100
50 歳以上 55 歳未満					11	39	40	90
55 歳以上 60 歳未満			2	4	13	27	26	72
60 歳以上 65 歳未満		1	4	5	11	10	16	47
65 歳以上 70 歳未満	1	2	11	6	8	8	8	44
70 歳以上		1					21	22
合 計	1	4	17	15	54	118	340	549
平均 (歳)	67	68	64	62	56	53	45	49

【山陽小野田市消防団】

令和7年4月1日現在 [単位：人]

年 齢	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
20 歳未満							1	1
20 歳以上 25 歳未満							26	26
25 歳以上 30 歳未満							16	16
30 歳以上 35 歳未満							29	29
35 歳以上 40 歳未満						2	37	39
40 歳以上 45 歳未満						2	41	43
45 歳以上 50 歳未満					3	15	34	52
50 歳以上 55 歳未満				2	7	15	39	63
55 歳以上 60 歳未満			1	2	8	10	6	27
60 歳以上 65 歳未満			3	4	9	4	2	22
65 歳以上 70 歳未満			6	4	7	4	3	24
70 歳以上	1	3	4	2				10
合 計	1	3	14	14	34	52	234	352
平均 (歳)	76	75	67	63	58	52	40	45

4 消防団員階級別勤続年数

【宇部市消防団】

令和 7 年 4 月 1 日現在 [単位：人]

勤 続 年 数	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
5 年未満					1		101	102
5 年以上 10 年未満			1		1	7	86	95
10 年以上 15 年未満					4	17	65	86
15 年以上 20 年未満					12	28	39	79
20 年以上 25 年未満				2	8	24	19	53
25 年以上 30 年未満			2	6	10	23	14	55
30 年以上 35 年未満			5	3	7	14	5	34
35 年以上 40 年未満			9	2	9	5	8	33
40 年以上 45 年未満	1	4			2		3	10
45 年以上				2				2
合 計	1	4	17	15	54	118	340	549
平均 (年)	40	42	32	31	24	21	10	15

【山陽小野田市消防団】

令和 7 年 4 月 1 日現在 [単位：人]

勤 続 年 数	団長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
5 年未満							61	61
5 年以上 10 年未満						1	50	51
10 年以上 15 年未満						3	61	64
15 年以上 20 年未満					2	15	35	52
20 年以上 25 年未満					9	15	15	39
25 年以上 30 年未満			2	4	9	10	7	32
30 年以上 35 年未満			3	3	9	7	4	26
35 年以上 40 年未満		1	3	5	2	1		12
40 年以上 45 年未満	1		3		3		1	8
45 年以上		2	3	2				7
合 計	1	3	14	14	34	52	234	352
平均 (年)	42	46	38	35	28	22	11	17

5 消防団員年報酬及び費用弁償

【宇部市消防団】

年 報 酬

令和7年4月1日現在 [単位：円]

階 級	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	機能別 団 員
金 額	82,500	69,000	50,500	45,500	37,000	37,000	36,500	12,000

出 動 報 酬

令和7年4月1日現在 [単位：円]

1 回 あ た り の 手 当 支 給 額			
出 動 (3 時 間 未 満)	出 動 (3 時 間 以 上)	訓 練	講 習
4,000	8,000	5,000	3,000

【山陽小野田市消防団】

年 報 酬

令和7年4月1日現在 [単位：円]

階 級	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員
金 額	82,500	69,000	50,500	45,500	37,000	37,000	36,500

出 動 報 酬

令和7年4月1日現在 [単位：円]

1 回 あ た り の 手 当 支 給 額		
出 動	訓 練 そ の 他 の 公 務	器 具 手 入 れ
8,000	5,300	1,200

6 消防団災害出動状況

【宇部市消防団】（令和 6 年 1 月 1 日～令和 6 年 12 月 31 日）

分 団 名	出動件数（件）	出動人員（人）
消 防 団 本 部	4	17
東 岐 波 分 団	1	3
西 岐 波 分 団	2	22
上 宇 部 分 団	1	4
恩 田 分 団		
東 分 団		
西 分 団	1	6
藤 山 分 団	1	3
厚 南 分 団		
厚 東 分 団	4	14
二 俣 瀬 分 団	4	13
小 野 分 団	7	89
機 動 隊	4	15
船 木 分 団	2	8
万 倉 分 団	3	20
吉 部 分 団	3	20
合 計	37	234

【山陽小野田市消防団】（令和 6 年 1 月 1 日～令和 6 年 12 月 31 日）

分 団 名	出動件数（件）	出動人員（人）
消 防 団 本 部	5	10
厚 狭 北 分 団		
厚 狭 分 団	1	3
出 合 分 団	2	19
埴 生 分 団		
津 布 田 分 団	1	10
厚 陽 分 団		
高 泊 分 団		
高 千 帆 分 団		
有 帆 分 団		
小 野 田 分 団	1	6
須 恵 分 団		
赤 崎 分 団	1	21
本 山 分 団		
合 計	11	69

7 消防団車両及び機械器具

(1) 配備管理状況

【宇部市消防団】

令和7年4月1日現在 [単位：台]

所 属 / 機 庫			消 防 ポ ン プ 自 動 車	小 型 動 力 ポ ン プ 付 積 載 車	小 型 動 力 ポ ン プ	その他の車両 (指 令 車)
消 防 団 本 部					1	2
東 部 方 面 隊	東 岐 波 分 団	古 殿		1	1	
		丸 尾		1	1	
		岐 波 浦		1	1	
		前 田	1		1	
	西 岐 波 分 団	白 土	1		1	
		住 吉		1	1	
		山 村		1	1	
		片 倉		1	1	
中 央 東 方 面 隊	上 宇 部 分 団	沼	1		1	
		開		1	1	
	恩 田 分 団			1	1	
	東 分 団		1		1	
中 央 西 方 面 隊	西 分 団		1		1	
	藤 山 分 団			1	1	
西 部 方 面 隊	厚 南 分 団	西 宇 部	1		1	
		妻 崎		1	1	
		中 野		1	1	
		東 割		1	1	
北 部 方 面 隊	厚 東 分 団	棚 井		1	1	
		駅 前		1	1	
		広 瀬		1	1	
	二 俣 瀬 分 団	木 田	1		1	
		車 地		1	1	
		上 山 中		1	1	
		善 和		1	1	
	小 野 分 団	下 小 野	1		1	
		上 小 野		1	1	
		市 小 野		1	1	
		楡 小 野		1	1	
		岩 川		1	1	
		白 木		1	1	
		大 山		1	1	

[単位：台]

所 属 / 機 庫			消 防 ポ ン プ 自 動 車	小 型 動 力 ポ ン プ 付 積 載 車	小 型 動 力 ポ ン プ	その他の車両 (指 令 車)
楠 方 面 隊	機 動 隊		1		2	1
	船 木 分 団	綿 屋 町		1	1	
		下 田 町		1	1	
		新 川		1	1	
	万 倉 分 団	栄 町		1	1	
		沼田ヶ原		1	1	
	吉 部 分 団	中 市		1	1	
		荒 滝		1	1	
合 計			9	31	42	3

【山陽小野田市消防団】

令和7年4月1日現在 [単位：台]

所 属 / 機 庫		消 防 ポ ン プ 自 動 車	小 型 動 力 ポ ン プ 付 積 載 車	小 型 動 力 ポ ン プ	その他の車両 (指 令 車 等)
消 防 団 本 部				2	2
第 1 方 面 隊	厚 狭 北 分 団	1		1	
	厚 狭 分 団	1		1	
	出 合 分 団	1		1	
	埴 生 分 団	1		1	
第 2 方 面 隊	津 布 田 分 団	1		1	
	厚 陽 分 団	1		1	
	高 泊 分 団	1		1	
	高 千 帆 分 団	1		1	
	有 帆 分 団	1		1	
第 3 方 面 隊	小 野 田 分 団	1		1	
	須 恵 分 団	1		1	
	赤 崎 分 団	1		1	
	本 山 分 団	1		1	
合 計		13		15	2

(2) 消防ポンプ自動車

【宇部市消防団】

令和7年4月1日現在

所 属 / 機 庫			車 名	排気量 (cc)	乗 車 定 員 (人)	ポ ン プ 級別／製作所	導 入 年 月
東部方面隊	東岐波分団	前 田	日 野 CD-1	4,000	6	A-2 吉 谷	H27年 2月
	西岐波分団	白 土	日 野 CD-1	4,000	5	A-2 モリタ	H22年 2月
中央東方面隊	上宇部分団	沼	いすゞ CD-1	4,777	6	A-2 吉 谷	H14年 11月
	東 分 団		日 野 CD-1	4,000	6	A-2 吉 谷	H26年 2月
中央西方面隊	西 分 団		日 野 CD-1	4,000	6	A-2 モリタ	H23年 12月
西部方面隊	厚南分団	西宇部	日 野 CD-1	4,000	6	A-2 モリタ	H23年 1月
北部方面隊	二俣瀬分団	木 田	いすゞ CD-1	4,570	8	A-2 モリタ	H 8年 12月
	小野分団	下小野	日 野 CD-1	4,000	6	A-2 吉 谷	H28年 1月
楠方面隊	機 動 隊		日 野 CD-1	4,000	6	A-2 吉 谷	H28年 1月

【山陽小野田市消防団】

令和7年4月1日現在

所 属 / 機 庫		車 名	排気量 (cc)	乗 車 定 員 (人)	ポ ン プ 級別／製作所	導 入 年 月
第 1 方面隊	厚狭北分団	日 野 CD-1	4,000	6	A-2 吉 谷	H20年 12月
	厚 狭 分 団	日 野 CD-1	4,000	6	A-2 モリタ	H19年 3月
	出 合 分 団	日 野 CD-1	4,000	6	A-2 モリタ	H20年 2月
	埴 生 分 団	日 野 CD-1	4,000	6	A-2 モリタ	H19年 3月
第 2 方面隊	津布田分団	日 野 CD-1	4,000	6	A-2 モリタ	H19年 3月
	厚 陽 分 団	日 野 CD-1	4,000	6	A-2 モリタ	H20年 2月
	高 泊 分 団	日 野 CD-1	4,000	6	A-2 モリタ	R 2年 2月
	高千帆分団	日 野 CD-1	4,000	6	A-2 日本機械工業	H28年 2月
	有 帆 分 団	日 野 CD-1	4,000	6	A-2 モリタ	H19年 3月
第 3 方面隊	小野田分団	日 野 CD-1	4,000	6	A-2 モリタ	H27年 3月
	須 恵 分 団	日 野 CD-1	4,000	6	A-2 モリタ	H22年 3月
	赤 崎 分 団	いすゞ CD-1	4,770	7	A-2 モリタ	H15年 3月
	本 山 分 団	日 野 CD-1	4,000	6	A-2 吉 谷	H20年 12月

(3) 小型動力ポンプ付積載車

【宇部市消防団】

令和7年4月1日現在

所 属 / 機 庫			車 名 / 型 式		排気量 (cc)	乗 車 定 員 (人)	導 入 年 月
東部方面隊	東岐波分団	古 殿	い す ゞ	TPG-NLR85N	2,990	6	H31年 3月
		丸 尾	ダイハツ	EBD-S331W	650	4	H20年 12月
		岐波浦	ダイハツ	V-S110W	650	4	H10年 11月
	西岐波分団	山 村	日 産	GBSK2F23	1,990	6	H8年 3月
		片 倉	ダイハツ	3BD-S710W	650	4	R7年 11月
		住 吉	い す ゞ	TPG-NLR85N	2,990	6	H31年 3月
中央東方面隊	恩 田 分 団		日 産	CBF-SQ2F24	1,990	6	R2年 3月
	上宇部分団	開	ト ヨ タ	3BF-TRY230	1,990	6	R5年 3月
中央西方面隊	藤 山 分 団		ト ヨ タ	LDF-KDY281	2,980	6	R2年 12月
西部方面隊	厚南分団	妻 崎	い す ゞ	TPG-NJR85AN	2,990	6	H30年 3月
		中 野	日 産	CBF-SQ2F24	1,990	6	R2年 3月
		東 割	ト ヨ タ	3BF-TRY230	1,990	6	R4年 3月
北部方面隊	厚東分団	駅 前	ト ヨ タ	LDF-KDY281	2,980	6	R3年 2月
		棚 井	日 産	GB-SK2F23	1,990	8	H9年 9月
		広 瀬	ダイハツ	3BD-S710W	650	4	R6年 3月
	二俣瀬分団	車 地	い す ゞ	BKG-NHS85A	2,990	6	H22年 3月
		上山中	ダイハツ	EBG-S331W	650	4	H25年 2月
		善 和	ダイハツ	3BD-S710W	650	4	R5年 3月
	小野分団	上小野	ダイハツ	V-S110P改	650	4	H8年 2月
		市小野	い す ゞ	TPG-NHS85AN	2,990	6	H31年 2月
		楡小野	日 産	PDZ-SZ5F24	2,950	6	H20年 2月
		岩 川	ダイハツ	GD-S210W	650	4	H14年 2月
		白 木	ダイハツ	3BD-S710W	650	4	R6年 3月
		大 山	ダイハツ	EBG-S331W	650	4	H25年 2月
楠方面隊	船木分団	綿屋町	ダイハツ	LE-S330W	650	4	H18年 2月
		下田町	ダイハツ	LE-S330W	650	4	H18年 2月
		新 川	ダイハツ	LE-S330W	650	4	H17年 3月
	万倉分団	栄 町	ダイハツ	EBD-S331W	650	4	H21年 12月
		沼田ヶ原	ダイハツ	LE-S330W	650	4	H17年 3月
	吉部分団	中 市	ダイハツ	EBD-S331W	650	4	H21年 12月
		荒 滝	ダイハツ	LE-S330W	650	4	H17年 3月

(4) 小型動力ポンプ

【宇部市消防団】

令和7年4月1日現在

所 属 / 機 庫			ポ ン プ 製 作 所	型 式	級 別	導 入 年 月
消 防 団 本 部			トーハツ	一段タービン	D-1	H28年 3月
東部方面隊	東岐波分団	古 殿	ラビット	一段タービン	B-2	H31年 3月
		丸 尾	トーハツ	一段タービン	B-2	H20年 12月
		岐 波 浦	ラビット	一段タービン	B-3	H10年 11月
		前 田	トーハツ	一段タービン	B-2	H27年 2月
	西岐波分団	白 土	ラビット	一段タービン	B-2	H22年 2月
		山 村	トーハツ	一段タービン	B-3	H 8年 2月
		片 倉	トーハツ	一段タービン	B-3	R 7年 11月
		住 吉	ラビット	一段タービン	B-2	H31年 3月
中央東方面隊	恩 田 分 団		トーハツ	一段タービン	B-2	R 2年 3月
	上宇部分団	沼	トーハツ	一段タービン	B-3	H14年 11月
		開	シバウラ	一段タービン	B-2	R 5年 3月
	東 分 団		トーハツ	一段タービン	B-2	H26年 2月
中央西方面隊	西 分 団		ラビット	一段タービン	B-2	H23年 12月
	藤 山 分 団		トーハツ	一段タービン	B-2	R 2年 12月
西部方面隊	厚南分団	西 宇 部	ラビット	一段タービン	B-2	H23年 1月
		妻 崎	シバウラ	一段タービン	B-2	H30年 3月
		中 野	トーハツ	一段タービン	B-2	R 2年 3月
		東 割	トーハツ	一段タービン	B-2	R 4年 3月
北部方面隊	厚東分団	棚 井	トーハツ	一段タービン	B-2	H 9年 9月
		駅 前	トーハツ	一段タービン	B-2	R 3年 2月
		広 瀬	トーハツ	一段タービン	B-3	R 6年 3月
	二俣瀬分団	木 田	ラビット	一段タービン	B-3	H 8年 12月
		車 地	シバウラ	一段タービン	B-2	H22年 3月
		上 山 中	トーハツ	一段タービン	B-2	H25年 2月
		善 和	トーハツ	一段タービン	B-3	R 5年 3月
	小野分団	下 小 野	トーハツ	一段タービン	B-2	H28年 1月
		上 小 野	ラビット	一段タービン	B-3	H 7年 2月
		市 小 野	トーハツ	一段タービン	B-2	H31年 2月
		楢 小 野	ラビット	一段タービン	B-2	H20年 2月
		岩 川	ラビット	一段タービン	B-3	H 4年 12月
		臼 木	トーハツ	一段タービン	B-3	R 6年 3月
		大 山	トーハツ	一段タービン	B-2	H25年 2月
楠方面隊	機 動 隊		トーハツ	一段タービン	B-2	H18年 7月
			トーハツ	一段タービン	B-2	H28年 1月
	船木分団	綿 屋 町	トーハツ	一段タービン	B-3	H20年 3月
		下 田 町	トーハツ	一段タービン	B-3	H20年 3月
		新 川	トーハツ	一段タービン	B-3	H20年 3月
	万倉分団	栄 町	トーハツ	一段タービン	B-3	H21年 12月
		沼田ヶ原	トーハツ	一段タービン	B-3	H20年 12月
	吉部分団	中 市	トーハツ	一段タービン	B-3	H21年 12月
		荒 滝	トーハツ	一段タービン	B-3	H20年 12月

【山陽小野田市消防団】

令和7年4月1日現在

所 属 / 機 庫		ポ ン プ 製 作 所	型 式	級 別	導 入 年 月
消 防 団 本 部		トーハツ	一段タービン	B-2	H10 年 1 月
		シバウラ	一段タービン	D-1	H27 年 10 月
		トーハツ	一段タービン	C-1	R 2 年 3 月
第 1 方 面 隊	厚 狭 北 分 団	トーハツ	一段タービン	B-2	R 2 年 2 月
	厚 狭 分 団	トーハツ	一段タービン	B-2	H30 年 2 月
	出 合 分 団	トーハツ	一段タービン	B-2	R 2 年 2 月
	埴 生 分 団	トーハツ	一段タービン	B-2	R 2 年 2 月
第 2 方 面 隊	津 布 田 分 団	トーハツ	一段タービン	B-2	R 2 年 2 月
	厚 陽 分 団	トーハツ	一段タービン	B-2	R 2 年 2 月
	高 泊 分 団	シバウラ	一段タービン	B-2	H28 年 2 月
	高 千 帆 分 団	シバウラ	一段タービン	B-2	H28 年 2 月
	有 帆 分 団	トーハツ	一段タービン	B-2	H27 年 3 月
第 3 方 面 隊	小 野 田 分 団	トーハツ	一段タービン	B-2	H30 年 2 月
	須 恵 分 団	トーハツ	一段タービン	B-2	H30 年 2 月
	赤 崎 分 団	トーハツ	一段タービン	B-2	H30 年 2 月
	本 山 分 団	トーハツ	一段タービン	B-2	H30 年 2 月

(5) その他の車両

【宇部市消防団】

(指 令 車)

令和7年4月1日現在

所 属 / 機 庫	車 名 / 型 式		排気量 (cc)	乗車定員 (人)	導 入 年 月
消 防 団 本 部	日 産	5BA-NT32	1,990	5	R 4 年 2 月
	三 菱	DBA-CV5W	2,350	8	H29 年 12 月
機 動 隊	日 産	CBA-NC25	1,990	8	H18 年 2 月

【山陽小野田市消防団】

(指 令 車 ・ 防 災 学 習 車)

令和7年4月1日現在

所 属 / 機 庫	車 名 / 型 式		排気量 (cc)	乗車定員 (人)	導 入 年 月
消 防 団 本 部	ト ヨ タ	3BA-ZRR80G	1,980	8	R3 年 1 月
消 防 団 本 部	日 産	LDF-CW8E26	2,480	6	R2 年 3 月

8 消防団機庫

【宇部市消防団】

令和 7 年 4 月 1 日現在

所 属 / 機 庫			場 所	土 地 (㎡)	建 物 (㎡)	建 築 年 月
東 部 方面隊	東岐波分団	古 殿	大字東岐波 494-4	96.64	25.63	S55 年 3 月
		丸 尾	大字東岐波 4138-13 の一部	32.96	11.93	S54 年 3 月
		岐波浦	大字東岐波 1450-2	63.94	15.44	H 4 年 12 月
		前 田	大字東岐波 1777	38.71	38.71	H27 年 2 月
	西岐波分団	白 土	床波四丁目 2076 他	327.69	83.22	H22 年 3 月
		住 吉	床波六丁目 3041-18・19	90.18	32.66	H 9 年 2 月
		山 村	大字西岐波 2478	300.00	30.48	R 6 年 3 月
		片 倉	大字西岐波 5172-1	143.35	15.44	H10 年 1 月
中央東 方面隊	上宇部分団	沼	沼二丁目 1669-3 の内	43.12	30.00	S48 年 12 月
		開	常盤台二丁目 834-1	194.00	30.18	H10 年 3 月
	恩 田 分 団		八王子町 636-9	126.24	30.00	S48 年 12 月
	東 分 団		松山町二丁目 5-16	74.77	28.79	S32 年 11 月
中央西 方面隊	西 分 団		島三丁目 1-9	383.47	83.22	H24 年 3 月
	藤 山 分 団		文京町 2244-1	30.48	30.48	H 8 年 3 月
西 部 方面隊	厚 南 分 団	西宇部	西宇部南二丁目 1350-1	175.46	38.71	H23 年 3 月
		妻 崎	大字東須恵 2954-1	146.00	28.50	S47 年 2 月
		中 野	大字東須恵 276-4 の一部	218.60	33.84	H13 年 3 月
		東 割	大字妻崎開作 1	111.09	22.21	S52 年 10 月
北 部 方面隊	厚 東 分 団	棚 井	大字棚井 43-3 の一部	56.61	26.14	H 8 年 3 月
		駅 前	大字吉見 966-12	79.25	30.48	H 7 年 4 月
		広 瀬	大字広瀬 560-1	11.46	11.46	S62 年 12 月
	二俣瀬分団	木 田	大字木田 560-3 の一部	22.21	22.21	S53 年 2 月
		車 地	大字木田 173	30.48	30.48	H 2 年 2 月
		上山中	大字山中 411-9	119.00	28.97	H15 年 12 月
		善 和	大字善和 108-2・5	135.80	15.44	H 9 年 3 月
	小 野 分 団	下小野	大字小野 8265-22 の一部	71.70	30.48	S61 年 6 月
		上小野	大字小野 3677	13.20	12.67	S54 年 3 月
		市小野	大字小野 1305 第 1	30.00	22.90	S50 年 12 月
		楡小野	大字楡小野 534-2	38.50	21.00	S48 年 10 月
		岩 川	大字小野 6731 第 3	53.03	17.80	H14 年 11 月
		臼 木	大字小野 10139-2 の一部	11.46	11.46	H21 年 12 月
		大 山	大字小野 9129-2 の一部	15.44	15.44	H 4 年 12 月

所 属 / 機 庫			場 所	土 地 (㎡)	建 物 (㎡)	建 年 築 月
楠 方面隊	機 動 隊		大字船木 442-10	99.10	41.83	S58 年 3 月
	船 木 分 団	綿 屋 町	大字船木 184	161.98	16.20	H12 年 3 月
		下 田 町	大字船木 690-5	147.16	18.25	H18 年 2 月
		新 川	大字船木 3648-1	801.90	20.22	H26 年 2 月
	万 倉 分 団	栄 町	大字西万倉 1698-1	413.96	52.54	S60 年 3 月
		沼 田 ヶ 原	大字芦河内 11-6	213.00	25.20	H16 年 12 月
	吉 部 分 団	中 市	大字東吉部 3329-4	196.17	34.35	H13 年 11 月
		荒 滝	大字東吉部 1086	542.14	18.25	H14 年 3 月

【山陽小野田市消防団】

令和 7 年 4 月 1 日現在

所 属 / 機 庫			場 所	土 地 (㎡)	建 物 (㎡)	建 築 年 月
第 1 方面隊	厚 狭 北 分 団	厚 狭 北 分 団 庫	大字厚狭 5112 番地 5	287.18	67.50	H20 年 3 月
		赤 川 防 災 倉 庫	大字厚狭 5723 番地 1	188.70	12.20	H 1 年 1 月
		森 広 防 災 倉 庫	大字厚狭 2708 番地 3	—	12.60	—
	厚 狭 分 団	厚 狭 分 団 庫	大字鴨庄 99 番地 1、99 番地 2 の一部	283.13	66.75	H28 年 3 月
		厚 狭 防 災 倉 庫	大字鴨庄 98 番地 1	—	78.00	S59 年 12 月
		鴨 庄 防 災 倉 庫	大字鴨庄 590 番地 5	—	12.40	—
		下 津 防 災 倉 庫	大字郡 2013 番地 5	324.45	22.30	H 3 年 1 月
	出 合 分 団	出 合 分 団 庫	大字山野井 2743 番地	167.71	49.95	H19 年 3 月
	埴 生 分 団	埴 生 分 団 庫	大字埴生 525 番地 1	557.72	67.50	R 4 年 3 月
		福 田 防 災 倉 庫	大字福田 777 番地 9	55.10	24.00	S61 年 3 月
		大 持 防 災 倉 庫	大字埴生 3133 番地 5	94.53	17.50	H 3 年 12 月
第 2 方面隊	津 布 田 分 団	津 布 田 分 団 庫	大字津布田 1061 番地	436.75	31.05	H16 年 11 月
	厚 陽 分 団	厚 陽 分 団 庫	大字郡 3976 番地 17	282.00	49.95	H19 年 3 月
	高 泊 分 団	高 泊 分 団 庫	大字西高泊 1768 番地 1	164.82	49.95	S61 年 3 月
	高 千 帆 分 団	高 千 帆 分 団 庫	日の出一丁目 1 番 1 号 山陽小野田市役所併設	—	58.48	H 7 年 3 月
	有 帆 分 団	有 帆 分 団 庫	新有帆町 739 番地 4	174.25	52.65	S60 年 3 月
第 3 方面隊	小 野 田 分 団	小 野 田 分 団 庫	栄町 7 番 3 号	95.52	48.19	H 2 年 3 月
		小 野 田 防 災 倉 庫	大字小野田 6114 番地 3	170.56	52.00	S55 年 11 月
	須 恵 分 団	須 恵 分 団 庫	港町 7 番	267.40	61.84	H12 年 2 月
	赤 崎 分 団	赤 崎 分 団 庫	赤崎一丁目 1 番 5 号	174.25	52.65	S60 年 3 月
		旧赤崎水上分団庫	大字小野田 2040 番地 3	—	28.25	S55 年 2 月
	本 山 分 団	本 山 分 団 庫	大字小野田 11967 番地	498.31	52.00	S57 年 12 月

9 消防団協力事業所

【宇部市消防団協力事業所一覧】

令和 7 年 4 月 1 日現在

番号	事業所名	初年度登録年月日
1	山口県農業協同組合	平成 22 年 3 月 1 日
2	UBE 株式会社 宇部ケミカル工場	平成 22 年 3 月 1 日
3	宇部マテリアルズ株式会社	平成 22 年 3 月 1 日
4	チタン工業株式会社	平成 22 年 3 月 1 日
5	宇部物流サービス株式会社 宇部営業所	平成 22 年 3 月 1 日
6	船木鉄道株式会社	平成 22 年 3 月 1 日
7	新川物流株式会社 西宇部営業所	平成 22 年 3 月 1 日
8	山口県漁業協同組合 宇部統括支店	平成 23 年 3 月 1 日
9	宇部フロンティア大学	平成 30 年 3 月 1 日



【山陽小野田市消防団協力事業所一覧】

令和 7 年 4 月 1 日現在

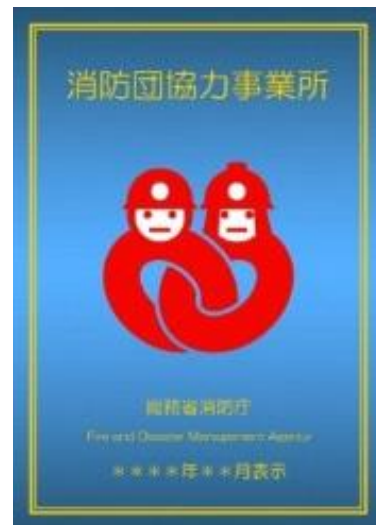
番号	事業所名	初年度登録年月日
1	THK株式会社 山口工場	平成 23 年 3 月 18 日
2	厚和産業株式会社	平成 23 年 3 月 18 日
3	株式会社N I T T A N 山陽工場	平成 23 年 3 月 18 日
4	化薬ヌーリオン株式会社 厚狭工場	平成 23 年 3 月 18 日
5	日本化薬株式会社 厚狭工場	平成 23 年 3 月 18 日
6	日産化学株式会社 小野田工場	平成 23 年 3 月 18 日
7	共英製鋼株式会社 山口事業所	平成 23 年 3 月 18 日
8	戸田工業株式会社 小野田事業所	平成 23 年 3 月 18 日
9	西部石油株式会社 山口製油所	平成 23 年 3 月 18 日
10	光洋技研株式会社 山口工場	平成 29 年 3 月 17 日
11	田辺三菱製薬工場株式会社 小野田工場	平成 29 年 3 月 17 日
12	長州産業株式会社	平成 29 年 3 月 17 日
13	有限会社栗栖工業 小野田営業所	令和 3 年 3 月 22 日
14	富士商グループホールディングス株式会社	令和 3 年 3 月 22 日
15	山陽小野田市立山口東京理科大学	令和 3 年 3 月 22 日
16	株式会社 晃栄	令和 4 年 3 月 22 日
17	宇部フィルム株式会社	令和 5 年 3 月 17 日
18	山陽プロパン株式会社	令和 5 年 3 月 17 日



【総務省消防庁消防団協力事業所一覧】

令和7年4月1日現在

番号	事業所名	初年度登録年月
1	厚和産業株式会社	平成 24 年 2 月
2	宇部フロンティア大学	平成 31 年 2 月
3	化薬ヌーリオン株式会社 厚狭工場	令和 3 年 3 月



消 防 年 報

(令和6年版)

発行日 令和 7 年 (2 0 2 5 年) 8 月

発行者 宇部・山陽小野田消防組合
山口県宇部市港町二丁目 3 番 3 0 号

U R L <https://www.ube-sansho119.jp/>

E-M a i l soumu@ube-sansho119.jp

編 集 宇部・山陽小野田消防局 総務課
TEL(0836)21-6112 FAX(0836)31-0119

印 刷 宇部・山陽小野田消防局 総務課